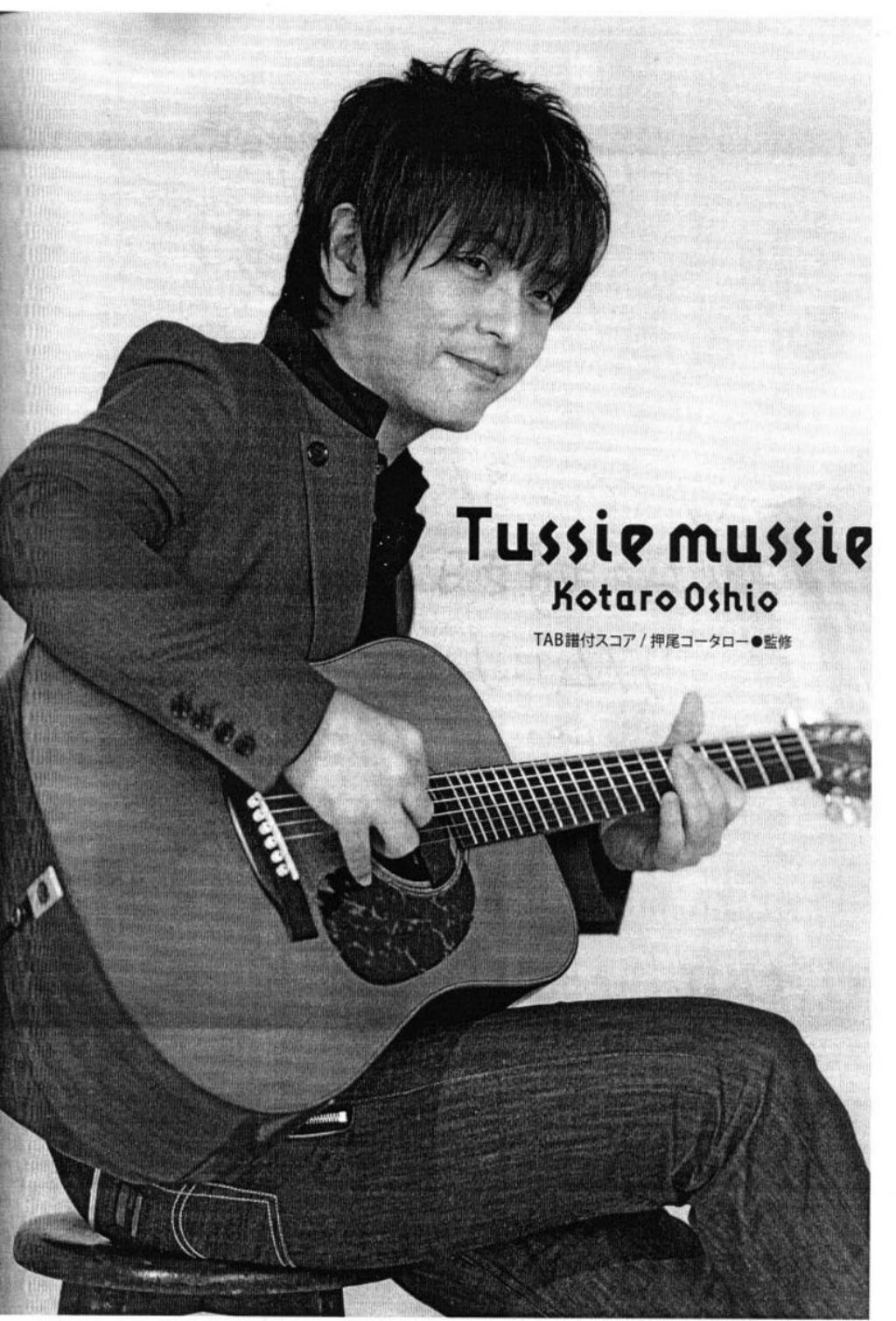




# Tussie mussie

Kotaro Oshio

TAB譜付スコア人押尾コータロー●監修

A black and white photograph of Kotaro Oshio. He is seated, wearing a dark jacket over a light-colored shirt, and is playing a dark acoustic guitar. He has short, dark hair and is looking slightly towards the camera with a gentle smile.

# Tussie mussie

Kotaro Oshio

TAB譜付スコア / 押尾コータロー・●監修



ギターでいろんな曲が弾ける。  
みんなの好きな曲はあるかな?

“リズムにのって弾く。”  
“デコピンハンド”  
“メロディは人指い遊び”  
“アボヤンドでメロディ～♪”

あくは... “愛”  
押尾コトロー



- 
- 012. LOVIN' YOU
  - 030. CLOSE TO YOU
  - 044. そして僕は途方に暮れる
  - 060. 元気を出して
  - 072. FIRST LOVE
  - 086. CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU  
～君の瞳に恋してる～
  - 102. SOMEDAY
  - 118. TIME AFTER TIME
  - 136. 涙のキス
  - 156. LOVE

Bonus Score

- 166. 君がくれた時間～Alternative Ver.～

# 押尾コータロー一奏法 徹底解析 TECHNICAL ANALYSIS

本書では、押尾コータローの各種奏法を下記のように表記します。まずは「絶対弾けるようになりたい1曲」を選び、始めは楽譜を見ながら、ゆっくりしたテンポで何小節かマスターして、毎日、徐々に小節数を増やしていきましょう。「継続は力なり」です。

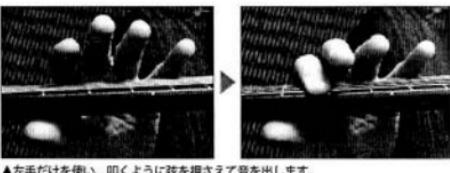
●文:南澤大介/ドレミ編集部 ●写真は押尾コータロー本人によるものです。

## 片手で音を出す奏法

### L.H.

#### フレット・ハンド

右手でピッキングせずに、左手だけを使って弦を押さえ(あるいは離し)、音を出す奏法です。左手の動作そのものは、ハンマリングやブリッジと同じです。指頭で、1音だけを狙って行う場合や、部分セーハのようにして複数の音を狙う場合があります。

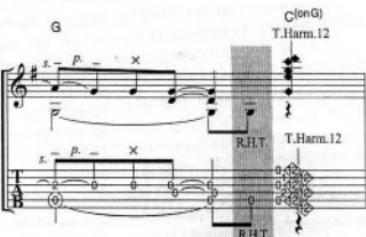


▲左手だけを使い、叩くように弦を押さえて音を出します。

### R.H.T.

#### ライト・ハンド・タッピング

右手で弦を叩いて音を出す奏法です。タッピング・ハーモニクスの流れの中で、通常のピッキングやストロークの代用としても多用されます。



「FIRST LOVE」の図2 7小節目。ピッキングの代用として使われています。

## ハーモニクス

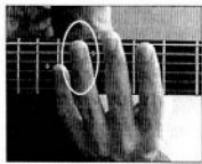
### Harm.

#### ナチュラル・ハーモニクス

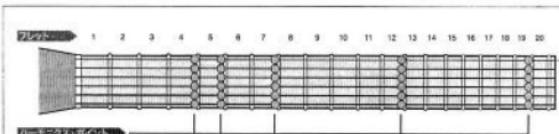
ハーモニクスは、独特な澄んだ綺麗な音(倍音)が得られる奏法です。ナチュラル・ハーモニクスは、開放弦の時ハーモニクス・ポイント(図参照)に軽く触れながらピッキングすることで出します(基本的に触れていた指は、ピッキング後にすぐ離します)。通常は左手で触れて右手でピッキングしますが、右手の人差指でポイントに触れ、それ以外の指(親指や薬指など)でピッキングして出す場合もあります。

通常、ギターで音を出す場合はフレットとフレットの間を押さえますが、ハーモニクスを出す時には、写真のようにフレット・バーの真上に触れます。また、触れた指を離すタイミングとピッキングするタイミングをうまく合わせることも重要です。

五線譜上では菱形の音符で記され、「Harm○」のように触れるフレット番号が表記されています。またTAB譜では、数字を菱形で囲ってあります。



▲フレット・バーの真上に軽く触れます。ビックングと同時に離します。



▲フレット・バーの真上に軽く触れます。ビックングと同時に離します。

「CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU ~君の瞳に恋してる~」の図5 5小節目。この箇例のように、五線譜には1オクターブ低く記譜される場合もあります(「g1w」は、記された音符より1オクターブ高い音を演奏する…という意味です)。

## Oct.Harm.

### ♪テクニカル・ハーモニクス

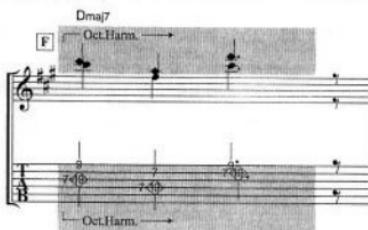
ナチュラル・ハーモニクスの応用で、左手でどこかのポジションを押さえ、その12フレット上のポイントに触れながらピッキングする奏法です。たとえば3弦7フレットを押



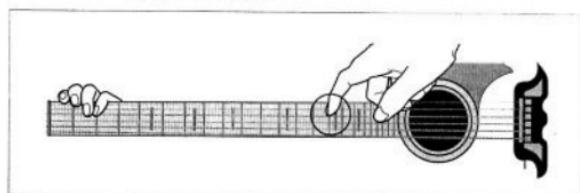
▲指先の柔らかい部分の先端で触れます。

さると、そこから12フレット上にあたる19フレットがハーモニクス・ポイントになりますので、19フレットに右手人差指で触れながら親指でピッキングすれば、ハーモニクス音が出ます。ナチュラル・ハーモニクスは開放弦の音程を基準にいくつかの決まった音しか出せませんが、テクニカル・ハーモニクスは人工的にハーモニクス・ポイントを作ることができますので、どんな音程のハーモニクス音も出すことができます。

五線譜上では菱形の音符で記されている…という点はナチュラル・ハーモニクスと同じですが、TAB譜では菱形で囲ったハーモニクス・ポイントの左に、左手で押さえるフレットの番号を記してあります。



「LOVING YOU」のA1小節目。五線譜の上側の音符(TAB譜では下側の音符)が、テクニカル・ハーモニクスです。



▲左手で押された弦の12フレット分を、右手人差指先で軽く触れ、親指で弾いてハーモニクス音を出します。手のポジションが移動した場合、右手も同じ距離(12フレット)を保ち、かつ同じ形を維持したまま移動して、12フレット上のハーモニクス・ポイントを弾きます。

## T.Harm.

### ♪タッピング・ハーモニクス

ハーモニクス・ポイントを右手で叩くことによって、ハーモニクスを出す奏法です。右手の指先(主に人差指)で1本の弦を叩いて1音だけハーモニクスを出す場合と、指(主に中指)がフレットと平行になるように複数の弦を叩いて和音のハーモニクスを出す場合があります。TAB譜上では、叩くポジションを菱形で囲い、その左側に左手で押さえるフレットの番号を記してあります。フレット番号が書いてない場合は、左手で消音して音を出さないことを示しています。

左手が一部の弦だけを押さえて残りの弦が開放になっている状態でタッピング・ハーモニクスを行うと、基本的には開放弦のみハーモニクスが鳴り、他の弦は実音が鳴るのですが、場合によっては両方のハーモニクスが出ることもあります。

また、全弦を開放にして12フレットを叩いた場合でも、5~6弦などの低音弦は実音が鳴っていることがあります。これは、ギターを普通に構えた状態では、右手の指をフレットと完全に平行にして叩くことが難しいことも原因のひとつで、たとえば1弦で12フレットあたりを狙って叩いた場合、6弦では13フレットあたりを叩くことになり、結果として実音が出てしまいます。全弦のハーモニクスが鳴らなくても、必ずしも気にする必要はありません。たいていの場合、高音弦やコードのトップの音などがしっかりと響いていればOKです。

ちなみに実音というのは、普通に弾いた時に出る音のこと、ハーモニクス音に対して区別する場合こう呼びます。



「FIRST LOVE」のA2 7小節目。全弦を叩きますが、6弦は左手親指で消音しています。



▲フレットと平行に叩きます。写真是19フレットを叩いた例。

## 打音系

### Hit (記号: ×)

トボディ・ヒット

ギターのボディを叩いて打音を出す奏法のこと。五線譜やTAB譜の外側に記されます。

Musical notation for the first measure of 'CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU'. It shows a glissando (gliss.) followed by a hit (X) on the guitar body. The key signature is F major (Bm7). The notation includes 'Ras.' (Rasophones), 'Palm', 'R.H.T.' (Right Hand Thumb), and 'T.Harm.12' (Tremolo Harmonica 12). The tablature shows a glissando and a 'Palm' stroke.

「CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU ~君の瞳に恋してる~」の[ア]1小節目。この例では、サウンド・ホール下側(ピック・ガードあたり)を叩いています。

### Palm (記号: +)

パーム

右手の手首に近い手のひらで、サウンド・ホールの上あたりを押すように叩いて出す低い打音です。肘を軸にするのではなく、手首の動きで叩くのがポイント。ドラムで言うとバス・ドラムのような役割になります。



▲スナップをきかせて、手首に近い手のひら(親指の付け根あたり)で表面板を叩きます。

Musical notation for the first measure of 'CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU'. It shows a glissando (gliss.) followed by a palm stroke (+) on the guitar body. The key signature is F major (Bm7). The notation includes 'Ras.' (Rasophones), 'Palm', 'R.H.T.' (Right Hand Thumb), and 'T.Harm.12' (Tremolo Harmonica 12). The tablature shows a glissando and a 'Palm' stroke.

「CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU ~君の瞳に恋してる~」の[ア]1小節目。

### Nail Attack (記号: 音符・休符の上に記された×)

ネイル・アタック

右手の中指や薬指の爪側を弦にぶつける奏法です。動作としては「デコビン」のような感じで、きちんととした音を弾くというよりも、リズムをとるために「チャッ」というノイズを出す感じです。右手のおおまかな動きはダウン・ストロークに近いですが、弾いた時に指を伸ばしきるのではなく、曲げた形のままで爪側を弦に当てるようになります。主に中指や薬指で行いますが、これはウラ拍の人差指によるピッキングと交互に行うのに都合がよいかからです(人差指でネイル・アタックを行なうと、人差指のピッキングと交互に行なった場合に右手の動きが複雑化してしまいます)。またネイル・アタックと同時に、伸ばした小指を支えとしてボディ(ギターを構えた状態で、サウンド・ホールの下側)に当てることも



▲人差指によるウラ拍のピッキングと交互になるように、中指又は薬指の爪を弦に当てて、「チャッ」というアタック音を出します。

あります。これも、ギターの表板に対して上から叩くと言うよりも、ストロークと同じように右手を動かした時、小指を滑り止めに使うようなイメージです。この場合はネイル・アタックの×印をカッコでくる表記にしています。

楽譜上では、音程感がはっきりしている場合や、特定の弦を狙う場合は音符を記していますが、それ以外の場合は音符を記していません。たいていの場合、左手は直前のフォームのままで、右手は直前に弾いていた弦か、あるいは2、3弦を狙います。また、休符にネイル・アタックが記されている場合は、押弦していった左手を離し、開放弦に対してネイル・アタックを行ないます。

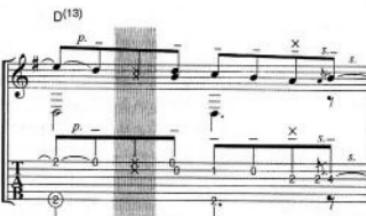
Musical notation for the fifth measure of 'そして僕は途方に暮れる'. It shows a glissando followed by nail attacks (X) on specific strings. The key signature is E major (E6). The notation includes 'Ras.' (Rasophones) and 'Palm' strokes. The tablature shows a glissando and specific nail attack patterns on the strings.

「そして僕は途方に暮れる」の[ア]5小節目。2拍目のネイル・アタックは直前のコードを押さえたまま行い、4拍目はフォーム・チェンジのために左手を離したタイミングで行なっています。

## String Hit (記号: 音符の符頭が×)

♪弦を叩く打音

右手の指先で弦を叩く感じで、弦に指を乗せる奏法です。たいてい人差指と中指で行い、叩く感じで弦に指を乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングします。TAB譜には叩く弦を示してありますので、参考にして下さい。



「FIRST LOVE」の④6小節目。次に弾く1, 2弦を叩いています。

## ストローク系



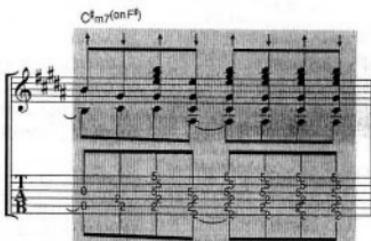
↑  
↓ストローク

複数の弦をまとめて弾く奏法のことです。主に右手人差指(または人差指と中指)で行い、低音弦から高音弦へ引き下ろすダウン・ストローク(記号=↑)と、高音弦から低音弦へ弾き上げるアップ・ストローク(記号=↓)があります。エレキ・ギターなどで一般的に使われるストローク記号とは矢印の上下が逆になりますが、TAB譜の上下方向に合わせてありますので、方向が解らなくなったらギターの指板をイメージするとよいでしょう。

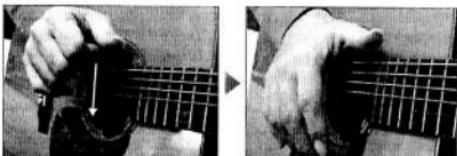
ストロークは楽譜に記された音符を厳密に弾くというよりも、楽譜は参考程度に考えて、指定されたコードを弾いていく感じになります(ダイアグラム譜を参照して下さい)。

アップ・ストロークと同時に親指によるダウン・ピッキングを行うこともあります、これは開いた手のひらを握る、あるいは指先で砂をつまむような動作になります。

また、1本の指で2~3本の弦をピッキングする“複弦ピッキング”もたびたび登場します。軽いアップ・ストロークの一種とも考えられますが、この場合は基本的に本書ではストローク記号を記していません。



「そして僕は途方に暮れる」の①14小節目。ダウン・ストローク(↑)とアップ・ストローク(↓)を繰り返しています。

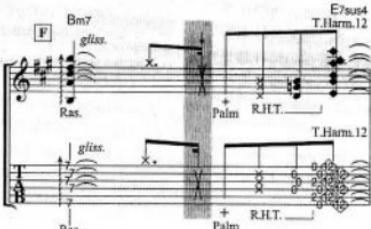


▲ダウン・ストローク時の右手の動きです。

## X

トブラッシング

音程感を消したストロークです。ストロークしながら押弦した左手を緩めるか、左手薬指や小指で全弦に触れてやることで響きを消し、音程感を無くしてノイズを出します。またはストロークと一緒に、右手のひらの小指側の側面(空手チョップの時に当たる部分ですね)で弦のブリッジ寄りに触れることでも、同様の効果が得られます。右手がフォーム・チェンジしている最中にストロークした場合、結果として出た音がブラッシングになってしまいます。ケースもあります。



「CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU ~君の瞳に恋してる~」の①1小節目。左手で弦に触れて、音程感を無くしています。

## Ras.

### トラスゲアード

フラメンコの奏法の一種で、ストロークする時に、右手の薬指から人差指まで少しだけ時間差をつけて順に弾き下ろす奏法です（小指まで使う場合もあります）。記された音符のタイミングが終着点になるように、実際には少し前からスタートします。楽譜には、波線矢印と“Ras.”で記してあります。



小指から徐々に“ジャラーン”と弾き下ろします。

「SOMEDAY」の④8小節目。ラスゲアードは少し前からスタートする奏法なので、直前のフレーズはギリギリまで弾いてないことが多いようです（この場合は直前に休符）。

## 他の奏法

### Quick Arpeggio（音符の左側に波線(フリガナ)）

#### クイック・アルペジオ

2音以上の音をピッキングする時に、少しだけ時間差をつけて弾く奏法です。ピッキングは、親指→人差指→中指…の順に、親指から小指へと順番に行います。タイミングはたいてい、一番高い音がジャストのタイミングになる感じですので、低い音を少しだけ早めに弾き始めるイメージで弾いてみるとよいでしょう。

楽譜には基本的に波線で記してありますが、特に音を分解した方が解りやすい部分（「LOVIN' YOU」や「CLOSE TO YOU」の一部）では、1音1音を別々の音符で表してあります。

「LOVIN' YOU」の④2小節目最後から3小節目。最後のコードが通常の表記方法で、最初のコードがわざと分解して表記したものです。

## C.

### チョーキング

ピッキングした後、弦を押さえたまま指を押し上げたり引き下げたりして音程を変えられる奏法です。ネックにあてている左手人差指の付け根相当たりを支点にして、手首をひねるように行います。



▲薬指によるチョーキング・アップでは、中指や人差指を添えると力が入れやすくなります。

「SOMEDAY」Guitar 2 の3小節目。2弦をチョーキングして、全音上げています。

## アポヤンドとアルアイレ

### アポヤンド(apoyando)

スペイン語で“寄りかかる”という意味で、弦を弾いた直後に、次の弦に寄りかからせることで右手の指の動きを止める奏法です。はっきりと大きい音が出るので、メロディをしっかり弾きたいときに効果的です。

### アルアイレ(al aire)

スペイン語で“空中へ”という意味で、アポヤンドとは異なり、弦を弾いた後に指が次の弦に当たらないようにする奏法を指します。和音やアルペジオなど、隣り合った弦を響かせたい時は、こちらを使います。

## S.

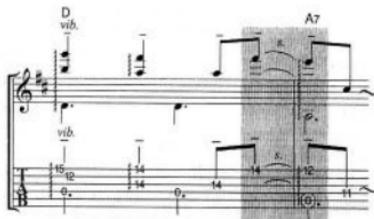
## トライド

右手でピッキングした後に左手が弦を押されたまま移動することで、音程を変える奏法です。

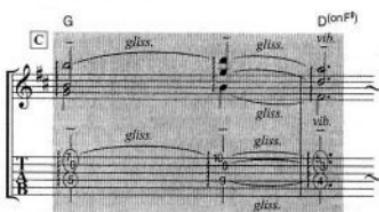
## gliss.

## グリッサンド

こちらもスライド同様、右手でピッキングした後に左手が弦を押されたまま移動することで、音程を変える奏法です。ギターの場合、スライドとグリッサンドに明確な違いは無く、一般には移動距離が長いものをグリッサンド、短いものをスライドすることが多いようです。



「君がくれた時間 ~Alternative Ver.~」の④7～8小節目。下のスライドは、1つ前の3弦14フレット・A音からつながっています。



「君がくれた時間 ~Alternative Ver.~」の⑤1～2小節目。3拍目から2小節目へは、3音とも押されたままグリッサンド・ダウントップします。

## 部分セーハ

2～4弦や、4～6弦など、一部の弦だけセーハすることを部分セーハ(またはパーシャル・セーハ、小セーハ)といいます。これに対して普通のセーハのことを全セーハ(あるいは大セーハ、バーレン)と呼ぶこともあります。

一般的に、部分セーハを行なうためには左手の指の第一関節が少しでも逆側に曲がることが必要です。ただし、逆に曲がらないギタリストは意外に多いので、もし肉体的に不可能な場合は、違う押さえ方を自分なりに工夫してみるとよいでしょう。



▲4～6弦部分セーハの例。

「SOMEDAY」の③2 10小節目。1～3弦を開放にしたまま、4～6弦7フレットを部分セーハしています。

## シェイク・ハンド・グリップ

弦の押さえ方の一種で、左手で握ったネックの上から親指を出して6弦を押さえる方法です。また、押さえずに触れることで6弦の消音にもしばしば用いられます。



▲手の小さい人には難しいですが、消音だけなら触れることさえできれば可能です。

「LOVE」の④2 8小節目。親指で6弦を押されます。

## 楽譜の見方

## 拍の数え方(オモテ／ウラについて)

4分の4拍子の場合、1小節を4等分して最初から順に1拍目、2拍目、3拍目、4拍目と呼びます。本書に収録されている曲は、「君がくれた時間～Alternative Ver.～」以外すべて4分の4拍子です。8ビートの曲では、音符がもう一段階細かく記されますが、それぞれの拍の最初をオモテ、オモテと次のオモテの間をウラと呼びます。また、16ビートの曲の場合は、さらにもう一段

階音符が細くなるので、オモテとウラの間を“オモテのウラ”、ウラと次のオモテの間を“ウラのウラ”と呼びます。

ちなみに「君がくれた時間～Alternative Ver.～」のような4分の3拍子の曲は、1小節を3等分して1拍目、2拍目、3拍目と呼びます。

## ● 8 beat



## ● 16 beat



## ○x only、○x 表記について

本書では「元気を出して」「CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU～君の瞳に恋してる～」で見られる、カッコでくくられた音符と“○x only”などの表記ですが、“○x only”は○回目のみ弾くという意味で、“○x”は○回目にはこちらを弾くことを表しています。

それほど厳密に考る必要はありませんので、自分が弾きやすい、あるいは雰囲気が出しやすい弾き方に統一して演奏すればよいでしょう。

(a) G

2x only 1x only 2x  
(Ras.)  
1x only  
2x only 1x only 2x

(b) 1x G

Ras.

(c) 2x G

例えば(a)のような楽譜がある場合、1回目は(b)のように弾き、2回目は(c)のように弾きます。

## ダイアグラム譜について

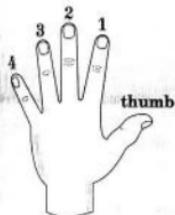
左手のフォーム(ダイアグラム)を、曲の進行順に記したものであります。五線譜やTAB譜と併用し、演奏する際に役立てていただければと思います。

○で囲んだ文字は押弦する指を表し(人=人差指、中=中指、薬=薬指、小=小指、親=親指、i=右手人差指、○は開放弦を、×は弾かない(または消音する)弦を表しています。また、矢印は曲の進行による音の移動を示します。カッコ付きの音は、「ピッキングしないけれども押さえておく音」か、「鳴ってしまうでも音楽的に違和感が無い音」を示しています。

“●●: same as ▲▲”は、●●は▲▲と同じフォームであることを表しています。たとえば“5～7bar: same as [A] 1～3bar”と記されていたら、この5～7小節は[A]の1～3小節と同じフォームである…という意味になります。

“same as ♦ except notice”は、示した部分以外♦と同じであることを示しています。例えば“same as [Intro] except notice”と記されていた場合、示されている部分以外は[Intro]と同じフォームである…という意味になります。

## 左手と右手の記号



左手の記号	
親 指	..... thumb
人差指	..... 1
中 指	..... 2
薬 指	..... 3
小 指	..... 4
開放弦	..... 0



右手の記号	
親 指	..... p
人差指	..... i
中 指	..... m
薬 指	..... a
小 指	..... ch

# LOVIN' YOU

music by Richard Rudolph / Minnie Riperton

© Copyright 1972 by EMBASSY MUSIC CORP./DICKIEBIRD MUSIC & PUBLISHING CO.  
Rights for Japan controlled by K.K. Music Sales  
Authorized for sale in Japan only



Tuning = Standard

Intro Dmaj7 C<sup>m</sup>7 Bm7 Bm7(onE) Ama7(9)

Dmaj7 C<sup>m</sup>7 Bm7 Bm7(onE) Ama7(9)

A Dmaj7 C<sup>m</sup>7 Bm7 Ama7

edobok  
shop365.taobao.com

The musical score consists of three staves of piano sheet music. The top staff shows a piano part with a treble clef, a bass clef, and a key signature of one sharp (F#). It includes chords Dmaj7, C<sup>m</sup>7, Bm7, Bm7(onE), and Ama7(9). The middle staff shows a piano part with a treble clef and a bass clef, also in one sharp (F#). It includes the same chords. The bottom staff shows a piano part with a treble clef and a bass clef, also in one sharp (F#). It includes the same chords. Various performance markings such as dynamics (e.g., p, f), fingerings, and rests are included throughout the score.

Musical score for guitar and bass. The top staff shows a guitar part with various chords and fingerings. The bottom staff shows a bass part with notes and fingerings. The progression consists of four measures: D major 7, G major 7, B minor 7, and A major 7. The bass part provides harmonic support, with specific notes and fingerings indicated for each measure.

Musical score for 'The Star-Spangled Banner' featuring two staves. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature. It includes measures for D major 7th (Dm7), G major 7th (Gm7), B major 7th (Bm7), and B major 7th (on E) (Bm7(onE)). The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature. Measures 8 through 12 are shown, with measure 12 ending on a double bar line.

A musical score for guitar featuring four staves of music. The top staff shows a D major chord (D, F#, A) followed by a C sharp minor chord (C sharp, E, G). The middle staff shows a B minor chord (B, D, F#) followed by an A major chord (A, C sharp, E). The bottom staff shows a D major chord (D, F#, A) followed by an A major chord (A, C sharp, E). The music includes various performance markings such as grace notes, slurs, and dynamic indicators like 'p' (piano) and 'f' (forte). The score is in common time.

A musical score for piano featuring four staves. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It includes chords Dmaj7, C#m7, Bm7, and Amaj7, each with a dynamic marking (pp, f, p, f) and a fermata. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It includes the same four chords with different fingerings: Dmaj7 (right hand 1, left hand 5), C#m7 (right hand 1, left hand 4), Bm7 (right hand 1, left hand 4), and Amaj7 (right hand 1, left hand 2). The score uses vertical bar lines to separate measures.

This image shows the musical score for the B2 section, spanning measures 11 and 12. The top staff features a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It includes chords Dmaj7, Cm7, Bm7, Bm7(on E), and Amaj7, with various performance instructions like 'gloss.' and dynamics (p, f). The bottom staff features a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It includes chords Gm7, Dm7, and Gm7, also with performance instructions like 'gloss.' and dynamics.

Dmaj7

C<sup>b</sup>m7

Bm7

Amaj7

gliss.

Detailed description: This is a musical score page featuring four staves of music. The top staff starts with a D major chord (D, F#, A) in 3/4 time. The second staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The third staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The fourth staff starts with an A major chord (A, C<sup>b</sup>, E). The music includes various note heads, rests, and specific markings such as 'x' and 'gliss.'

C<sup>b</sup>

Dmaj7

C<sup>b</sup>m7

Bm7

Amaj7

Detailed description: This is a musical score page featuring four staves of music. The top staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The second staff starts with a D major chord (D, F#, A). The third staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The fourth staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The music includes various note heads, rests, and specific markings such as 'x' and 'gliss.'

Dmaj7

C<sup>b</sup>m7

Bm7

Oct. Harm. (Bw)

Aadd9

Bm7

Detailed description: This is a musical score page featuring four staves of music. The top staff starts with a D major chord (D, F#, A). The second staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The third staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The fourth staff starts with an A add 9 chord (A, C<sup>b</sup>, E, G). The music includes various note heads, rests, and specific markings such as 'Oct. Harm.', 'Bw', and 'x'.

Bm7

C<sup>b</sup>m7

Bm7

Bm7(on E)

Amaj7

Bm7

Detailed description: This is a musical score page featuring four staves of music. The top staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The second staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The third staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The fourth staff starts with an A major chord (A, C<sup>b</sup>, E). The music includes various note heads, rests, and specific markings such as 'x' and 'gliss.'

Bm7

C<sup>b</sup>m7

Bm7

C<sup>b</sup>m7

D

E

x

gliss.

Detailed description: This is a musical score page featuring four staves of music. The top staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The second staff starts with a C<sup>b</sup> minor chord (C<sup>b</sup>, E, G). The third staff starts with a B minor chord (B, D, F#). The fourth staff starts with a D major chord (D, F#, A). The music includes various note heads, rests, and specific markings such as 'x' and 'gliss.'

A3

Dmaj7 Cfm7 Bm7 Amaj7

B3 Dmaj7 Cfm7 Bm7 Bm7(or E) Amaj7

Dmaj7 Cfm7 Bm7 Amaj7

C3 Dmaj7 Cfm7 Bm7 Amaj7

Musical score for piano and octobass, page 10, measures 14-16. The score shows two staves. The top staff is for piano, with markings: Dmaj7, C<sup>7</sup>m7, Oct. Harm. (Bvg), Bm7, Bm7(on E), and A. The bottom staff is for octobass, with markings: Oct. Harm. and 140 BPM. The piano part includes various dynamic markings like f, p, and x. The octobass part features eighth-note patterns.

A musical score for piano featuring four staves. The top staff shows chords Dmaj7, C#m7, Bm7, and Amaj7. The bottom staff shows the corresponding bass notes. Each chord is followed by a 'gliss.' (glissando) marking.

Detailed description: The image shows a musical score for a piano. It consists of two staves. The top staff has four measures. Measure 1: D major 7th (D-F#-A-C), right hand (R) 1, left hand (L) 5. Measure 2: C minor 7th (C-E-G-B♭), right hand (R) 1, left hand (L) 5. Measure 3: B minor 7th (B-D-F#-A), right hand (R) 1, left hand (L) 5. Measure 4: A major 7th (A-C-E-G), right hand (R) 1, left hand (L) 5. The bottom staff shows the bass line with notes and rests corresponding to the chords above. Measures 1-3 have bass notes on the 1st, 3rd, and 5th beats respectively. Measure 4 has a bass note on the 1st beat. Fingerings are indicated above the notes: 1, 3, 5, 7, 6, 4, 2, 4, 5, 6, 7, 5, 6, 7, 4, 2, 4, 5. Dynamic markings include a forte sign over the first measure and a piano sign over the second measure.

## PLAYING ROUTINE

## LOVIN' YOU

Guitar ● Martin D-28(1964)

Tuning ● Standard

ガンによって31歳の若さで亡くなったシンガー、ミニーリバートンのヒット曲です。スティーヴィー・ワンダーのプロデュースによって1974年に発表されたファースト・アルバム『パーフェクト・エンジェル』からのシングル・カットで、ミニーと、その夫リチャード・ルドルフが共作しています。

## 概要&amp;テクニック解説

この曲では最大3本のギターが重ねられています。[Intro]は押尾さんと相談の上、1本のギターで弾けるようアレンジし、それ以降はメインのギターのみを掲載してあります。実際には、2本目のギター(Guitar 2)が[B1]でメイン・ギターとは別のフレーズ(ハーモニクス+実音)を弾いているほか、[C][C2][C3]6~8小節目の高いハーモニクス部分を重ねています。また、さらにもう1本のギター(Guitar 3)が、歌の中…[A]から最後まで、指弾きでコードを弾いています。詳しくはP.27~28を参考にして下さい。

コード・ネームに関しては、メイン・ギターの構成音から付けてありますので、特にAmaj7がAになったり([B]4小節目、[B2]8小節目)、Aadd9になったり([C]8小節目、[C2]8小節目)していますが、アルバムでは別のギターがAmaj7を弾いているため、AはAmaj7、Aadd9はAmaj7<sup>(9)</sup>の響きになっています。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り(十分長く)弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。同時に隣の弦をピッキングする場合をのぞき、アボヤンド奏法(弾いた後で隣の弦に指が寄りかかる奏法)でピッキングするなど、意識して伴奏より強めに弾きましょう。

## 演奏のポイント

[Intro]は、先にも書いたとおり1本のギターで弾けるようにアレンジしてあります(アルバムでの演奏は、P.26のスコアを参照して下さい)。

[A]1小節目冒頭のスライドは、人差指で1~3弦を部分セーハして行いますが、実際に弾くのは2弦だけですので、セーハではなく普通に指頭で押さえてもよいでしょう。

2小節目のC#m7では、余力が有れば薬指で4弦6フレット・G♯音を押さえおきます(ダイアグラム譜参照)。続く3小節目のBm7は、C#m7が2フレット下がったフォームになりますが、こちらではC#m7の最後と次のAmaj7直前で1弦4フレット・G音を押さえるのに薬指を使うので、4弦は押さえなくてOKです。

5小節目2拍目のスライドは、1小節目冒頭と同じですが、今度はスライド後に2弦と3弦を弾きますので、部分セーハでスライドする必要があります。

[B]は、ほぼ[A]と同じです。2~4小節目で、メロディが高く上がっています。

[C]1~3小節目は、1弦がメロディになりますが、2弦を含めて軽くストロークするようにピッキングしています。

2小節目3拍目ウラの、ストローク記号(音符の上に矢印)の付いた絶長のXは、ブラッシングです。押弦した左手を緩めて、音程感を無くしています。

3小節目4拍目と4小節目2拍目の、小さい×で記された音符はストリング・ヒットで、弦に指(人差指や中指)を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしています。TAB譜には叩く弦を示してありますので、参考にして下さい(基本的に、次にピッキングする弦を叩いています)。

6~8小節目のテクニカル・ハーモニクスは、TAB譜の数字のうち菱形の左外側の数字で示されたポジションを押さえ、菱形内の数字のポジション(ハーモニクス・ポイント)に右手人差指で触れて、薬指でピッキングすると同時に、親指でベース音(実音)をピッキングしていきます。ただし大抵のギターは21フレット以上がありませんので、実際には

ハーモニクス・ポイントに触れるための目安になるもの(24フレットなど)がありません。左手で押されたポジションとブリッジのちょうど真ん中をだいたい狙って触るようにし、ピッキングしていきます。

8小節目一番最後の3連符は、クイック・アルペジオです。弾き方自体は、波線を併記した形のクイック・アルペジオと同じですが、ここはほぼ半拍前からきちんとスタートしているので、このように記譜してあります(⑪や⑫でもいくつか見られます)。

⑪のBm<sup>7</sup>とC<sup>#</sup>m<sup>7</sup>では、押尾さんは6弦を親指で押さえるフォームを使っています(ダイアグラム譜参照)。“普通のセーハなども試したが、この形が一番しっくり来た”とのこと。手が大きくないと難しいフォームですので、弾きにくい場合は違う押さえ方を試してみましょう。

4小節目4拍目の3弦開放G音は、コードに使われている音とは関係ない開放弦を、フォーム・チェンジ直前に弾いていますが、これは次のコードに移行するための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。音程に違和感を感じる場合は弱めに弾くか、あるいはコードの構成音を弾いて代用したり、リズムに注意しつつ省略してもよいでしょう(⑫2小節目4拍目のG音も同様です)。

⑬⑭⑮⑯は、①②③④とほぼ同じです。

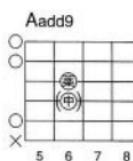
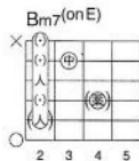
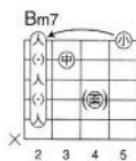
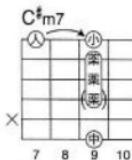
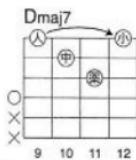
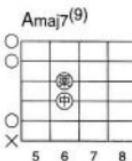
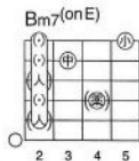
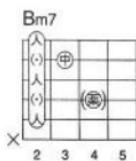
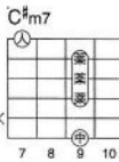
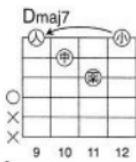
⑰⑱⑲⑳は、①②③④とほぼ同じです。

⑪と⑫は、テクニカル・ハーモニクスで演奏します。1小節目を例にとると、まず左手はDmaj<sup>7</sup>を押さえます(ダイアグラム譜参照)。そして右手は、薬指で1弦をピッキングし、同時に人差指で3弦19フレット(7フレットを押された時のハーモニクス・ポイントです。7+12=19)に軽く触れながら、親指で3弦をピッキングします。続けて、同じ要領で2弦(実音)と4弦(ハーモニクス)、1弦(実音)と3弦(ハーモニクス)、1弦(実音)と2弦(ハーモニクス)…というように、弦を移動していきます。2小節目以降も弦に対する動きは同様ですが、左手の移動に応じて、右手で触れるハーモニクス・ポイントも移動します。2小節目(C<sup>#</sup>m<sup>7</sup>)や3小節目(Bm<sup>7</sup>)では、1小節目(Dmaj<sup>7</sup>)や4小節目(Amaj<sup>7</sup>)と違って、左手で押されたポジションが弦によって違うフレットに

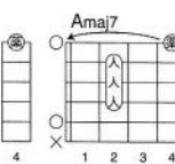
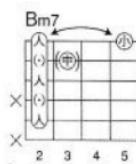
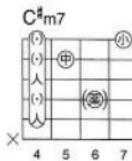
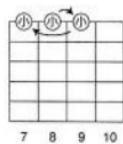
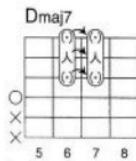
なりますので、右手人差指が触る場所(ハーモニクス・ポイント)もそれに合わせて移動する必要があります。また右手のポジションは、ハーモニクスを強く都合により、通常のサウンド・ホール近くではなく14~19フレットあたりになります。ポイントとしては、左手で押されたコード・フォームを仮に0フレットと見立てて、そのまま12フレット分平行移動させた形をイメージすることです。それができれば、右手人差指でそのフォームをたどるように触れていくことで、ハーモニクスを弾いていくことができるでしょう。

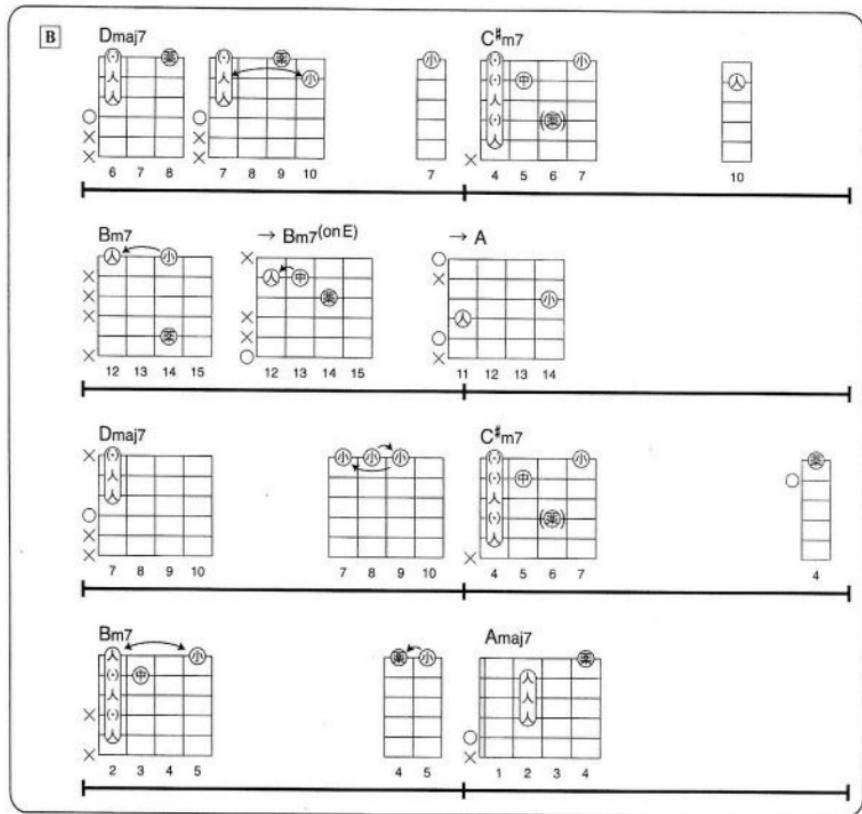
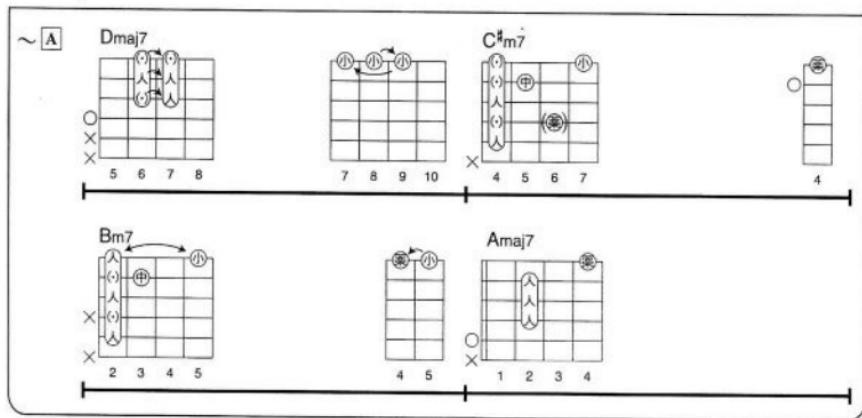
⑬は、譜割りは異なりますが、左のフォームや右手の動き方は⑪と同じです。

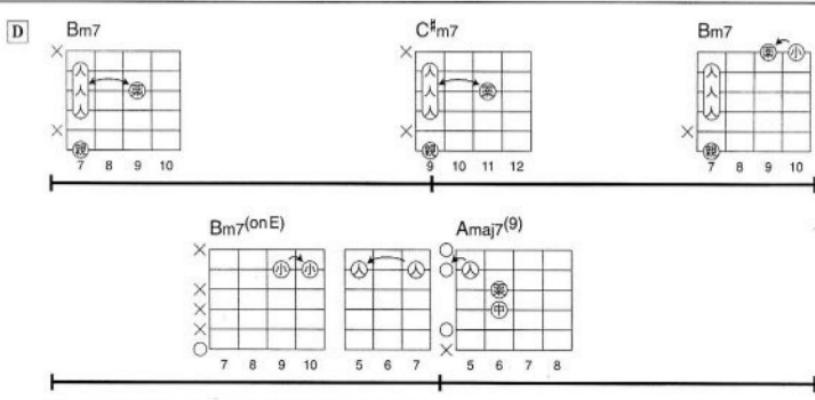
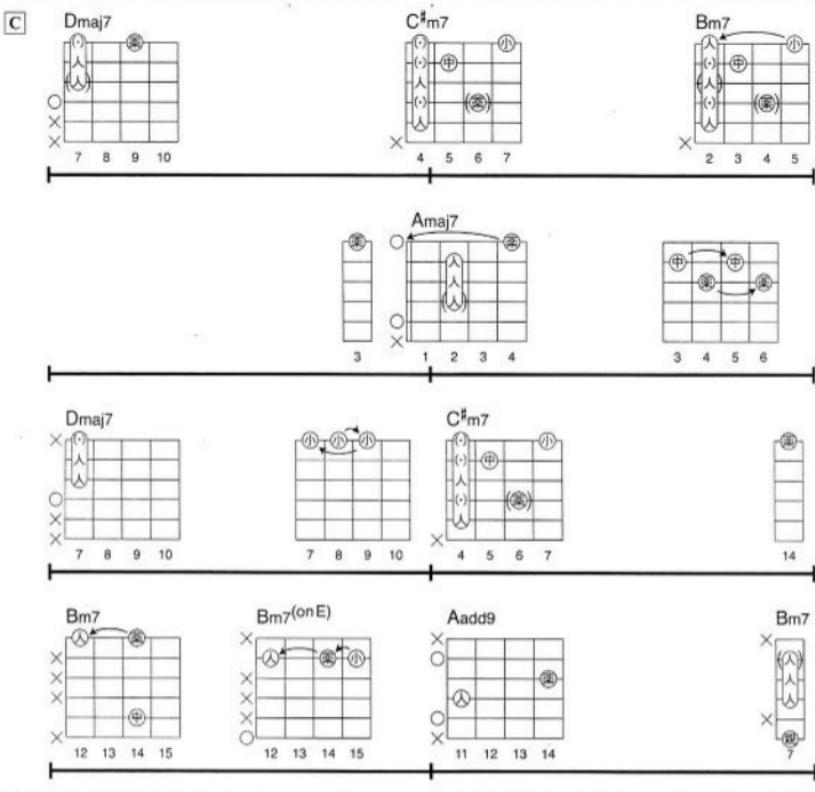
## Intro



A







~ D

Bm7

C#m7

→ Bm7

---

C#m7

D

E

---

A2

Dmaj7

same as A except notice

Amaj7

---

Dmaj7

Amaj7

---

B2

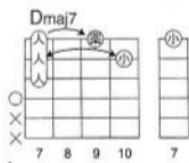
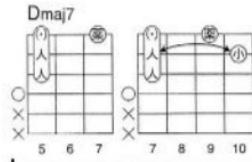
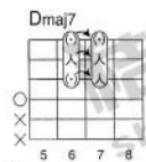
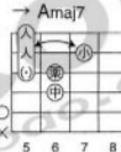
Dmaj7

same as B except notice

→ Amaj7

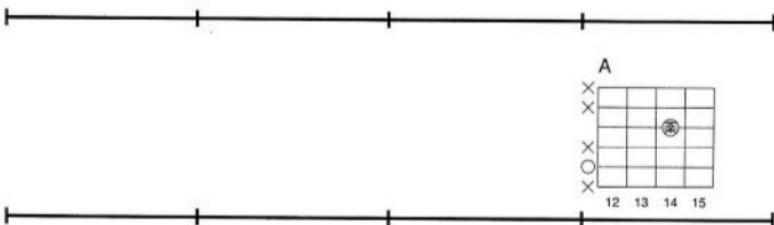
---

Dmaj7

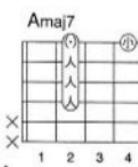
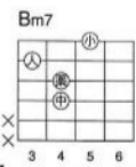
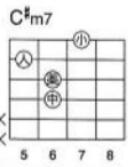
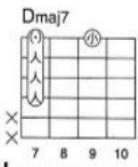
**C2**same as **C****D2**same as **D****A3**same as **A** except notice**B3**same as **B** except notice

C3

same as C except notice



E



5~8 bar : same as 1~4 bar

F

same as E



## ● オリジナル演奏(Intro 部)

Tuning = Standard

**Intro**

Guitar 1 Dmaj7 Cm7 Bm7 Bm7(on E) Am7(B)  
 Guitar 2 Oct.Harm. →  
 Guitar 3  
 Dmaj7 Cm7 Bm7 Bm7(on E) Am7(B)

Oct.Harm. →  
 Oct.Harm. →

(Oct.Harm.) →  
 (Oct.Harm.) →

## GUITAR 2 Tuning: Standard

Intro, C C2 C3 E~F

2本目のギターは、メイン・ギターと同じでスタンダード・チューニングです。ハーモニクス（またはハーモニクス+実音）によるフレーズを弾いています。

[Intro]では、ほぼ中央に配置されています。フレーズは、単音のテクニカル・ハーモニクスです。

C、C2、C3では、6小節目最後から8小節目にかけて

メイン・ギターが弾いているテクニカル・ハーモニクスを、重ねて弾いています（メロディのみで、伴奏部分は弾いていません）。

E～Fはメイン・ギターと同様、テクニカル・ハーモニクスで演奏しています。詳細は下記楽譜を参照して下さい。

### Tuning = Standard

## GUITAR 3 Tuning: Standard

曲全体

3本目のギターも、メイン・ギターと同じでスタンダード・チューニングです。主にコード感を厚くするために用いられています。

[Intro]では、右寄りから聞こえてきます。1、2、5、6小節目では、メイン・ギター（Guitar 1）を追いかけるように、2拍目から入っています。

Aから曲の最後まで、コードを補強しています（ちなみに、ギターの位置は中央です）。大部分で2～4弦+ベース音をピッキングし、4拍目で音を切ってフォーム・チェンジしています。キメの位置などは、次ページ（P.28）の楽譜を参照して下さい。

**Tuning = Standard**

Guitar 3      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Amaj7      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Amaj7

A, A2, A3, E

Guitar 3      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Bm7(on E)      Amaj7      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Amaj7

B, B2, B3

thumb o =

Guitar 3      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Amaj7      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Bm7(on E)      Amaj7

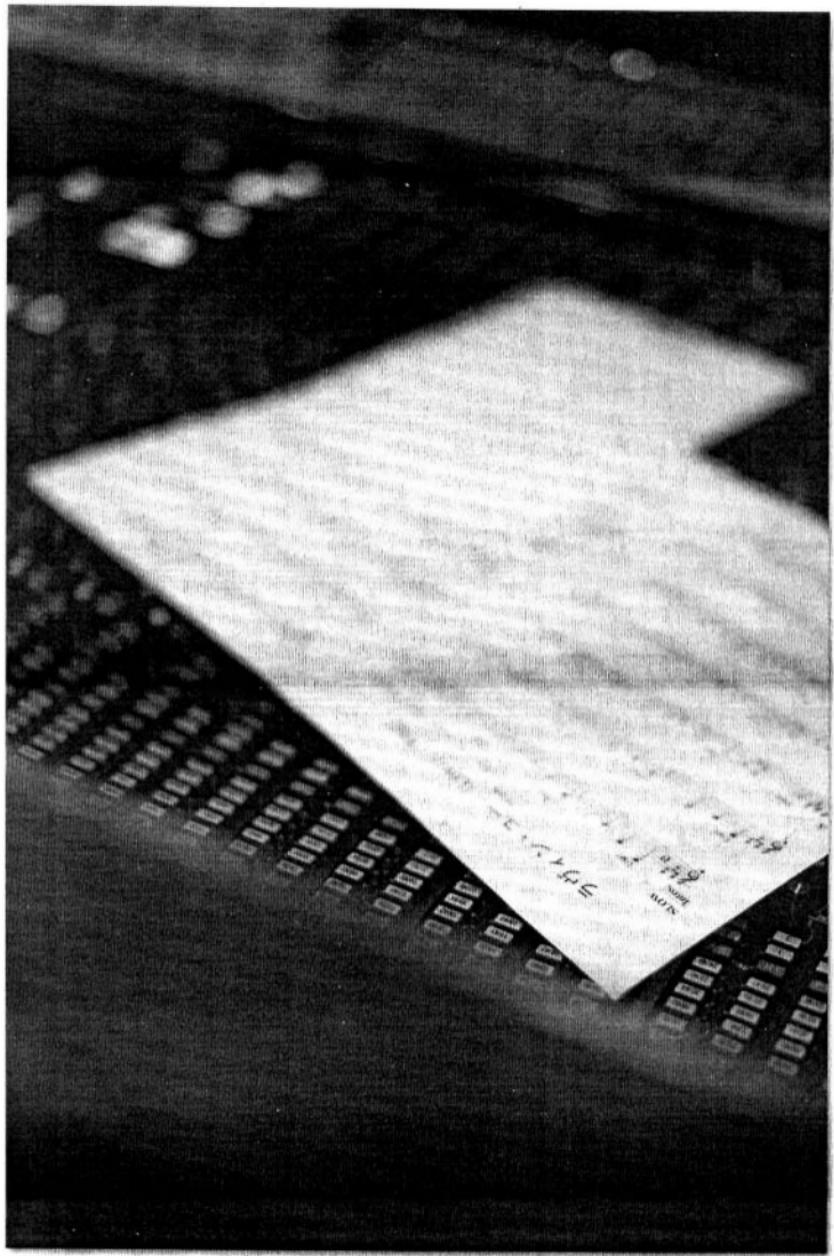
C, C2, C3

Guitar 3      Bm7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Bm7(on E)      Amaj7      Bm7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      C<sup>4</sup>m7      Dmaj7      D(on E)

D, D2

Guitar 3      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Amaj7      Dmaj7      C<sup>4</sup>m7      Bm7      Bm7(on E)      Amaj7

F



# CLOSE TO YOU

music by Burt Bacharach / Hal David

© 1963 by NEW HIDDEN VALLEY MUSIC / CASA DAVID

The rights for Japan assigned to FUJIPACIFIC MUSIC INC.



Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (=D<sup>b</sup> A<sup>b</sup> E<sup>b</sup> A<sup>b</sup> C E<sup>b</sup>)

*gliss.*

**Intro**

**C**

**A<sup>b</sup>**

**B<sup>b</sup>m7(11)**

**E<sup>b</sup>7**

**A<sup>b</sup>**

**gliss.**

**D<sup>b</sup>**

**D<sup>b</sup>m6**

**Cm7**

**A<sup>b</sup>**

**B<sup>b</sup>m7(11)**

**B<sup>b</sup>m7(11)(on E<sup>b</sup>)**

**A<sup>b</sup>**

**A**

**D<sup>b</sup>add9**

Sheet music for 'CLOSE TO YOU' featuring piano and vocal parts. The piano part includes various chords and glissando markings. The vocal part follows the piano's harmonic progression through chords like B<sup>b</sup>m7(11), E<sup>b</sup>7, A<sup>b</sup>, D<sup>b</sup>, D<sup>b</sup>m6, Cm7, and A<sup>b</sup>. The vocal line consists of sustained notes and short melodic phrases.

C7

Cm7

Fm7

Musical score for C7, Cm7, and Fm7 chords. The score consists of three staves: Bassoon (B♭), Double Bass (Bassoon), and Double Bass (Double Bass). The bassoon part features eighth-note patterns with 'x' marks. The double bass parts provide harmonic support.

D7add9

A♭

Musical score for D7add9 and A♭ chords. The score includes Bassoon (B♭), Double Bass (Bassoon), and Double Bass (Double Bass) staves. The bassoon part includes eighth-note patterns with 'x' marks and dynamic markings like  $\frac{p}{f}$  vib.

A♭maj7(9)

Harm.7

A2

D7add9

C7

Musical score for A♭maj7(9), A2, D7add9, and C7 chords. It features Bassoon (B♭), Double Bass (Bassoon), and Double Bass (Double Bass) staves. The bassoon part includes eighth-note patterns with 'x' marks and dynamic markings like  $\frac{p}{f}$ .

Cm7

B7(9,13)

B7m7(11)

Musical score for Cm7, B7(9,13), and B7m7(11) chords. The score includes Bassoon (B♭), Double Bass (Bassoon), and Double Bass (Double Bass) staves. The bassoon part features eighth-note patterns with 'x' marks.

D7add9

A♭

C7

Musical score for D7add9, A♭, and C7 chords. The score includes Bassoon (B♭), Double Bass (Bassoon), and Double Bass (Double Bass) staves. The bassoon part includes eighth-note patterns with 'x' marks and dynamic markings like  $\frac{p}{f}$ .

B D<sup>b</sup>maj7

Cm7

F7

D<sup>b</sup>add9

D<sup>b</sup>

D<sup>b</sup>maj7

D<sup>b</sup>6

gloss

B<sup>b</sup>m(on E)

Harm.7

gloss

E<sup>b</sup>

Harm.7

A<sup>b</sup> D<sup>b</sup>add9

C7

Cm7

Fm7

D<sup>b</sup>add9

p.vib.

A<sup>b</sup>maj7(9)

Harm.7

Inter

p.vib.

A<sup>b</sup>maj7

B<sup>b</sup>m7(11)      Eb      Ab      Ab<sup>7</sup>      x      D<sup>b</sup>maj7      D<sup>b</sup>m6      Cm7

B<sup>b</sup>m7(11)      B<sup>b</sup>m7(11) on Eb      Ab      A4      D<sup>b</sup>add9      C7

Gm7      Fm7      D<sup>b</sup>add9

Ab      D<sup>b</sup>maj7

D<sup>b</sup>maj7      Cm7      F7

12

D<sup>b</sup>add9      D<sup>b</sup>      D<sup>b</sup>maj7      D<sup>b</sup>6      B<sup>b</sup>m(on E<sup>b</sup>)  
x      x      x      x      x  
gliss.      Harm.7      Harm.7  
E<sup>b</sup>(on B<sup>b</sup>)

A<sup>b</sup>5      C7      Cm7  
D<sup>b</sup>add9  
thumb

Fm7      D<sup>b</sup>add9  
vib.

A<sup>b</sup>maj7      Harm.5      Harm.12  
Harm.5      vib.  
Harm.12

D<sup>b</sup>add9  
vib.

D<sup>b</sup>add9      A<sup>b</sup>  
p.      p.

The sheet music consists of six staves of musical notation, likely for a band or orchestra. The staves are arranged in two columns of three. The top row starts with a staff in C major (indicated by a 'C' in a box) with a tempo marking of D $\ddot{\text{b}}$ . The second staff in this row is in A $\flat$  major 7(9), and the third is also in A $\flat$  major 7(9). The middle row starts with a staff in A $\flat$  major 7(9), followed by two staves in D $\ddot{\text{b}}$ . The bottom row starts with a staff in A $\flat$  major 7(9) with a harmonic 7th (Harm. 7) marking, followed by two staves in D $\ddot{\text{b}}$ , and ends with a staff in A $\flat$  major 7(9).

# CLOSE TO YOU

Guitar ● GREVEN D (#1097)

Tuning C# ↓ G# ↓ D# ↑ G# ↑ B# ↑ D# ↓

- ①6弦を1音半下げる 〈5弦4フレットを基準にオクターブ下〉
- ②5弦を半音下げる 〈6弦7フレットとユニゾン〉
- ③4弦を半音上げる 〈5弦4フレットとユニゾン〉
- ④3弦を半音上げる 〈5弦開放を基準にオクターブ上〉
- ⑤2弦を半音上げる 〈3弦4フレットとユニゾン〉
- ⑥1弦を1音下げる 〈4弦開放を基準にオクターブ上〉

アメリカの兄妹デュオグループ、カーベンターズが1970年にリリースしたシングル・ヒット曲で、押尾さんはこの曲を、少しハネた16ビートでアレンジしています。ハル・デヴィッドとパート・バカラックのコンビによる作で、もともとは1963年にリチャード・チェンバレンによってレコーディングされています。

## 概要&テクニック解説

チューニングは一見難しそうですが、押尾さんが普段から使っているC G D G B Dを半音上げただけのものです。ちなみに、このチューニング表記であれば楽譜はG#キー(嬰ト長調)で記すべきですが、とても見にくくなってしまうため、チューニングをD A E A C Eと解釈し、楽譜も同じ音程であるA#キー(変イ長調)で表記してあります(「C# G# D# G# B# D#」と「D A E A C E」は、書き方が違うだけ同じチューニングです)。

ネイル・アタック(音符の上に×印)とストリング・ヒット(音符の符頭が×印)でリズムを取りながら、演奏していきます。まずネイル・アタックですが、基本的には、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います。1~4弦あたりで、前後のメロディより高くない弦を狙うとよいでしょう。また、ネイル・アタックそのものの音が鳴ららず、動作の際に支えとなる小指がボディに当たった音だけが出ている場合もあります。

ストリング・ヒットは、弦に右手人差指と中指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦を

ピッキングしてコードを弾きます。基本的に、次にピッキングする弦を叩いていますが、**A3** 7小節目2拍目のように、連動したピッキングより先にベース音を弾くような場合もあります。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本來は「音を長さ通り(十分長く)弾く」という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。しっかり意識して弾きましょう。

## 演奏のポイント

**Intro** 1小節目の1拍目は、薬指で1~2弦を部分セーハしたまま、ロー・ポジション方向へグリス・ダウンします。

2小節目2拍目の2弦と3弦の×印はストリング・ヒットです。その次の3弦の×はストリング・ヒットではなく、左手が緩んだ状態でピッキングしたもので、音程感の無い音が出ています。

3小節目の1拍目は、1弦から低音弦側に向かって、少しゆっくり、柔らかくアップ・ストロークします。この時5弦は、6弦を押された中指で触れて、消音しておきます。

7小節目のB♭m7<sup>(11)</sup>とB♭m7<sup>(11)</sup><sub>(on E)</sub>は、ピッキングはしませんが4弦2フレット・F音を薬指で押さえておきます(ダイアグラム譜を参照して下さい)。4拍目のネイル・アタックの時点で、2弦1フレット・D音を押された人差指だけを残して他の指を一旦離し、4拍目のウラで全弦を開放にしてA#を弾きます。ちなみにこの時6弦は、ネックを握りこんだ左手親指で触れて、消音しておきます。

**A** 1小節目のD<sup>5</sup>add9は、最初は4弦2フレット・F音を人差指で押さえますが、小節後半で2弦1フレット・D音を人差指で押さえる必要があるため、2拍目で一旦離し、ウラの時点で中指を使って押さえ直しています。

5小節目のD<sup>5</sup>add9では、最初に人差指で押さえた4弦2フレット・F音を、次の3弦開放・A#音を弾く時点で一旦離し、2弦を薬指でスライドした後、改めて人差指で押さえ直しています。

6小節目は、最初は5小節目と同じですが、ブリンクの後

に2弦3フレット・E音を押さえるため、人差指は4弦2フレット・F音に戻していません（4弦は開放のままにしておきます）。

8小節目の、実音によるベース音+7フレット・ハーモニクスは、少しうっくり、柔らかくダウン・ストロークします。

**A2**は、4～6小節目と8小節目以外、ほぼ**C**と同じです。まず4小節目は、**A**とは違うコードが使われています。続く5～6小節目は、**C**ではD<sup>b</sup>add9でしたが、ここではB<sup>b</sup>m7<sup>(11)</sup>→D<sup>b</sup>add9と、2つのコードに分割されています。また、それによる運指の都合から、**A**とはメロディを弾く弦も異なっていますので、注意しましょう。8小節目は、1、2弦の開放を生かしたフレーズになっています。

**B**④小節目4拍目の1弦2フレット・F音を押さえる人差指は、指頭ではなく、3弦1フレット・A音を押さえていた形から移行しやすい1～3弦部分セーハで押弦しています。

6小節目2拍目最後の3連符は、クイック・アルペジオです。弾き方自体は、波線を併記した形のクイック・アルペジオと同じですが、ここはベース音が2拍目のウラのウラからスタートしているので、このように記譜してあります。

6小節目後半のD<sup>b</sup>6は、1～3弦を人差指で部分セーハします（ダイアグラム譜を参照して下さい）。小節の最後では、その人差指による部分セーハと、1弦を押さえた小指をそのままグリス・アップして、次の小節のB<sup>b</sup>m(onE<sup>b</sup>)につなげます。

8小節目の7フレット・ハーモニクスは、**C**8小節目と同様、少しうっくり、柔らかくダウン・ストロークします。

**A3**は、3小節目と7小節目以外ほぼ**A**と同じです。7小節目は、メロディ・ラインが**A**と異なっています。

**Intro**は、ほぼ**[Intro]**と同じです。このセクションのみ、2本目のギター（メイン・ギターと同じチューニング）によるハーモニクスが重ねられています（P.43参照）。

**A4**は、4小節目、8小節目以外ほぼ**A**と同じです。8小節目は、**A2**の8小節目と同じフォームです。

**B2**は、3小節目以外ほぼ**B**と同じです。

**A5**は、6小節目までほぼ**C**と同じで、7小節目のメロディ・ラインは**A3**と同じです。9～12小節目は、**C**の5～8小節目とほぼ同じです。

3小節目の3拍目ウラは、5弦4フレット・C音を押さえている薦指を倒して、部分セーハしています。

7小節目の最後の3弦開放・A<sup>b</sup>音→4弦開放・E<sup>b</sup>音は、8小節目の5弦開放・A<sup>b</sup>音に向かって、ごく軽くアップ・ストロークしています。

**C**は、基本的に人差指と薦指による部分セーハで弾いています。

**C2**は、ほぼ**C**と同じです。メロディのフレーズの入りがウラ拍からになっており、また7小節目で曲が終わっています。

**Intro**

D $\flat$

B $\flat$ m7(11)

E $\flat$ 7

A $\flat$

A $\flat$ 7

D $\flat$

D $\flat$ m6

→ Cm7

B $\flat$ m7(11)

B $\flat$ m7(11)(on E $\flat$ )

A $\flat$

2      1

**A**

D $\flat$ add9

C7

1      3      4

Cm7

Fm7

~ [A]

$D^b_{add9}$

$A^b$

$A^b_{maj7(9)}$

[A2]

same as [A] except notice

$B^b_{m7(11)}$

$D^b_{add9}$

$A^b$

[B]

$D^b_{maj7}$

$Cm7$

$F7$

~ B

D<sup>b</sup>add9      D<sup>b</sup>      → D<sup>b</sup>maj7      D<sup>b</sup>6

B<sup>b</sup>m (on E<sup>b</sup>)      E<sup>b</sup>

The diagram shows six guitar neck diagrams. The first four are horizontal, with the first three sharing a common x-axis from 3 to 6. The fifth and sixth are vertical, with the fifth sharing a common x-axis from 5 to 8. The diagrams illustrate various chord voicings and fingerings, such as D<sup>b</sup>add9 (with fingers 1, 2, 3, 4), D<sup>b</sup> (with fingers 1, 2, 3), D<sup>b</sup>maj7 (with fingers 1, 2, 3, 4), D<sup>b</sup>6 (with fingers 1, 2, 3, 4), B<sup>b</sup>m (on E<sup>b</sup>) (with fingers 1, 2, 3, 4), and E<sup>b</sup> (with fingers 1, 2, 3).

A3

same as [A] except notice

D<sup>b</sup>add9      A<sup>b</sup>maj7

The diagram shows five guitar neck diagrams. The first two are horizontal, with the first sharing a common x-axis from 1 to 4. The third is vertical, sharing a common x-axis from 1 to 4. The fourth and fifth are vertical, sharing a common x-axis from 2 to 4. The diagrams illustrate various chord voicings and fingerings, such as D<sup>b</sup>add9 (with fingers 1, 2, 3, 4) and A<sup>b</sup>maj7 (with fingers 1, 2, 3, 4).

Intro

same as [Intro] except notice

A<sup>b</sup>maj7

The diagram shows four guitar neck diagrams. The first two are horizontal, with the first sharing a common x-axis from 7 to 10. The third and fourth are vertical, sharing a common x-axis from 7 to 10. The diagrams illustrate various chord voicings and fingerings, such as A<sup>b</sup>maj7 (with fingers 1, 2, 3, 4).

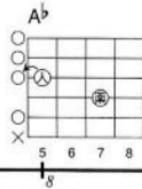
A4

same as [A] except notice

A<sup>b</sup>maj7      Fm7

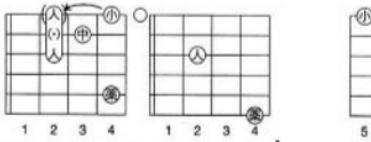
The diagram shows four guitar neck diagrams. The first two are horizontal, with the first sharing a common x-axis from 2 to 3. The third and fourth are vertical, sharing a common x-axis from 3 to 4. The diagrams illustrate various chord voicings and fingerings, such as A<sup>b</sup>maj7 (with fingers 1, 2, 3, 4) and Fm7 (with fingers 1, 2, 3, 4).

~A4



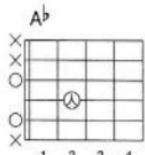
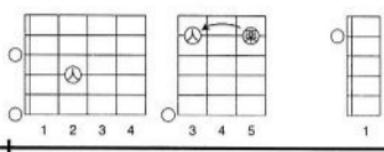
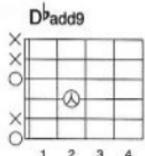
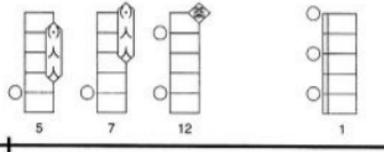
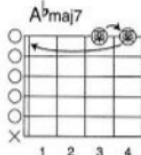
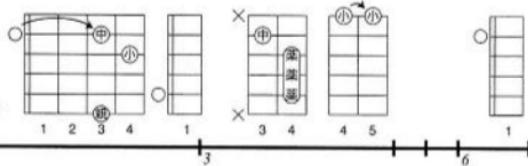
B2

same as B  
except notice

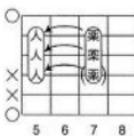
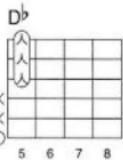
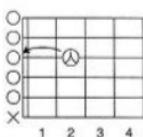
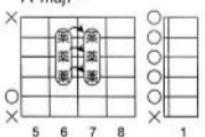
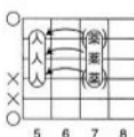
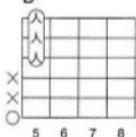
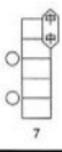
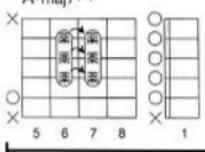


A5

I~6 bar : same as  
A I~6 bar except notice

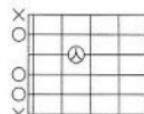


C

A<sup>b</sup>maj7(9)D<sup>b</sup>A<sup>b</sup>maj7(9)D<sup>b</sup>

C2

same as C except notice

D<sup>b</sup>

## GUITAR 2

Tuning : C<sup>#</sup>↓ G<sup>#</sup>↓ D<sup>#</sup>↑ G<sup>#</sup>↑ B<sup>#</sup>↑ D<sup>#</sup>↓

[Inter.]

2本目のギターは、メイン・ギターと同じチューニングで、ハーモニクスによるフレーズを弾いています。アルペジオやコード弾きの部分は構成音を元に、単音の部分はメイン・ギターを参考に、コード・ネームを付記してあります。

1、2、5、6小節目は、中指をセーハの形にしてハーモニクス・ポイントに触れます。ずっと触れておくのではなく、各弦をピッキングすることに離します。

Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (=D♭ A♭ E♭ A♭ C E♭)

Guitar 2 [Inter] D<sup>#</sup>add9 (Harm./Swo) → A<sup>#</sup>add9 B<sup>#</sup>m E♭ A<sup>#</sup>add9

D<sup>#</sup>add9 Cm7 B<sup>#</sup>m B<sup>#</sup>m(m/E) A<sup>#</sup>add9 (Harm./Swo) → (Harm.) →

桔子 ebook  
shop35811154.taobao.com

# そして僕は途方に暮れる

music by 大沢誓幸

© 1984 by WATANABE MUSIC PUBLISHING CO., LTD.



Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (Capo=3)

**Intro** Badd9

Badd9      Intro 2      Badd9      F#(on A)

G<sup>#</sup>m7(11)      F#      E6(9)

F# Badd9

<img alt="Sheet music for F# major, Badd9 chord. The left hand (piano) has 'x' marks above the notes. The right hand (guitar) has 'x' marks above the notes. Fingerings like 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 126, 127, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171, 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198, 199, 200, 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 218, 219, 220, 221, 222, 223, 224, 225, 226, 227, 228, 229, 230, 231, 232, 233, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 240, 241, 242, 243, 244, 245, 246, 247, 248, 249, 250, 251, 252, 253, 254, 255, 256, 257, 258, 259, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277, 278, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300, 301, 302, 303, 304, 305, 306, 307, 308, 309, 310, 311, 312, 313, 314, 315, 316, 317, 318, 319, 320, 321, 322, 323, 324, 325, 326, 327, 328, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 338, 339, 340, 341, 342, 343, 344, 345, 346, 347, 348, 349, 350, 351, 352, 353, 354, 355, 356, 357, 358, 359, 360, 361, 362, 363, 364, 365, 366, 367, 368, 369, 370, 371, 372, 373, 374, 375, 376, 377, 378, 379, 380, 381, 382, 383, 384, 385, 386, 387, 388, 389, 390, 391, 392, 393, 394, 395, 396, 397, 398, 399, 400, 401, 402, 403, 404, 405, 406, 407, 408, 409, 410, 411, 412, 413, 414, 415, 416, 417, 418, 419, 420, 421, 422, 423, 424, 425, 426, 427, 428, 429, 430, 431, 432, 433, 434, 435, 436, 437, 438, 439, 440, 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 448, 449, 450, 451, 452, 453, 454, 455, 456, 457, 458, 459, 460, 461, 462, 463, 464, 465, 466, 467, 468, 469, 470, 471, 472, 473, 474, 475, 476, 477, 478, 479, 480, 481, 482, 483, 484, 485, 486, 487, 488, 489, 490, 491, 492, 493, 494, 495, 496, 497, 498, 499, 500, 501, 502, 503, 504, 505, 506, 507, 508, 509, 510, 511, 512, 513, 514, 515, 516, 517, 518, 519, 520, 521, 522, 523, 524, 525, 526, 527, 528, 529, 530, 531, 532, 533, 534, 535, 536, 537, 538, 539, 540, 541, 542, 543, 544, 545, 546, 547, 548, 549, 550, 551, 552, 553, 554, 555, 556, 557, 558, 559, 560, 561, 562, 563, 564, 565, 566, 567, 568, 569, 570, 571, 572, 573, 574, 575, 576, 577, 578, 579, 580, 581, 582, 583, 584, 585, 586, 587, 588, 589, 589, 590, 591, 592, 593, 594, 595, 596, 597, 598, 599, 600, 601, 602, 603, 604, 605, 606, 607, 608, 609, 610, 611, 612, 613, 614, 615, 616, 617, 618, 619, 620, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 627, 628, 629, 630, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 637, 638, 639, 640, 641, 642, 643, 644, 645, 646, 647, 648, 649, 650, 651, 652, 653, 654, 655, 656, 657, 658, 659, 660, 661, 662, 663, 664, 665, 666, 667, 668, 669, 669, 670, 671, 672, 673, 674, 675, 676, 677, 678, 679, 680, 681, 682, 683, 684, 685, 686, 687, 688, 689, 689, 690, 691, 692, 693, 694, 695, 696, 697, 698, 699, 700, 701, 702, 703, 704, 705, 706, 707, 708, 709, 7010, 7011, 7012, 7013, 7014, 7015, 7016, 7017, 7018, 7019, 7020, 7021, 7022, 7023, 7024, 7025, 7026, 7027, 7028, 7029, 70210, 70211, 70212, 70213, 70214, 70215, 70216, 70217, 70218, 70219, 70220, 70221, 70222, 70223, 70224, 70225, 70226, 70227, 70228, 70229, 70230, 70231, 70232, 70233, 70234, 70235, 70236, 70237, 70238, 70239, 702310, 702311, 702312, 702313, 702314, 702315, 702316, 702317, 702318, 702319, 702320, 702321, 702322, 702323, 702324, 702325, 702326, 702327, 702328, 702329, 702330, 702331, 702332, 702333, 702334, 702335, 702336, 702337, 702338, 702339, 7023310, 7023311, 7023312, 7023313, 7023314, 7023315, 7023316, 7023317, 7023318, 7023319, 7023320, 7023321, 7023322, 7023323, 7023324, 7023325, 7023326, 7023327, 7023328, 7023329, 7023330, 7023331, 7023332, 7023333, 7023334, 7023335, 7023336, 7023337, 7023338, 7023339, 70233310, 70233311, 70233312, 70233313, 70233314, 70233315, 70233316, 70233317, 70233318, 70233319, 70233320, 70233321, 70233322, 70233323, 70233324, 70233325, 70233326, 70233327, 70233328, 70233329, 70233330, 70233331, 70233332, 70233333, 70233334, 70233335, 70233336, 70233337, 70233338, 70233339, 702333310, 702333311, 702333312, 702333313, 702333314, 702333315, 702333316, 702333317, 702333318, 702333319, 702333320, 702333321, 702333322, 702333323, 702333324, 702333325, 702333326, 702333327, 702333328, 702333329, 702333330, 702333331, 702333332, 702333333, 702333334, 702333335, 702333336, 702333337, 702333338, 702333339, 7023333310, 7023333311, 7023333312, 7023333313, 7023333314, 7023333315, 7023333316, 7023333317, 7023333318, 7023333319, 7023333320, 7023333321, 7023333322, 7023333323, 7023333324, 7023333325, 7023333326, 7023333327, 7023333328, 7023333329, 7023333330, 7023333331, 7023333332, 7023333333, 7023333334, 7023333335, 7023333336, 7023333337, 7023333338, 7023333339, 70233333310, 70233333311, 70233333312, 70233333313, 70233333314, 70233333315, 70233333316, 70233333317, 70233333318, 70233333319, 70233333320, 70233333321, 70233333322, 70233333323, 70233333324, 70233333325, 70233333326, 70233333327, 70233333328, 70233333329, 70233333330, 70233333331, 70233333332, 70233333333, 70233333334, 70233333335, 70233333336, 70233333337, 70233333338, 70233333339, 702333333310, 702333333311, 702333333312, 702333333313, 702333333314, 702333333315, 702333333316, 702333333317, 702333333318, 702333333319, 702333333320, 702333333321, 702333333322, 702333333323, 702333333324, 702333333325, 702333333326, 702333333327, 702333333328, 702333333329, 702333333330, 702333333331, 702333333332, 702333333333, 702333333334, 702333333335, 702333333336, 702333333337, 702333333338, 702333333339, 7023333333310, 7023333333311, 7023333333312, 7023333333313, 7023333333314, 7023333333315, 7023333333316, 7023333333317, 7023333333318, 7023333333319, 7023333333320, 7023333333321, 7023333333322, 7023333333323, 7023333333324, 7023333333325, 7023333333326, 7023333333327, 7023333333328, 7023333333329, 7023333333330, 7023333333331, 7023333333332, 7023333333333, 7023333333334, 7023333333335, 7023333333336, 7023333333337, 7023333333338, 7023333333339, 70233333333310, 70233333333311, 70233333333312, 70233333333313, 70233333333314, 70233333333315, 70233333333316, 70233333333317, 70233333333318, 70233333333319, 70233333333320, 70233333333321, 70233333333322, 70233333333323, 70233333333324, 70233333333325, 70233333333326, 70233333333327, 70233333333328, 70233333333329, 70233333333330, 70233333333331, 70233333333332, 70233333333333, 70233333333334, 70233333333335, 70233333333336, 70233333333337, 70233333333338, 70233333333339, 702333333333310, 702333333333311, 702333333333312, 702333333333313, 702333333333314, 702333333333315, 702333333333316, 702333333333317, 702333333333318, 702333333333319, 702333333333320, 702333333333321, 702333333333322, 702333333333323, 702333333333324, 702333333333325, 702333333333326, 702333333333327, 702333333333328, 702333333333329, 702333333333330, 702333333333331, 702333333333332, 702333333333333, 702333333333334, 702333333333335, 702333333333336, 702333333333337, 702333333333338, 702333333333339, 7023333333333310, 7023333333333311, 7023333333333312, 7023333333333313, 7023333333333314, 7023333333333315, 7023333333333316, 7023333333333317, 7023333333333318, 7023333333333319, 7023333333333320, 7023333333333321, 7023333333333322, 7023333333333323, 7023333333333324, 7023333333333325, 7023333333333326, 7023333333333327, 7023333333333328, 7023333333333329, 7023333333333330, 7023333333333331, 7023333333333332, 7023333333333333, 7023333333333334, 7023333333333335, 7023333333333336, 7023333333333337, 7023333333333338, 7023333333333339, 70233333333333310, 70233333333333311, 70233333333333312, 70233333333333313, 70233333333333314, 70233333333333315, 70233333333333316, 70233333333333317, 70233333333333318, 70233333333333319, 70233333333333320, 70233333333333321, 70233333333333322, 70233333333333323, 70233333333333324, 70233333333333325, 70233333333333326, 70233333333333327, 70233333333333328, 70233333333333329, 70233333333333330, 70233333333333331, 70233333333333332, 70233333333333333, 70233333333333334, 70233333333333335, 70233333333333336, 70233333333333337, 70233333333333338, 70233333333333339, 702333333333333310, 702333333333333311, 702333333333333312, 702333333333333313, 702333333333333314, 702333333333333315, 702333333333333316, 702333333333333317, 702333333333333318, 702333333333333319, 702333333333333320, 702333333333333321, 702333333333333322, 702333333333333323, 702333333333333324, 702333333333333325, 702333333333333326, 702333333333333327, 702333333333333328, 702333333333333329, 702333333333333330, 702333333333333331, 702333333333333332, 702333333333333333, 702333333333333334, 702333333333333335, 702333333333333336, 702333333333333337, 702333333333333338, 702333333333333339, 7023333333333333310, 7023333333333333311, 7023333333333333312, 7023333333333333313, 7023333333333333314, 7023333333333333315, 7023333333333333316, 7023333333333333317, 7023333333333333318, 7023333333333333319, 7023333333333333320, 7023333333333333321, 7023333333333333322, 7023333333333333323, 7023333333333333324, 7023333333333333325, 7023333333333333326, 7023333333333333327, 7023333333333333328, 7023333333333333329, 7023333333333333330, 7023333333333333331, 7023333333333333332, 7023333333333333333, 7023333333333333334, 7023333333333333335, 7023333333333333336, 7023333333333333337, 7023333333333333338, 7023333333333333339, 70233333333333333310, 70233333333333333311, 70233333333333333312, 70233333333333333313, 70233333333333333314, 70233333333333333315, 70233333333333333316, 70233333333333333317, 70233333333333333318, 70233333333333333319, 70233333333333333320, 70233333333333333321, 70233333333333333322, 70233333333333333323, 70233333333333333324, 70233333333333333325, 70233333333333333326, 70233333333333333327, 70233333333333333328, 70233333333333333329, 70233333333333333330, 70233333333333333331, 70233333333333333332, 70233333333333333333, 70233333333333333334, 70233333333333333335, 70233333333333333336, 70233333333333333337, 70233333333333333338, 70233333333333333339, 702333333333333333310, 702333333333333333311, 702333333333333333312, 702333333333333333313, 702333333333333333314, 702333333333333333315, 702333333333333333316, 702333333333333333317, 702333333333333333318, 702333333333333333319, 702333333333333333320, 702333333333333333321, 702333333333333333322, 702333333333333333323, 702333333333333333324, 702333333333333333325, 702333333333333333326, 702333333333333333327, 702333333333333333328, 702333333333333333329, 702333333333333333330, 702333333333333333331, 702333333333333333332, 702333333333333333333, 702333333333333333334, 702333333333333333335, 702333333333333333336, 702333333333333333337, 702333333333333333338, 702333333333333333339, 7023333333333333333310, 7023333333333333333311, 7023333333333333333312, 7023333333333333333313, 7023333333333333333314, 7023333333333333333315, 7023333333333333333316, 7023333333333333333317, 7023333333333333333318, 7023333333333333333319, 7023333333333333333320, 7023333333333333333321, 7023333333333333333322, 7023333333333333333323, 7023333333333333333324, 7023333333333333333325, 7023333333333333333326, 7023333333333333333327, 7023333333333333333328, 7023333333333333333329, 7023333333333333333330, 7023333333333333333331, 7023333333333333333332, 7023333333333333333333, 7023333333333333333334, 7023333333333333333335, 7023333333333333333336, 7023333333333333333337, 7023333333333333333338, 7023333333333333333339, 70233333333333333333310, 70233333333333333333311, 70233333333333333333312, 70233333333333333333313, 70233333333333333333314, 70233333333333333333315, 70233333333333333333316, 70233333333333333333317, 70233333333333333333318, 70233333333333333333319, 70233333333333333333320, 70233333333333333333321, 70233333333333333

**C Eadd9**

**F#(13)** thumb

**D#m7**

**G#m**

**E**

**F#**

**B**

**G#m**

**Emaj7**

**Emaj7(on F#)** thumb

**Badd9**

**A2** **Badd9**

**F#(on A#)**

**G#m7(11)**

**F#7**

**E**

**F#7**

**Badd9**

Badd9                      F#(11)(on A<sup>2</sup>)                      G#m7(11)                      F#7                      E

E

F#7

Badd9

E

F#7

Badd9

Eadd9

F#(13)

D#m7

G#m7

thumb

Eadd9

F#

B

G#m

Emaj7

Emaj7(on F#)

Badd9

D Aadd9

Aadd9 B

Aadd9 F#7(11)

C#m7(on F) Badd9 F#(11)(on A#)

G#m7(11) F# E6(9) F#

Badd9

Musical score for Badd9 chord, measures 1-4. The score consists of two staves. The top staff has a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The bottom staff has a bass clef and a common time signature. The first measure shows a bass line with eighth-note patterns and a treble line with sixteenth-note patterns. Measures 2-4 show similar patterns. Measure 5 begins a new section.

G#m7(11)

F#

Eadd9

F#

Musical score for G<sup>#</sup>m7(11), F<sup>#</sup>, Eadd9, and F<sup>#</sup> chords, measures 5-8. The score continues with two staves. The bass line remains consistent with eighth-note patterns. The treble line follows the harmonic progression: G<sup>#</sup>m7(11) with sixteenth-note patterns, F<sup>#</sup> with eighth-note patterns, Eadd9 with sixteenth-note patterns, and F<sup>#</sup> with eighth-note patterns.

Badd9

Eadd9

F#(13)

Musical score for Badd9, Eadd9, and F<sup>#</sup>(13) chords, measures 9-12. The bass line continues with eighth-note patterns. The treble line starts with Badd9, followed by Eadd9 with sixteenth-note patterns, and ends with F<sup>#</sup>(13) with eighth-note patterns.

D#m7

G#m

Eadd9

F#

Musical score for D<sup>#</sup>m7, G<sup>#</sup>m, Eadd9, and F<sup>#</sup> chords, measures 13-16. The bass line continues with eighth-note patterns. The treble line starts with D<sup>#</sup>m7, followed by G<sup>#</sup>m with sixteenth-note patterns, Eadd9 with sixteenth-note patterns, and ends with F<sup>#</sup> with eighth-note patterns.

B

G#m

Emaj7

Emaj7(on F#)

Musical score for B, G<sup>#</sup>m, Emaj7, and Emaj7(on F<sup>#</sup>) chords, measures 17-20. The bass line continues with eighth-note patterns. The treble line starts with B, followed by G<sup>#</sup>m with sixteenth-note patterns, Emaj7 with sixteenth-note patterns, and ends with Emaj7(on F<sup>#</sup>) with eighth-note patterns.

This image shows two staves of sheet music. The top staff is for 'Baddi' and the bottom staff is for 'Bass guitar'. The music consists of two measures. Measure 13 starts with a rest followed by eighth-note patterns. Measure 14 begins with a bass note, followed by eighth-note patterns. Various performance instructions like 'x', 'gloss', and grace notes are included.

Musical score for piano and voice, page 111, measures 1-4. The score consists of two staves. The top staff is for the voice, starting with a G major chord (G, B, D) followed by an F#7 chord (F#, A, C#, E). The lyrics are "I'm not the one". The bottom staff is for the piano, showing bass notes and right-hand chords. Measure 1 ends with a repeat sign and a double bar line. Measures 2-4 continue with the same chords and lyrics.

Bassoon 2 part of the musical score. The score consists of two staves. The top staff is in treble clef and the bottom staff is in bass clef. Measures 10 and 11 are shown. Measure 10 starts with a fermata over a note, followed by a sixteenth-note pattern. Measure 11 begins with a fermata over a note, followed by a sixteenth-note pattern. The score includes dynamic markings like  $p$  (piano),  $f$  (fortissimo), and  $\text{ff}$  (fortississimo). There are also various slurs and grace notes. The bassoon part features several grace notes and sixteenth-note patterns.

This image shows the musical score for piano and basso continuo from page 11, measures 11-12. The score includes two staves: a treble staff for the piano and a bass staff for the continuo. The piano part features various note heads and rests, some with 'x' marks, indicating specific performance instructions. The continuo part consists of bass notes with accompanying numbers and circled 'G' symbols, likely indicating fingerings or specific continuo realizations. The key signature changes between G major (measures 11-12) and E major (measure 13).

Bassoon part for Baddi's solo section. The score shows two staves of music. The top staff is in treble clef and the bottom staff is in bass clef. Both staves feature a series of eighth-note patterns with various slurs and grace notes. The bassoon part includes fingerings and dynamic markings such as forte (f) and piano (p). The music is set against a background of sustained notes and rests.

# そして僕は途方に暮れる

Guitar ● Nashville Guitar Company

Tuning C↓ G↓ D↑ G↑ B↑ D↑ (Capo=3)

- ① 6弦を1音下げる (5弦4フレットを基準にオクターブ下)
- ② 5弦を半音下げる (6弦7フレットとユニゾン)
- ③ 4弦を半音上げる (5弦7フレットとユニゾン)
- ④ 3弦を半音上げる (5弦開放を基準にオクターブ上)
- ⑤ 2弦を半音上げる (3弦4フレットとユニゾン)
- ⑥ 1弦を1音下げる (4弦開放を基準にオクターブ上)

オリジナルは大澤誓志幸(現・大澤誓志幸)さんの1984年のヒット曲で、その後多くのミュージシャンによってカバーされています。

## 概要&テクニック解説

チューニングは2曲目の「CLOSE TO YOU」と同じく、押尾さんがよく使っている「C G D G B D」を半音上げたもので、この曲では3フレットにカポタストを付けています。また本書の五線譜は、実際に鳴っている音に合わせてBキー(口長調)で採譜してあります。ダイアグラム譜には、カボの位置を0フレット(C# G# D# G# B# D#)として考えた場合のコード・ネームを、カッコ内に併記しておきました。△を1つ取る事で、CGDGBDチューニング時のコード・ネームと同じになりますので、参考にして下さい。例えば[Intro]のBadd9は、カッコ内表記はG#add9ですから、△を1つ取るとGadd9になり、フォームをイメージしやすくなると思います。

ネイル・アタック(音符の上に×印)でリズムを取りながら演奏していきます。基本的には、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います(あまり低音弦ではなく、1~4弦あたりを狙うとよいでしょう)。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り(十分長く)弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。意識して弾くとよいでしょう。

## 演奏のポイント

[Intro] 1小節目のBadd9のフレーズが、この曲の核になっています。1拍目ウラの3弦2フレット・C#音は、次の2拍目のネイル・アタック直後に、押弦した人差指を緩めて音を短く切っています。4弦開放・F#音が、鳴っているときと鳴っていないときがありますが、ポイントはあくまで3弦ですので、細かくこだわる必要はないでしょう。

3小節目は、2拍目のネイル・アタック前に3弦2フレットを離しています。これも厳密なものではありませんので、1~2小節目のように統一してもよいでしょう。

[Intro] 2 小節目から2小節目へは、人差指で3弦2フレット・C#音を押さえたまま、小指で6弦6フレット・A#音を押さえます。

[A] 1小節目は[Intro]と同様に、1拍目ウラの3弦2フレット・C#音を押さえた人差指を、2拍目のネイル・アタック直後に離し、4拍目ウラの時点で薬指を使って4弦7フレット・C#音を押さえます。

2小節目の3拍目ウラあたりで、6弦6フレット・A#音を押さえた中指を離し、同時に4弦7フレット・C#音を押さえた薬指を、4フレットまでグリス・ダウンします。

4小節目の2拍目は、メロディ自体は2弦開放・D#音ですが、ネイル・アタックによって1弦開放・F#音も鳴っています。

Bは、4小節目まではほぼ[A]と同じです。4小節目最後から5小節目にかけて、E6がEになっています(これは、3弦が2フレット・C#音か開放・B音かの違いです)。

5小節目後半以降は、メロディ・ラインが変わります。6小節目2拍目は、[A]4小節目と同様、2弦開放・D#音がメロディです。

Cはこの曲のサビ部分です。1小節目と5小節目は同じフレーズですが、4弦開放・F#音の有無によりコード表記をEadd9(有)、E(無)と変えています。これも[Intro]の解説で書いたものと同様、厳密なものではありません。

A2は、ほぼ[A]と同じです。2小節目のコード・ネームが

$F^{\#(13)}(on A^{\#})$ ではなく  $F^{\#}(on A^{\#})$ になっていますが、これは伴奏として(2拍目ウラで)2弦開放・D<sup>#</sup>音を弾いていないだけで、フォームは同じです(そのため、ダイアグラム譜は省略してあります)。

4小節目最後から5小節目にかけて、**A**ではE6だったコードが、**B**と同様Eになっています。

**B2**は、ほぼ**B**と同じです。2小節目のコード・ネームは  $F^{\#(11)}(on A^{\#})$ になっていますが、3弦開放・B音の有無の違いだけで、フォームは  $F^{\#(13)}(on A^{\#})$ と同じです。

7～8小節目の伴奏部分のフレーズは、**[Intro]**や**A**と同じものになっています。

**C2**は、ほぼ**C**と同じです。4小節目は、G<sup>#</sup>mがG<sup>#</sup>m7になっています(4弦が、2フレット・G<sup>#</sup>音が開放・F<sup>#</sup>音かの違いです)。

5小節目はEがEadd9になっていますが、**C**の解説で触れたように、4弦開放・F<sup>#</sup>音の有無による違いです。

7小節目は、メロディを開放弦ではなく、直前のフォームをスライドさせて押弦した状態で弾いています。

12小節目後半は、メロディ・ラインが変わります。

**D1**～2小節目のAadd9は、人差指の4～6弦5フレット部分セーハを中心に押さえています。4弦7フレット・C<sup>#</sup>音は薬指で押弦し、3弦5フレット・E音を中指で押さえる時点で、薬指は離します(部分セーハは押さえたままにします)。

2小節目と6小節目の最初のコードは、クイック・アルペジオで弾きます。

9～10小節目は、1～2小節目と同様に人差指で4～6弦5フレットを部分セーハし、3弦5フレット・E音は中指で押さえます。4弦7フレット・C<sup>#</sup>音を薬指で押さえる時点で、中指を離します(部分セーハは押さえたままです)。

14小節目はストロークで弾きます。

**E**は、ほぼ**[Intro2]**と同じです。2小節目のみ、ロー・ポジションではなく**A**2小節目と同じフォームで弾いています。

ここと、その次の**E2**のみ、2本目のギター(メイン・ギターと同じチューニング、カポ)によるハーモニクスが重ねられています(P.59参照)。これは、普通にハーモニクスを録音した後、ミックスの際に音のアタック部分を削る事で、ふわっとしたグラス・ハープのような音に加工しています。

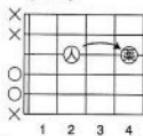
**E2**は、ほぼ**E**と同じです。8小節目のみ、**B2**小節目と同様サビに向かうメロディになります。

**C3**は、ほぼ**C**と同じです。

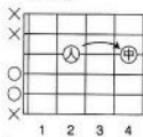
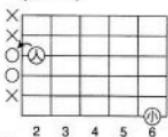
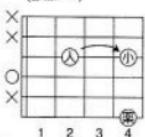
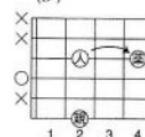
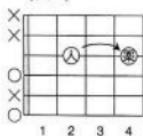
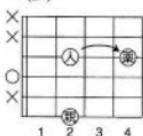
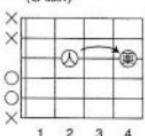
**A3**は、ほぼ**A**と同じです。

**B3**は、ほぼ**B**と同じです。8小節目はサビに向かうメロディにならないで、**[Intro]**などに見られる基本パターンを繰り返して、10小節目で終わります。

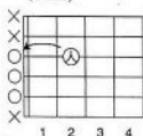
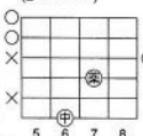
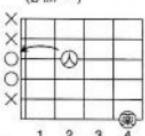
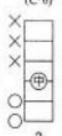
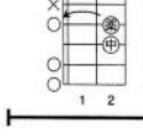
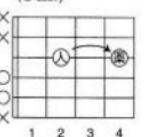
## Intro

Badd9  
(G $\sharp$  add9)

## Intro 2

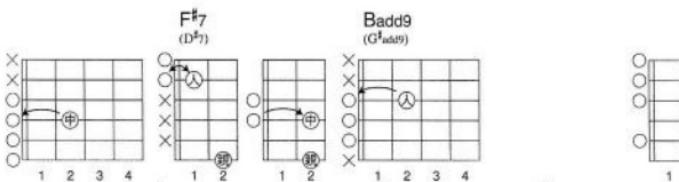
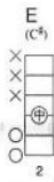
Badd9  
(G $\sharp$  add9)F $\sharp$  (on A $\sharp$ )  
(D $\sharp$  on E $\sharp$ )G $\sharp$ m7(11)  
(E $\sharp$ m7(11))F $\sharp$   
(D $\sharp$ )E6(9)  
(C $\sharp$ E $\sharp$ )F $\sharp$   
(D $\sharp$ )Badd9  
(G $\sharp$  add9)

## A

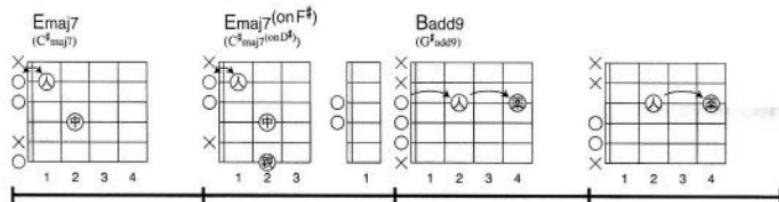
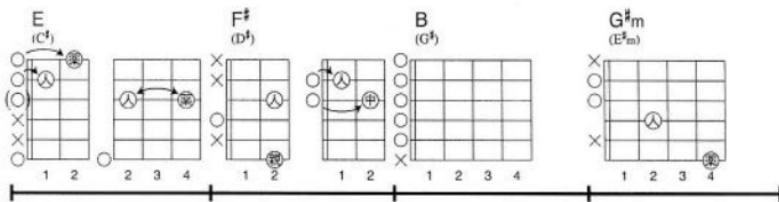
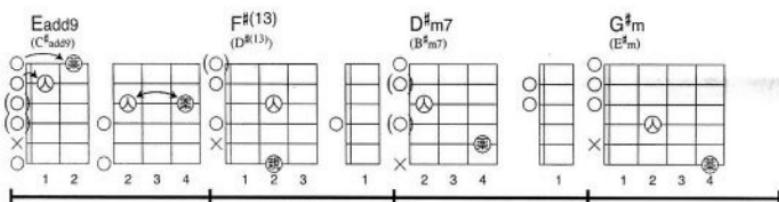
Badd9  
(G $\sharp$  add9)F $\sharp$ (13)(on A $\sharp$ )  
(D $\sharp$ (13)(on E $\sharp$ ))G $\sharp$ m7(11)  
(E $\sharp$ m7(11))F $\sharp$ 7  
(D $\sharp$ 7)E6  
(C $\sharp$ E $\sharp$ )F $\sharp$ 7  
(D $\sharp$ 7)Badd9  
(G $\sharp$  add9)

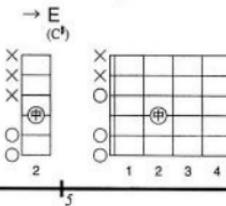
B

$1\sim 3$  bar : same as A  $1\sim 3$  bar

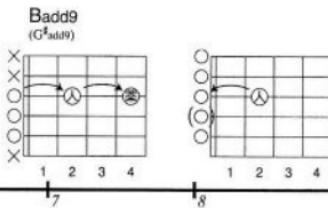


C

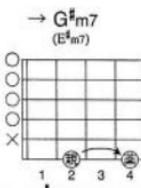


**A2**

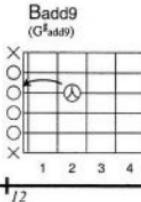
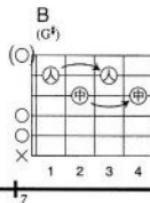
same as [A] except notice

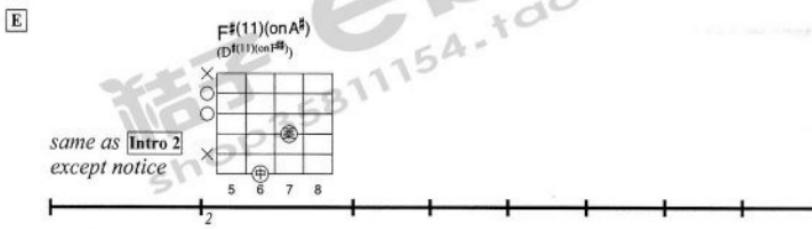
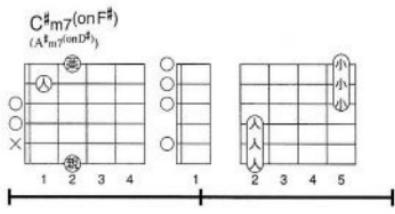
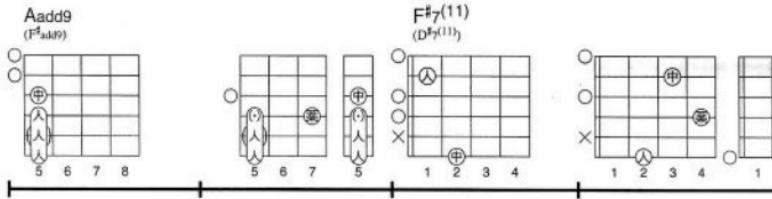
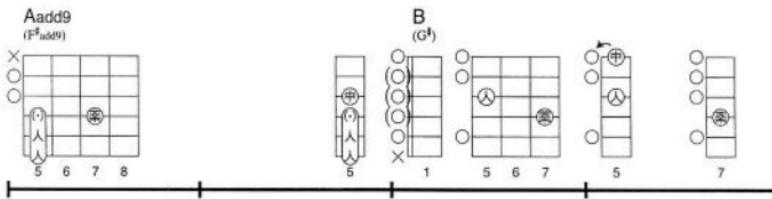
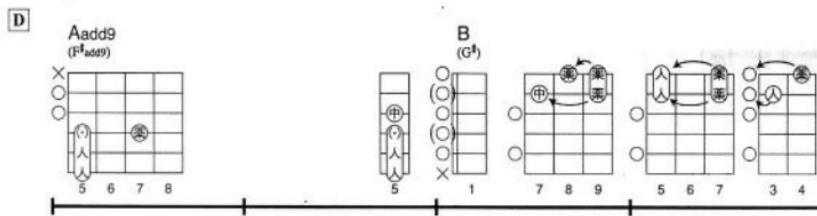
**B2**

same as [B] except notice

**C2**

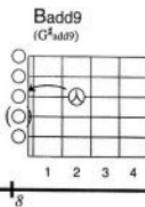
same as [C] except notice





E2

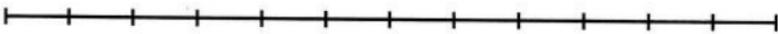
same as [E] except notice



そして僕は途方に暮れる

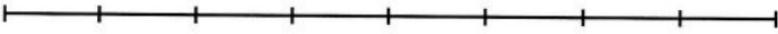
C3

same as [C]



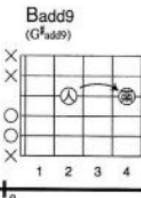
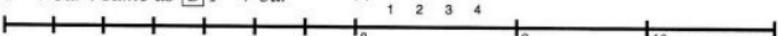
A3

same as [A2]



B3

1~7 bar : same as [B] 1~7 bar

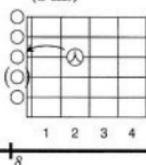


٪٪

٪٪

E2

same as [E] except notice



C3

same as [C]



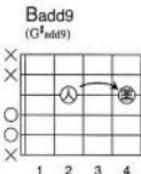
A3

same as [A2]



B3

I~7 bar : same as [B] I~7 bar



## GUITAR 2 Tuning : C<sup>#</sup>↓ G<sup>#</sup>↓ D<sup>#</sup>↑ G<sup>#</sup>↑ B<sup>#</sup>↑ D<sup>#</sup>↓ (Capo 3)

[E] ~ [E2]

2本目のギターは、メイン・ギターと同じチューニングで、ハーモニクスによるフレーズを弾いています。[E]と[E2]はほぼ同じフレーズですが、最後の2小節が異なっています。左手は、ノン・カッタウェイ・ギターでは12フレット・ハーモニクスが触れにくいので(3カポのため、実際に触れるのは15

フレットになります)、薬指を使っています。それ以外(7フレットと5フレット)は、押尾さんがハーモニクスを弾くときに多用する中指を使っています。他の指の方が弾きやすければ、変更しても構わないでしょう。

Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (Capo=3)

Guitar 2

E, B, F#, G#m7, F#, E, F#, B, B, F#, F#, B  
Harm. (Ham.) Harm.



# 元気を出して

music by 竹内まりや

© 1984 by TENDERBERRY &amp; HARVEST INC.



Tuning = Standard

**[Intro]**

A Dmaj7 E F#m7 E Dmaj7 Bm7(on E) A Bm7(on E) Harm.7 (Ham) Harm.7 (Ham)

**[A]**

A Dmaj7 E A E F#m7 Bm7 E7sus4 E7

**thumb**

**C**

Dmaj7 C#m7 Dmaj7 C#m7 Bm7 E7

**B**

Dmaj7 C#m7 Dmaj7 C#m7 Bm7 E7

**A**

Dmaj7 C#m7 Dmaj7 C#m7 Bm7 E7

**thumb**

**C**

Dmaj7 C#m7 Dmaj7 C#m7 Bm7 E7

**B**

Dmaj7 C#m7 Dmaj7 C#m7 Bm7 E7

**B**

Cmaj7      Bm7      E7sus4      E7      Am7      D7      Gmaj7      G#m7      C7

thumb

F#m7      B7      Bm7(on E) Harm.7      E7sus4      E7

thumb      Harm.7

**C**

A      Dmaj7      E      A      E(on G)      F#m7      Bm7      E7sus4      E7

A      Dmaj7      C7      F#m7      B7      Bm7(on E)      A      G(on A)      A7

**D**

D      E7      C#m7      F#m7      Bm7      E7      A      G(on A)      A

thumb

Dm7      G7      C      Am7      Bm7      E7sus4      E7

E7sus4      E7      [C2] A      Dmaj7      E      A      E(on G)      F#m7      Bm7

E7sus4      E7      A      Dmaj7      C#7      F#m7      B7      Bm7(on E)

A      Bm7(on E)      Harm.7 (8va)      Inter      A      Dmaj7      E      F#m7      E      Dmaj7      E7sus4      E7

Harm.7

A      x      Bm7(on E)      h      h      E      A      H.C. x      Dmaj7      E      A      E(on G)

H.D.      H.C. x

F#m7      Bm7(9)      E7      A      Dmaj7

thumb      gliss.      gliss.

C7      F#m      E      B(onD#)      Bm7(onE)      A      G(onA)      A7      D2      D      E7      C#m7

C#m7      F#m7      Bm7      E7      A      G(onA)      A      Dm7      G7      C

C      Am7      Bm7      E7sus4      E7      E7sus4      E7

C      A      Dmaj7      E      A      E(onG)      F#m7      Bm7      E7sus4      E7

元気を出して

A musical score for piano and voice. The top staff shows the vocal line with lyrics and piano chords. The bottom staff shows the piano accompaniment. Measure 1 starts with a piano dynamic (p) and a vocal entry on 'Dmaj7'. Measures 2-3 show a piano solo with eighth-note patterns. Measure 4 begins with a vocal entry on 'C7'. Measures 5-6 show piano eighth-note patterns. Measure 7 begins with a vocal entry on 'F#m7'. Measures 8-9 show piano eighth-note patterns. Measure 10 begins with a vocal entry on 'B7(9)'. Measures 11-12 show piano eighth-note patterns. Measure 13 begins with a vocal entry on 'Bm7(on E)'. Measures 14-15 show piano eighth-note patterns. Measure 16 begins with a vocal entry on 'A'. Measures 17-18 show piano eighth-note patterns. Measure 19 begins with a vocal entry on 'Bm7(on E)'. The piano part includes various dynamics like forte (f), piano (p), and accents.

# 元気を出して

Guitar ● Gibson CF-100

Tuning ● Standard

竹内まりやさんが1987年にリリースしたシングル曲(B面)です。もともとは、薬師丸ひろ子さんのアルバム『古今集』(1984年発売)に提供されたもので、まりやさんのアルバム『REQUEST』にも収録されました。1988年にはCMにも使われ、この年に再びA面でシングル・カットされています。

## 概要&テクニック解説

ネイル・アタック(音符の上に×印)は、音符を記してある部分はその音を狙います。前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います。1~4弦あたりで、前後のメロディより高くなき弦を狙うとよいでしょう。また、ネイル・アタックそのものの音が鳴らず、動作の際に支えとなる小指がボディに当たった音だけが出ている場合もあります。

## 演奏のポイント

[Intro] 1小節目の4拍目は、コードに使われている音とは関係ない3弦開放・G音を弾いていますが、これは次にフォーム・チェンジするための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。他にも2小節目4拍目ウラの3弦開放・G音などが同じ“息つき”です。もし音程に違和感を感じる場合は、直前のコードを押さえたままにするか、あるいはごく弱めに弾くようにしてみましょう。

[A] 4小節目のE7sus4 ~ E7は、弾いてはいませんが5弦2フレット・B音を中指で押さえています(ダイアグラム譜参照)。他にもこのように、弾かないけれど押さえておくと良いポジションが多数ありますので、ダイアグラム譜を参考に、可能な範囲で押さえておくようにしましょう。

[C] 4小節目のGmaj7は、3、4弦4フレットを薬指と中

指で押さえますが、次のG#m7では指が替わりますので、2拍目オモテで一旦離し、2拍目ウラの時点で先に違う指で押さえ直しておきます。

[C]は、6小節目前半で[A]とほぼ同じです。

[D] 5小節目のG7は、直前のDm7のフォームを押弦したまま、薬指で押さえた6弦3フレット・G音を加えます。

[C2]は、[C]とほぼ同じです。

[Intro]は、3小節目のDmaj7まで[Intro]とほぼ同じです。

4小節目後半のBm7(onE)で、直前のAで押させていた中指(3弦6フレット・C#音)と薬指(4弦7フレット・A音)を離し、[C]のアドリブ・ソロへ進んでいきます。

[E] 7小節目は、2拍目ウラの時点で、1弦7フレット・B音を押さえた小指を残して、他の指を一旦離します。そして次の3拍目オモテで、小指を9フレットへ移動させ、Bm7(onE)を押さえます。

[D2]は、[D]とほぼ同じです。大きく異なるのは6小節目で、ここはブレイクがあります。

[C3]は、[C]とほぼ同じです。

[F]は、[C]と同じコード進行です(4小節目のBm7(onE)と、[C]4小節目のE7sus4は、ほぼ同じ響きです)。いくつか出てくる“○x only”は○回目のみ弾くという意味です。また、2小節目の“2x”は、2回目の繰り返し時にはこちらを弾くことを表しています。いずれも、それほど厳密に考える必要はありませんので、自分が弾きやすい、あるいは雰囲気が出しやすい弾き方に統一して演奏してもよいでしょう。

[Ending]は、3小節目のDmaj7まで[Intro]とほぼ同じです。最後は、Bm7(onE)で1弦5フレット・A音を押さえた小指を押さえたまま9フレットに移動し、Aを弾きます。

**Intro**

A horizontal timeline below the first row of diagrams shows the progression from Intro to E, with a break between A and Dmaj7.

**Detailed Diagrams:**

- Intro:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- A:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Dmaj7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1). Arrows indicate movement: (1,1) to (1,2), (1,2) to (1,3), (1,3) to (1,4), (1,4) to (2,1), (2,1) to (2,2), (2,2) to (2,3), (2,3) to (2,4), (2,4) to (3,1), (3,1) to (3,2), (3,2) to (3,3), (3,3) to (3,4), (3,4) to (4,1).
- F#m7 → E:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).

A horizontal timeline below the second row of diagrams shows the progression from A to E7, with breaks between A and E, and between F#m7 and Bm7.

**Detailed Diagrams:**

- A:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Dmaj7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- A:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- F#m7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Bm7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E7sus4:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- A:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Dmaj7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- C#7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- F#m7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Dmaj7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- C#m7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- Bm7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).
- E7:** Grid with notes at (1,1), (2,1), (3,1), (4,1).

**B**

Cmaj7	Bm7	E7sus4	E7
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

---

Am7	D7	Gmaj7	→ G#m7	C#7
1 2 3 4	1 2 3 4	3 4 5 6	3 4	2 3 4

---

F#m7	B7	
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

---

Bm7(onE)	E7sus4	E7
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

---

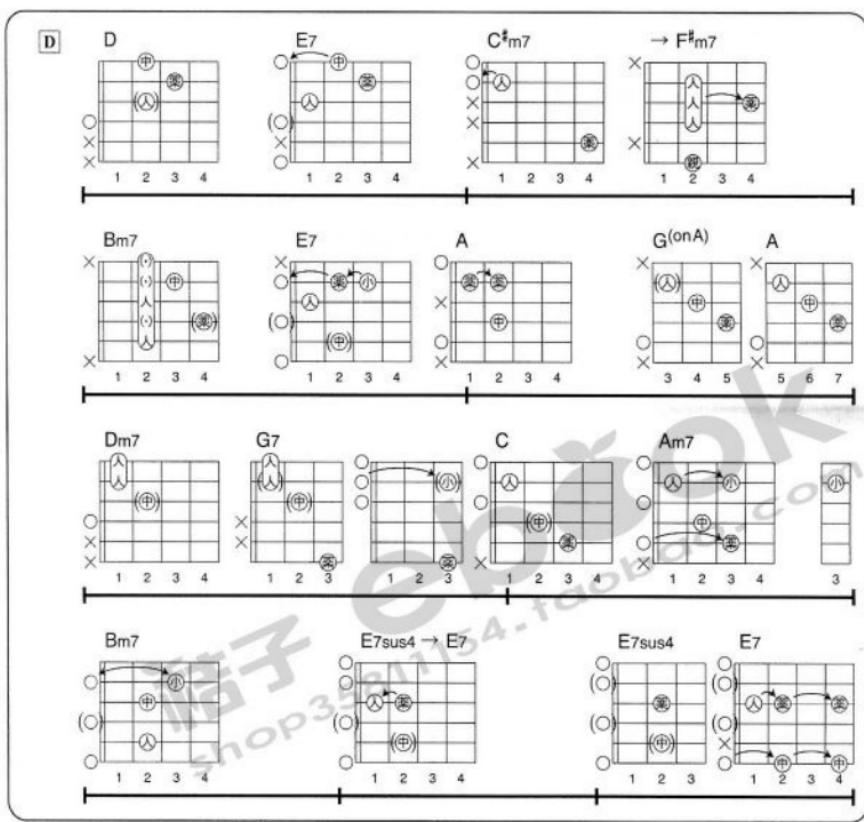
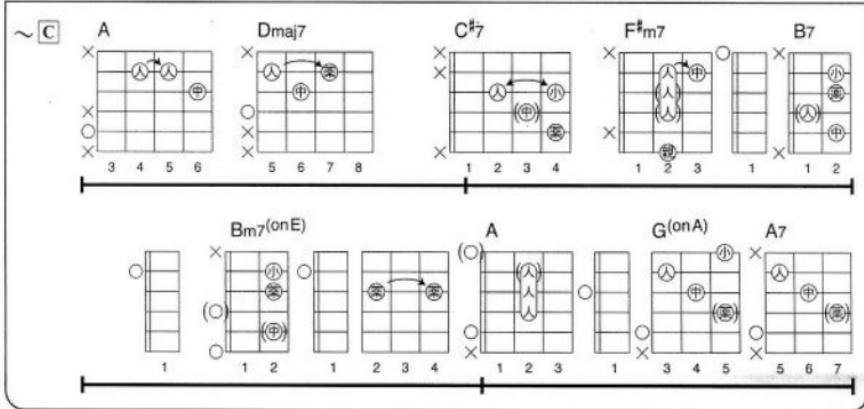
**C**

A	Dmaj7	E	A	E(onG#)
5 6 7 8	5 6 7 8	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3 4

---

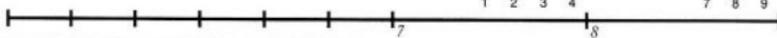
F#m7	Bm7	E7sus4	E7
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

---



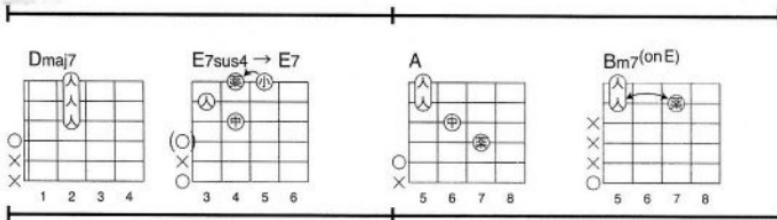
C2

same as C except notice

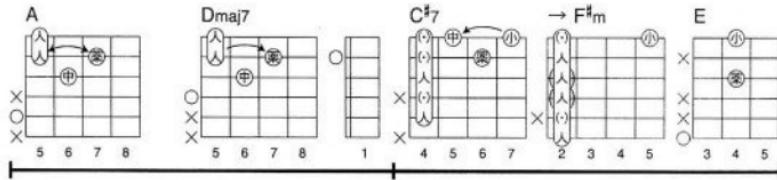
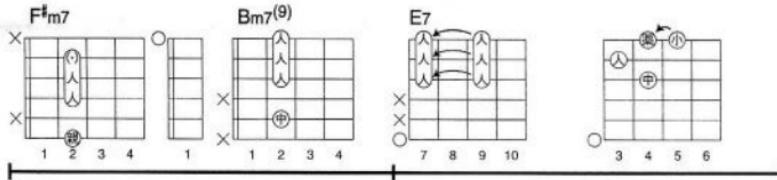
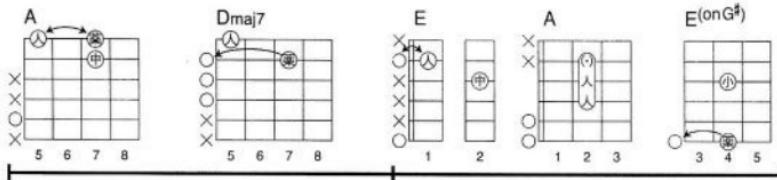


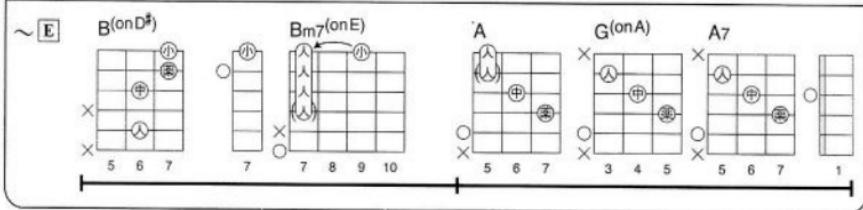
Inter

1~2 bar : same as Intro



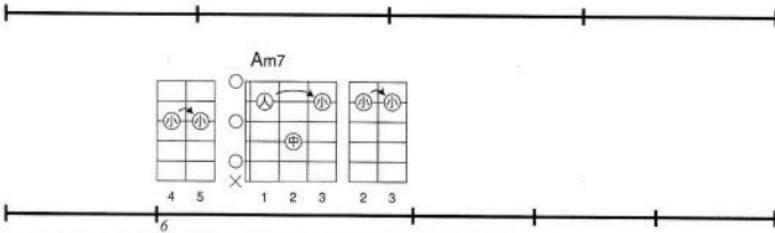
E



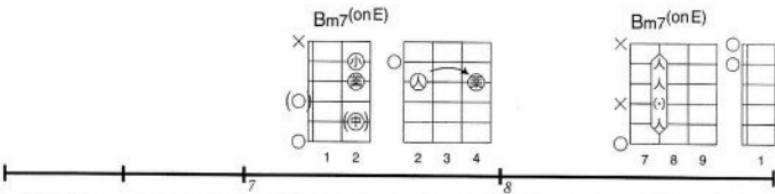
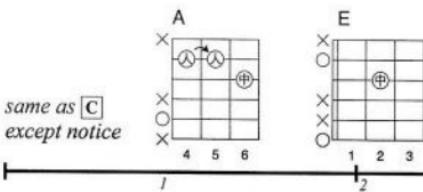


[D2]

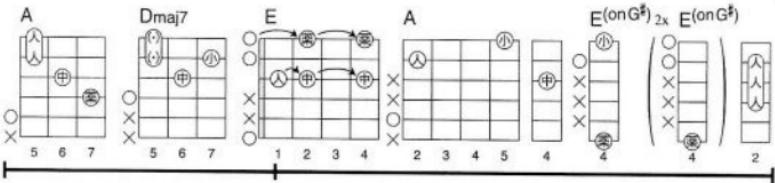
same as [D] except notice



[C3]



[F]



～ **F**

**F<sup>#</sup>m7** → **B7** → **Bm7(on E)** → **E7**

**I. A**

**Dmaj7** → **C<sup>#</sup>7** → **F<sup>#</sup>m7** → **B7(9)**

**Bm7(on E)** → **A**

**Bm7(on E)**

**Ending**

*1~2 bar : same as Intro*

# FIRST LOVE

music by 宇多田ヒカル

©1999 by NICHON, INC. / JOHNNY COMPANY, INC. / Sony Music Publishing (Japan) Inc. / U3 Music INC.



Tuning = C G D G B D  
 ↓ ↓      ↓

Intro G

D(onF#)

Em

G(onD)

C

C(onD)

G

C(onG) G

A

G

D

Em

G(onD)

Sheet music for acoustic guitar showing various chords and strumming patterns. The chords include G, D(onF#), Em, G(onD), C, C(onD), G, C(onG), G, A, G, D, Em, and G(onD). The music includes fingerings like (1), (2), (3), (4), (5), (6), (7), (8), and (9). Strumming patterns involve downstrokes (d), upstrokes (u), and combinations like d/u, u/d, and h (hammer-on).

C C(onD) G C(onG) G

B Em D C D

Em Bm7 Cmaj7 D

C G G(onD) C

G(onD) C D

D G D(onF#) Em

G(onD) C C(onD)

G C(onG) G Inter Daddi Daddi(onC) gliss. G(onB) C G(onB)

Am(11) C(onD) gliss. A2 G D

Em G(onD) Cmaj7 D(13)

G C(onG) G Gmaj7(onF#)

T.Harm.12 T.Harm.12 T.Harm.12 Em

R.H.T. R.H.T. R.H.T.

D(11) C D(11) Em

vib. vib. vib. vib.

Bm(13) Cmaj7

vib. vib.

G D(onF#) Em

vib. vib. vib.

G(onD) C D

vib. vib. vib.

**62** G D(onF<sup>b</sup>) Em

G(onD) C C(onD)

E Cmaj7 Gadd9(onB) Am7(11) T.Harm.12

T.Harm.12 T.Harm.12 T.Harm.12 T.Harm.12

Am7(11)(onD) T.Harm.12 G

R.H.T. T.Harm.12 R.H.T.

D(onF<sup>b</sup>) Em G(onD)

Musical score for orchestra and piano, page 10, measures 10-11. The score includes parts for Violin (vih.), Double Bass (D.B.), and Piano. The piano part features a bass line with eighth-note patterns and harmonic notes. The violin part has sustained notes with grace marks. Measure 10 ends with a forte dynamic. Measure 11 begins with a piano dynamic.

A musical score for guitar featuring three staves. The top staff shows a D major chord (D, F#, A) with a bass note on the 11th fret of the B string. The middle staff shows an E minor chord (E, G, B) with a bass note on the 10th fret of the B string. The bottom staff shows a D minor 7th chord (D, F#, A, C) with a bass note on the 10th fret of the B string. The score includes various performance markings such as hammer-ons, pull-offs, and grace notes.

Musical score for orchestra and piano, page 10, measures 11-12. The score includes parts for Flute, Clarinet, Bassoon, Trombone, Vibraphone, and Piano. The piano part features a bass line with specific fingerings (e.g., 1, 2, 3, 4) and dynamic markings like forte (f), piano (p), and sforzando (sf). The vocal line continues with melodic patterns and dynamic changes.

The image shows a section of sheet music for guitar. It consists of four measures. The first measure starts with a 'G' chord. The second measure starts with a 'D(on F#)' chord. The third measure starts with an 'Em' chord. The fourth measure starts with a 'G(on D)' chord. Each measure includes a staff for the guitar strings and a staff for the bass. Fingerings are indicated above the strings: measure 1 has '1 2 3 2 1 0' over a '0'; measure 2 has '0' over a '0'; measure 3 has '1 2 3 2 1 0' over a '0'; and measure 4 has '0' over a '0'. The bass staff also has fingerings: measure 1 has '1 0 0 0 0 0' over a '0'; measure 2 has '0' over a '0'; measure 3 has '1 0 0 0 0 0' over a '0'; and measure 4 has '0' over a '0'.

The image shows a musical score for a six-string guitar. It consists of five staves, each representing a different chord: C, C(on D), G, C(on G), and Gadd9. The first staff (C) starts with a 0, 2, 0, 0, 0, 0 pattern. The second staff (C(on D)) starts with a 0, 2, 0, 0, 0, 0 pattern. The third staff (G) starts with a 0, 2, 0, 0, 0, 0 pattern. The fourth staff (C(on G)) starts with a 0, 2, 0, 0, 0, 0 pattern. The fifth staff (Gadd9) starts with a 0, 2, 0, 0, 0, 0 pattern. The notes are indicated by vertical stems and horizontal dashes, and the strumming direction is shown with arrows.

# FIRST LOVE

Guitar ● Martin D-28(1964)

Tuning ● C↓ G↓ D G B D↓

①6弦を2音下げる 〈5弦3フレットを基準にオクターブ下〉

②5弦を1音下げる 〈3弦開放を基準にオクターブ下〉

③1弦を1音下げる 〈4弦開放を基準にオクターブ上〉

宇多田ヒカルさんが1999年にリリースした、同名のファースト・アルバムからのシングル・カットで、アルバム、シングルとともに大ヒットを記録しています。

## 概要&テクニック解説

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り（十分長く）弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。同時に隣の弦をピッキングする場合をのぞき、アポヤンド奏法（弾いた後で隣の弦に指が寄りかかる奏法）でピッキングするなど、意識して伴奏より強めに弾きましょう。

## 演奏のポイント

**A** 1小節目は、6弦2フレット・D音を親指で押されたまま（シェイク・ハンド・グリップ）、メロディを弾いていきます。親指は、4拍目で離します。

**B** 5小節目の3拍目オモテと3拍目ウラは、メロディが同じG音ですが、ポジションが移動しますので注意しましょう。

**C** 1小節目は、1～3弦7フレットを部分セーハした人差指を軸にして弾いていきます。また、休符の部分は、右手の指（人差指、中指など）を弦に乗せて、音を短く止めています。

2小節目は、押弦した2弦のメロディに、1弦開放・D音の伴奏を加えています。

4小節目は、人差指と薬指の部分セーハで弾いていきます。人差指の10フレット・セーハは1～3弦、薬指の12フ

レット・セーハは弾く弦に合わせて1～3弦か1～2弦を押さえます。

6小節目は、人差指で1～3弦5フレットを部分セーハしたまま、7フレットまでグリス・アップします。4拍目は、2～3弦7フレットをピッキングした後、2弦と（3弦ではなく）4弦をハンマリングします。

**D** 1～5小節目は、ほぼ**C** 1～5小節目と同じです。

6小節目の4拍目ウラは、小指で1弦を押されたまま5フレット・G音から7フレット・A音にスライドし、3弦は4フレット・B音を押された中指と入れ替わるようにして、5フレット・C音を人差指で押さえます。楽譜上ではハンマリングとしてありますが、小指の動き（すなわち左手全体の動き）に合わせて、人差指は4フレット方向からスライド気味に5フレットへ入ってくる感じです。

**E** **Int** 4小節目の2拍目は、1弦9フレット・B音を押された小指をグリス・ダウンし、ウラ拍で人差指による1～3弦部分セーハにバトン・タッチします。

**A2** は、基本的には**A**と同じですが、4小節目以降は若干フレーズが変わります。また**A2**は、2拍目と4拍目にネイル・アタック（音符の上に×印）でアクセントが付けられています。ネイル・アタックは、音符を記してある部分はその音を狙い、前の音符が伸びている場合（1小節目の2拍目など）は左手のフォームを変えずに（直前に弾いていたコードのまま）行います。

2小節目の2拍目にあるネイル・アタックは、4弦を押えていた薬指のみ離して行います。6弦を押えた親指は、離さずにベース音を伸ばしておきます。

6小節目の2拍目は、ネイル・アタックの代わりにストリング・ヒット（音符の符頭が×印）が用いられており、弦に右手人差指と中指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるようにして弦をピッキングしています。

7小節目の3拍目ウラにあるライト・ハンド・タッピング（R.H.T.）は、4拍目のタッピング・ハーモニクスにそなえて12フレットに移動中の右手で、ピッキングの代わりに5弦を軽く叩いて音を出します。続く4拍目と次の8小節目アタ

私は、右手で12フレットをタッピングしてハーモニクスを出します。この時6弦は、親指でネックを握りこんで消音しておきます。

**B2**は、ほぼ**I**と同じです。2小節目のコード・ネームがDではなくD<sub>6</sub><sup>(11)</sup>になっていますが、これは伴奏として2～3弦開放を弾いている違いだけで、フォームは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。4小節目のD<sub>11</sub><sup>(11)</sup>(**I**ではD)、6小節目のBm<sup>(+13)</sup>(**I**ではBm7)も同様です。

8小節目の後半は**I**と異なり、メロディが入ります。

**C2**は、ほぼ**C**と同じです。4小節目のコード・ネームがG(onD)ではなくG7(onD)になっていますが、これは伴奏として3弦10フレット・F音を弾いている違いだけで、左手のフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。

ここに次の**D2**、そして**C3**と**D3**のみ、2本目のギター(スタンダード・チューニング、カポ無し)によるコードが重ねられています(P.85参照)。

**D2**は、ほぼ**I**(1～6小節目)と同じです。

そのため、2本のギターによる

**E**2小節目の4拍目は、次のコードにフォーム・チェンジするための“息つき”的な開放弦です(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。

3小節目の4拍目で、2弦1フレット・C音を押さえている人差指だけを残し、中指と薬指を一旦離します(そのため、4拍目オモテでは4弦が開放になっています)。そして次のウラ拍で、4～6弦2フレットを中指で部分セーハします。

**C3**は、ほぼ**C**と同じです。4小節目のコード・ネーム(G7(onD))の違いは、**C2**同様ダイアグラム譜では省略してあります。

**D3**は、基本的には**I**と同じですが、メロディが異なる部分が多くなっています(2小節目と、5小節目以降)。

4小節目は、メロディのライン自体は**I**と同じですが、わざとハモらせずに弾いています。

**Ending**は、基本的には**Intro**と同じですが、特に後半が多少異なります。



**(5)**

The first five measures of the guitar tablature are shown. Measure 1: Intro (G chord). Measure 2: D(on F#) chord. Measure 3: Em chord. Measure 4: G(on D) chord. Measure 5: G(on D) chord. Measures 6-10: C chord. Measures 11-15: C(on D) chord. Measures 16-20: G chord. Measures 21-25: C(on G) chord. Measures 26-30: G chord.

**A**

The first ten measures of the guitar tablature are shown. Measure 1: G chord. Measure 2: G chord. Measure 3: D chord. Measure 4: D chord. Measure 5: Em chord. Measure 6: G(on D) chord. Measure 7: C chord. Measure 8: C(on D) chord. Measure 9: C chord. Measure 10: C chord.

**B**

**C**

**D**

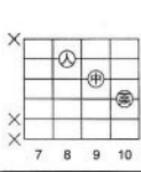
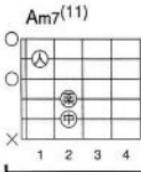
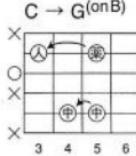
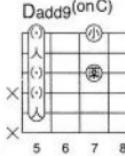
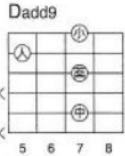
1~5 bar : same as **C** 1~5 bar except notice

~ [D]

Diagram D consists of several Go board diagrams illustrating different board states and moves:

- C(on D)**: A board from column 7 to 12. It shows a sequence of moves: 7-8-9 (X), 9-10-11 (O), 11-12 (X). Arrows indicate a sequence of play from 7 to 12.
- G**: A board from column 4 to 7. It shows a sequence of moves: 4-5-6 (X), 6-7 (O). Arrows indicate a sequence of play from 4 to 7.
- C(on G) → G**: A board from column 4 to 7. It shows a sequence of moves: 4-5-6 (X), 6-7 (O). Arrows indicate a sequence of play from 4 to 7, followed by a transition to board G.

Inter

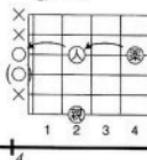


[A2]

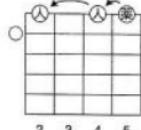
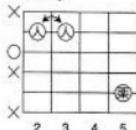
same as [A] except notice

~A2

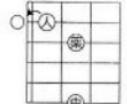
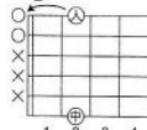
G(on D)



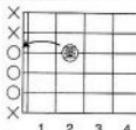
Cmaj7



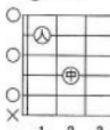
D(13)



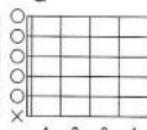
G



C(on G)

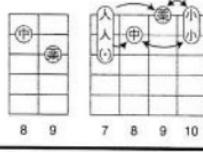


G



B2

same as [B] except notice



8 9 7 8 9 10

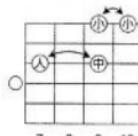
C2

same as [C]



D2

same as [D] 1~6 bar except notice



7 8 9 10

**E** Cmaj7      Gadd9(onB)      Am7(11)      → Am7(11)(onD)

Diagram showing four fretboard diagrams for chords E, Gadd9(onB), Am7(11), and Am7(11)(onD). The diagrams are arranged horizontally with a timeline below them.

- E:** Fretboard diagram for E major 7th chord. Frets 5, 6, and 7 are marked with X's. Fingerings: 1 at 5, 2 at 6, 3 at 7.
- Gadd9(onB):** Fretboard diagram for G add 9th chord on B string. Frets 3, 4, and 5 are marked with X's. Fingerings: 1 at 3, 2 at 4, 3 at 5.
- Am7(11):** Fretboard diagram for Am7(11) chord. Frets 2, 3, 4, and 5 are marked with X's. Fingerings: 1 at 2, 2 at 3, 3 at 4.
- Am7(11)(onD):** Fretboard diagram for Am7(11) chord on D string. Frets 1, 2, 3, and 4 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2, 3 at 3.

**C3**

same as **C** except notice

**C**

Fretboard diagram for C major chord. Frets 8, 9, and 10 are marked with X's. Fingerings: 1 at 8, 2 at 9, 3 at 10.

**D3**

I~3 bar : same as  
**D** I~3 bar  
except notice

**D(11)(onF#)**

Fretboard diagram for D(11) chord on F# string. Frets 10, 11, 12, 13, and 14 are marked with X's. Fingerings: 1 at 10, 2 at 11, 3 at 12, 4 at 13, 5 at 14.

**Dm7**

Fretboard diagram for D minor 7th chord. Frets 10, 11, and 12 are marked with X's. Fingerings: 1 at 10, 2 at 11, 3 at 12.

**G7(9)**

Fretboard diagram for G dominant 7th chord. Frets 10, 11, and 12 are marked with X's. Fingerings: 1 at 10, 2 at 11, 3 at 12.

**C**

Fretboard diagram for C major chord. Frets 8, 9, 10, and 11 are marked with X's. Fingerings: 1 at 8, 2 at 9, 3 at 10, 4 at 11.

**C(onD)**

Fretboard diagram for C major chord on D string. Frets 5, 6, 7, and 8 are marked with X's. Fingerings: 1 at 5, 2 at 6, 3 at 7.

**G**

Fretboard diagram for G major chord. Frets 10, 11, 12, and 13 are marked with X's. Fingerings: 1 at 10, 2 at 11, 3 at 12, 4 at 13.

Fretboard diagram for G major chord. Frets 7 and 8 are marked with X's. Fingerings: 1 at 7, 2 at 8.

**Ending**

I~2 bar : same as  
**Intro** I~2 bar

**Em**

Fretboard diagram for E minor chord. Frets 7, 8, 9, and 10 are marked with X's. Fingerings: 1 at 7, 2 at 8, 3 at 9.

**G(onD)**

Fretboard diagram for G major chord on D string. Frets 8, 9, 10, and 11 are marked with X's. Fingerings: 1 at 8, 2 at 9, 3 at 10.

**C**

Fretboard diagram for C major chord. Frets 1, 2, 3, and 4 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2, 3 at 3.

**D(onC)**

Fretboard diagram for D major chord on C string. Frets 1, 2, 3, and 4 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2, 3 at 3.

**G**

Fretboard diagram for G major chord. Frets 1 and 2 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2.

**C(onG)**

Fretboard diagram for C major chord on G string. Frets 1, 2, 3, and 4 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2, 3 at 3.

**Gadd9**

Fretboard diagram for G add 9th chord. Frets 1, 2, 3, and 4 are marked with X's. Fingerings: 1 at 1, 2 at 2, 3 at 3.

## GUITAR 2 Tuning : Standard

C2～D2～E C3～D3

2本目のギターは、メイン・ギターとは違ってスタンダード・チューニング(カポ無し)です。大部分で2～4弦+ベース音をピッキングし(6小節目のみ2～3弦+ベース音で、3声になっています)、4拍目で音を切ってフォーム・チェンジしています。

[C2]、[D2]、[C3]と、[D3]の1～6小節目は、ほぼ同じフ

レーズを弾いています。[D3]の4小節目のみ、メイン・ギターのキメに合わせてコードとリズムが変化しています。

[D2]6小節目の次([E]1小節目)はCadd9、[D3]6小節目の次([D3]7小節目)はGadd9を、曲の進行に合わせて弾いています。

### Tuning = Standard

Guitar 2  
 [C2, D2, C3, D3] Gadd9      D(on F#)      Em7      G(on D)      Dm7 G7      Cadd9      C(on D)      Cadd9      Gadd9

# CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU

~君の瞳に恋してる~

music by Bob Crewe / Bob Gaudio

© 1967/1991 by EMI LONGITUDE MUSIC

The rights for Japan assigned to FUJI PACIFIC MUSIC INC.

© SEASIDE FOUR MUSIC CORP

Permission granted by EMI Music Publishing Japan Ltd.

Authorized for sale only in Japan 1963 EMI LONGITUDE MUSIC / Seasons Four Music Corp.



Tuning = Standard

Sheet music for 'CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU' featuring three staves: Bassoon (top), Trombone (middle), and Bass (bottom). The music is divided into sections: Intro, B7(onA), Bm7(onA), Add9, Harm.7 (8va), Harm.7, T.Harm.12, and A. The bassoon part includes dynamic markings like 'f' (fortissimo) and 'p' (pianissimo). The bassoon and trombone parts feature various rhythmic patterns and articulations like 'x' (crossed-out note), 'z' (staccato), and 'tremolo'. The bass part provides harmonic support with sustained notes and bassline patterns.

B7(on A)      Bm7(on A)      A

A      Ama7

A7      D

Bm7(9/8)      A

B7(on A)      Bm7(on A)      A

**A2**

**A7**

**D**

**Bm7(15)**

**A**

**B7(onA)**

**Bm7(onE)**

**A**

**B**

Bm7 2x only (x)

Bm7(onE) 2x only

Amaj7(13) 1x only

2x

Bm7      x      x      Bm7(onE) 2x only (x)      A6      x      F#7(9)

F#7(9)      F#7(9)      C Bm7      Bm7(onE)      C#m7

Ras.      Ras.

thumb

F#m7      Bm7      Bm7(onE)      A6

A6      F#7(9)      C Bm7      Bm7(onE)      C#m7

Ras.      Ras.

F#m7      Bm7      G7      T.Harm.12

T.Harm.12

G7  
T.Harm.12 ↓  
gliss.

C  
thumb .

Cmaj7  
h-  
thumb

Cmaj7  
x

C7  
thumb

F  
x  
thumb

F  
x  
thumb

F#m6  
x  
thumb

C  
x

C  
D7(on C)

Dm7(on C)

C

Coda F#7(9)  
↑ ↑ ↑ ↑

F#7(9)  
↑ ↑ ↑ ↑  
Ras.  
Ras.

**F** Bm7  
gliss.  
thumb  
Ras.

E7sus4  
T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Amaj7(9)  
T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

T.Harm.14  
R.H.T.

Ras.  
Palm R.H.T. —

T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Palm R.H.T. —

A. T.Harm.14

Ras.  
Palm R.H.T. —

T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Palm R.H.T. —

R.H.T. —

Bm7  
Harm.7 (8va)  
Ras.

E7sus4  
T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Amaj7(9)  
T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Harm.7  
Ras.

T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Amaj7(9)  
T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

T.Harm.12  
R.H.T.

A. T.Harm.14

R.H.T.

T.Harm.12  
T.Harm.12  
R.H.T.

Ras.

Bm7  
C2  
Bm7

R.H.T.

T.Harm.12  
A. T.Harm.14

R.H.T.

R.H.T.

R.H.T. —

Ras.

Bm7(onE)

C7m7

F#7(9)

Bm7

Bm7(onE)

A6

F#7(9)

D2 Bm7

Bm7(onE) C<sup>4</sup>m7 F<sup>4</sup>m7 Bm7

Bm7 G7 T.Harm.12 x  
T.Harm.12 x R.H.T. R.H.T.

Aadd9 T.Harm.12 T.Harm.12 T.Harm.19 (8vo) T.Harm.12  
Ras. T.Harm.12 T.Harm.19 T.Harm.12  
Ras. R.H.T. R.H.T. R.H.T.

**Ending**

B7(onA) Bm7(onA) Aadd9

B7(onA) Bm7(onA) rit. Amaj7(9)

## CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU

～君の瞳に恋してる～

Guitar ● GREVEN D (#1097)

Tuning ● Standard

オリジナルは、1967年にフォーランスのフランキー・ヴァリによるシングルヒットです。後の1982年に、ボーカルズ・タウン・ギャングがディスコ・アレンジでカヴァーして大ヒットしています。

## 概要&amp;テクニック解説

ネイル・アタック(音符の上に×印)とストリング・ヒット(音符の符頭が×印)でリズムを取りながら演奏していきます。まずネイル・アタックですが、基本的に前の方を伸ばしている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います(あまり低音弦ではなく、1~4弦あたりを狙うとよいでしょう)。

ストリング・ヒットは、弦に右手人差指と中指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしてコードを弾きます。基本的に、次にピッキングする弦を叩いていますが、④2小節目2拍目のように、連動したピッキングより先にベース音を弾くような場合もあります。

## 演奏のポイント

**[Intro]** 1小節目冒頭は、1~5弦を高音弦側からゆっくりストロークします。

4小節目の4拍目は、コードに使われている音とは関係ない開放弦を弾いていますが、これは次にフォーム・チェンジするための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。この曲では他にも、④8小節目4拍目ウラの3弦開放・G音などと同じ“息つき”です。もし音程に違和感を感じる場合は、直前のコードを押さえたままにするか、あるいはごく弱めに弾くようにしてみましょう。

4~5小節目、8~9小節目の、Aadd9からB7(on A)への移行ですが、最初にAadd9のフォームのまま2フレット上がり、あとから2弦7フレット・F#音の人差指を加えます。

④2小節目4拍目のストリング・ヒット時には左手を一旦離し、4拍目ウラの時点でのAmaj7のフォームを先取りする形で移行しています。

9小節目のBm7(<sup>b5</sup>)は、はじめから3弦2フレット・A音を中指で押さえておき、2拍目ウラの2弦2フレット・C#音を弾く時点での中指の指頭を3弦に残したまま一瞬だけ部分セーハする形で指を倒して、2弦を押さえておきます。難しい場合は、最初から中指で3弦2フレットを押さえず、まず2拍目ウラでは指頭で2弦2フレットを押さえ、その後で中指を移動させて3拍目ウラの3弦2フレットを押さえるようにしてもよいでしょう。

12小節目Aから13小節目B7(on A)にかけては、2~4弦2フレットの人差指による部分セーハを押さえたまま、4フレットに移動します。

④2は、④とほぼ同じです。

④でいくつか出てくる“○x only”は○回のみ弾くという意味です。また、4小節目の“2x”は2回目の繰り返し時にこちらを弾くことを表しています。いずれも、それほど厳密に考える必要はありませんので、自分が弾きやすい、あるいは雰囲気が出しやすい弾き方に統一して演奏してもよいでしょう。

1、3、5、7小節目の2拍目と4拍目(16分音符)は、押弦した左手をすぐに離して、音を短く切ります。

8小節目のストロークは、記された音符を厳密に弾くよりも、楽譜を参考にして指定されたコードを弾いていく感じでOKです(ダイアグラム譜を参照して下さい)。

④によく出てくる、6弦をルート音とした○m7(Bm7やC#m7)ですが、押尾さんは人差指による全セーハではなく、6弦を親指で押さえたり(1小節目)、中指で押さえたり(3、5小節目)しています。特に厳密なものではありませんので、すべて親指または中指に統一したり、あるいは全セーハで押さえてもよいでしょう。

①1~4小節目は、②1~4小節目とほぼ同じです。

5~8小節目のみ、メロディを強調するために、1オクターブ下でメロディを弾いているギターがオーバー・ダビングされています(P.100参照)。1人で演奏する際には、メインのギター・パートをそのまま弾けばよいでしょう。

③はCキー(ハ長調)に転調していますが、フレーズ自体は①とほぼ同じです。運指も、特に前半の6小節(C~Cmaj7~C7)は、④のフォームを平行移動させてベース音(親指)を加えた形になっています。

1小節目のCと5小節目のC7では、2拍目ウラでフォームが1フレット下がる部分がありますが、いずれもベース音だけ動きません(6弦8フレット・C音のままで)。

11小節目のCは、人差指の指頭が2弦1フレット・C音に来るよう1~2弦を部分セーハし、2拍目ウラの1弦開放・E音を弾く時点で指頭を残してセーハを起こします。

13小節目の4拍目で押弦した左手を一旦離し、4拍目ウラでDm7(on C)のフォームに押さえ直します(ダイアグラム譜を参照して下さい)。

⑤1小節目の2拍目、楽譜上側の×はボディ・ヒットで、右手中指と薬指でサウンド・ホール下側(ピック・ガードあたり)を叩いて、打音を出しています。続くブラッッシングは、左手で全弦に触れてミュートしておき、右手で軽く弦をこするようにアップ・ストロークします。3拍目オモテはバームで打音を出し、3拍目ウラ~4拍目は右手で弦を叩いて音を出します(R.H.T.:ライト・ハンド・タッピング)。3拍目ウラではまだ左手で全弦に触れているので音程のある音が鳴らず、4拍目では次のE7sus4の準備で左手を離すため、開放弦が鳴っています。この後も特にタッピング・ハーモニクスの前後で、ライト・ハンド・タッピングが多用されています。

2小節目の3拍目は、6弦をネイル・アタックすると同時に、バームで打音を出しています。

3小節目最後のF#7は、2フレットを全セーハするため、タッピング・ハーモニクスは14フレットを叩きます(全セーハではありませんが、7小節目最後のF#7<sup>(45)</sup>も同様に14フレットを叩いています)。

5小節目3拍目の楽譜上側×も、1小節目同様サウンド・ホール下側を叩いて、打音を出しています。

⑥は、⑦とほぼ同じです。

⑧1~8小節目は、⑨とほぼ同じです。

**Ending** 1~6小節目は、**Intro** 1~6小節目とほぼ同じです。

**Intro**

B7(11)(on A)      Bm7(on A)      Aadd9

B7(on A)      Bm7(on A)      Aadd9

B7(on A)      Bm7(on A)      Aadd9       $\frac{3}{4}$

B7(on A)      Bm7(on A)      Aadd9      B7(on A)

**A**

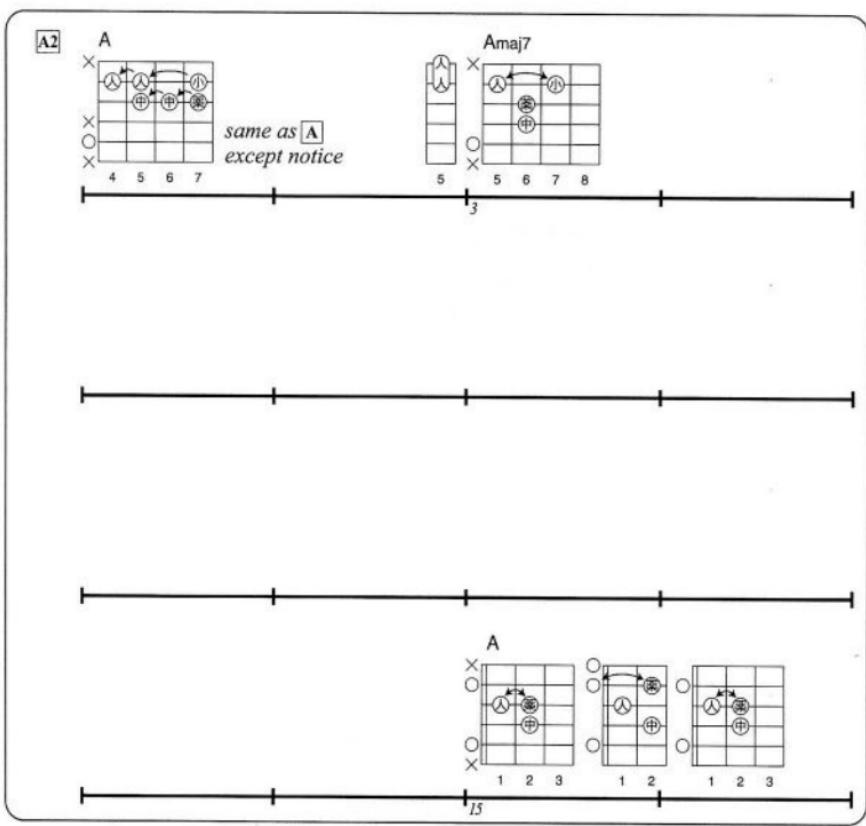
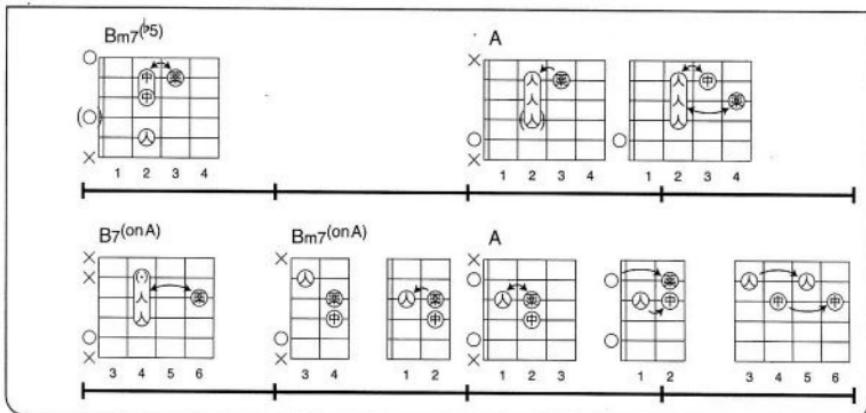
A      A      A      Amaj7

**A7**

A7      A7      A7

**D**

D      D      D      D      D



**B**

Diagram B displays fingerings for chords across a timeline from bar 5 to 11. The chords shown are Bm7, Bm7(on E), Amaj7(13), A6, F#7(#9), and F#7(9). The diagrams include fingering symbols (e.g., 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9) and small circles indicating specific notes or attacks.

5~6 bar : same as 1~2 bar

**C**

Diagram C displays fingerings for chords across a timeline from bar 7 to 12. The chords shown are Bm7, Bm7(on E), C#m7, F#7, Bm7, Bm7(on E), A6, and F#7(9). The diagrams include fingering symbols and small circles indicating specific notes or attacks.

**D**1~4 bar : same as **C** 1~4 bar

Diagram D displays fingerings for chords across a timeline from bar 3 to 7. The chords shown are Bm7, G7, and Bm7. The diagrams include fingering symbols and small circles indicating specific notes or attacks.

**E**

C

Cmaj7

C7

F

Fm6

D7(onC) → Dm7(onC)

C

**F**

Bm7

E7sus4

Amaj7(9)

F#7

Bm7

E7sus4

Amaj7(9)

F#7(b5)

F#7(9)

C2

same as C

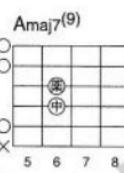
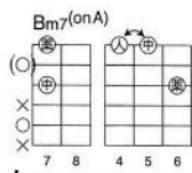
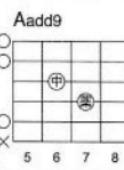
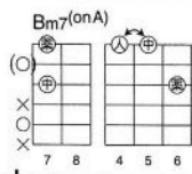
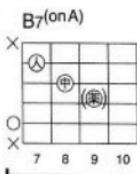


D2

I~8 bar : same as D I~8 bar



Ending



## GUITAR 2 Tuning : Standard

[D, D2]

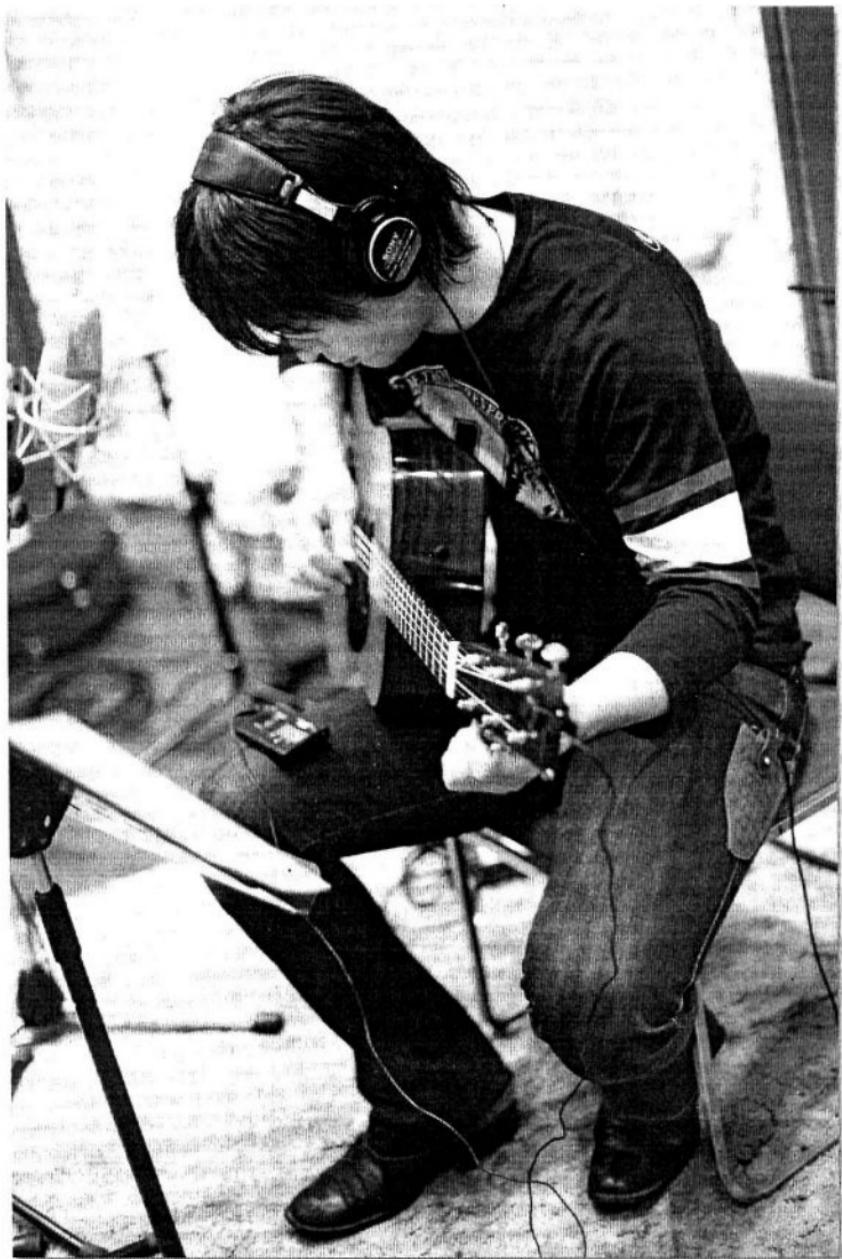
2本目のギターは、メイン・ギターと同じでスタンダード・チューニングです。[D]と[D2]の5~8小節目のみ、メイ

ン・ギターが弾いているメロディのオクターブ下を弾いています。

### Tuning = Standard

Guitar 2 [D, D2]

Bm7 G7



# SOMEDAY

music by 佐野元春

© 1981 by JAPAN CENTRAL MUSIC LTD./M's Factory Music Publishing INC.



Tuning = D♭ A♭ D♭ G♭ B♭ D♭

(Intro) D♭maj7      B♭m7      E♭m7

A♭      D♭maj7      B♭m7(11)      E♭m7

A♭      D♭

D<sup>b</sup>D<sup>b</sup>

Fm7

G<sup>b</sup>

Sheet music for guitar. The first two measures show a bass line with 'x' marks. The third measure shows a bass line with 'x' marks. The fourth measure shows a bass line with 'x' marks.

F7sus4

F7

G<sup>b</sup>

Fm7

thumb

Sheet music for guitar. The first two measures show a bass line with 'x' marks. The third measure shows a bass line with 'x' marks. The fourth measure shows a bass line with 'x' marks.

Bm7

B<sup>b</sup>mA<sup>b</sup>

Sheet music for guitar. The first two measures show a bass line with 'x' marks. The third measure shows a bass line with 'x' marks. The fourth measure shows a bass line with 'x' marks.

G(on A<sup>b</sup>)D<sup>b</sup>A<sup>b</sup>G<sup>b</sup>

Sheet music for guitar. The first two measures show a bass line with 'x' marks. The third measure shows a bass line with 'x' marks. The fourth measure shows a bass line with 'x' marks.

G(on A<sup>b</sup>)D<sup>b</sup>A<sup>b</sup>G<sup>b</sup>

Sheet music for guitar. The first two measures show a bass line with 'x' marks. The third measure shows a bass line with 'x' marks. The fourth measure shows a bass line with 'x' marks.

B SOMEDAY

A<sup>b</sup>

**C** G<sup>b</sup>maj7

Fm7(913)

B<sup>b</sup>m

**E**<sup>b</sup>m7

vib.

**thumb**

A<sup>b</sup>7(9)

**D**<sup>b</sup>

**B**<sup>b</sup>m7

**E**<sup>b</sup>m7

A<sup>b</sup>7

Ras.

A<sup>b</sup>7

**D**<sup>b</sup>

**B**<sup>b</sup>m7

**E**<sup>b</sup>m7

A<sup>b</sup>7

A<sup>b</sup>7

**D**<sup>b</sup>

L.H.

L.H.

D<sup>b</sup>

A2

D<sup>b(11)</sup>

Fm7

G<sup>b</sup>G<sup>b</sup>

A2

D<sup>b(11)</sup>

Fm7

G<sup>b</sup>

F7sus4

F7

G<sup>b</sup>

Fm7

B<sup>b</sup>m7E<sup>b</sup>m7A<sup>b</sup>sus4(9)G<sup>b</sup>(on A<sup>b</sup>)

B2

D<sup>b</sup>A<sup>b</sup>G<sup>b</sup>

Fm7

G<sup>b</sup>G<sup>b</sup>(on A<sup>b</sup>)D<sup>b</sup>A<sup>b</sup>G<sup>b</sup>

Fm

G<sup>b</sup>

A<sup>b</sup>

**C2** G<sup>b</sup>maj7

F#m7(13)

B<sup>b</sup>7

B<sup>b</sup>m

E<sup>b</sup>m7 vib.

B<sup>b</sup>m7 vib.

H

A<sup>b</sup>7(9)

D<sup>b</sup>

B<sup>b</sup>m7

E<sup>b</sup>m7

Ras.

A<sup>b</sup>7

D<sup>b</sup>

B<sup>b</sup>m7 gloss.

E<sup>b</sup>m7

A<sup>b</sup>7

A<sup>b</sup>7

D<sup>b</sup>

E<sup>b</sup>m7(on A<sup>b</sup>)

T.Harm.12

R.H.T.

Ras.

R.H.T.

T.Harm.12

**Solo**

D<sup>b</sup>      Fm7      G<sup>b</sup>      F7sus4      F7      G<sup>b</sup>

G<sup>b</sup>

A<sup>b</sup>sus4(9)      A<sup>b</sup>add9      A<sup>b</sup>sus4(9)

Ras.

A<sup>b</sup>sus4(9)      A<sup>b</sup>add9(11)      A<sup>b</sup>sus4(9)      A<sup>b</sup>add9(11)      G<sup>b</sup>(on A<sup>b</sup>)

B3

D<sup>b</sup>      A<sup>b</sup>      G<sup>b</sup>      Fm7      G<sup>b</sup>      G<sup>b</sup>(on A<sup>b</sup>)

D<sup>b</sup>      A<sup>b</sup>      G<sup>b</sup>      Fm7      G<sup>b</sup>      A<sup>b</sup>

C3 G<sup>b</sup>maj7 Fm7 B<sup>b</sup>m7

E<sup>b</sup>m7 A<sup>b</sup>7(9) Ras.

D3 B<sup>b</sup>m7 E<sup>b</sup>m7 A<sup>b</sup>7 Ras.

D<sup>b</sup> B<sup>b</sup>m7 E<sup>b</sup>m7 A<sup>b</sup>7 gliss. x gliss. x

Ending G<sup>b</sup>maj7 D<sup>b</sup> Ras. Ras.

# SOMEDAY

Guitar ● Gibson CF-100

Tuning ● D<sup>b</sup> ↓ A<sup>b</sup> ↓ D<sup>b</sup> ↓ G<sup>b</sup> ↓ B<sup>b</sup> ↓ D<sup>b</sup> ↓

- ①6弦を1音半下げる 〈5弦2フレットを基準にオクターブ下〉
- ②5弦を半音下げる 〈6弦2フレットとユニゾン〉
- ③4弦を半音下げる 〈6弦開放を基準にオクターブ上〉
- ④3弦を半音下げる 〈4弦2フレットとユニゾン〉
- ⑤2弦を半音下げる 〈3弦4フレットとユニゾン〉
- ⑥1弦を1音半下げる 〈4弦開放を基準にオクターブ上〉

佐野元春さんが1981年にリリースしたシングルです。翌年の1982年には、タイトル曲として同名のアルバムに収録されています。

## 概要 & テクニック解説

チューニングは、D A D G B D (ダブル・ドロップDチューニング) の全弦を半音下げたもので、曲のキーはD<sup>b</sup> (変ニ長調)になります。佐野さんのオリジナルはCキー (ハ長調)なのですが、押尾さんによるとDキー (二長調/D A D G B D) では高い気がしたので、チューニングを半音下げるとのこと。

ネイル・アタック (音符の上に×印) やストリング・ヒット (音符の符頭が×印) でリズムを取りながら、演奏していきます。まずネイル・アタックですが、基本的には、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに (直前に弾いていたコードのまま) 行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います (あまり低音弦ではなく、1~4弦あたりを狙うよといでしよう)。また、ネイル・アタックそのものの音が鳴ららず、動作の際に支えとなる小指がボディに当たった音だけが出ている場合もあります。

ストリング・ヒットは、弦に右手の指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしてコードを弾きます (基本的に、次にピッキングする弦を叩いています)。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本來は「音を長さ通り (十分長く) 弾く」という意味ですが、本

書ではメロディを示すのに使用しています。しっかり意識して弾きましょう。

## 演奏のポイント

**[Intro]** 1小節目から2小節目、D<sup>b</sup>maj7からB<sup>b</sup>m7への移行は、1小節目の最後で押さえられる2弦3フレット・D<sup>b</sup>音 (中指) を支えにして人差指の1~3弦セーハを一旦外し、2小節目の最初で1~5弦をセーハで押さえ直します。2小節目 (B<sup>b</sup>m7) から3小節目 (E<sup>b</sup>m7) への移行なども同様に、セーハ以外の指を支えにして一旦セーハを外し、押さえ直しています。

3小節目の1~2弦5フレットは、小指で部分セーハしています。

4小節目のA<sup>b</sup>は、最初は2~4弦2フレットを人差指で部分セーハし、4拍目の1弦2フレット・E<sup>b</sup>音を弾く時点で、セーハを押さえ直すのではなく倒すことで1~4弦を部分セーハしています。ただ、1弦開放・D<sup>b</sup>音は使っていないので、最初から1~4弦を部分セーハしておいてもよいでしょう。

10小節目後半のベース音は、まず5弦開放・A<sup>b</sup>音を狙ってネイル・アタックし、次に左手で6弦7フレット・A<sup>b</sup>音をレフト・ハンド (動作自体はハンマリングと同じです)、最後に再度5弦開放・A<sup>b</sup>音を狙ってネイル・アタックしています。

12小節目の4拍目、3弦4フレット・B<sup>b</sup>音は、次のウラ拍 (4弦4フレット・F音) を見越して、薬指の指頭は4弦4フレットに置き、指を一瞬倒して部分セーハする事で押さえます。

**[A]** 5~6小節目のG<sup>b</sup>は、最初は薬指で6弦5フレット・G<sup>b</sup>音を押さえますが、5小節目の4拍目で一旦離し、6小節目は親指で押さえ直します。

7小節目のFm7は、**[Intro]** 4小節目のA<sup>b</sup>と同様、最初は2~4弦を部分セーハし、あとから指を倒して1~4弦を部分セーハに切り替えています。こちらも、初めから1~4弦を部分セーハしておいてもよいでしょう。

7小節目の最後は、コードに使われている音とは関係ない

2～3弦開放を弾いていますが、これは次にフォーム・チェンジするための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。

■最後から□にかけては、1弦から低音弦に向かって、少しゆっくりと軽くアップ・ストロークして弾いています。ストロークのスタートが4拍目ウラで、着地点が次の□1小節目アタマになります。

□1小節目は、1拍目では2～4弦7フレットを人差指で部分セーハし、次の2拍目ではロー・ポジションに移動して、1～3弦2フレットを人差指で部分セーハします。続くB♭m7では再びハイ・ポジションに移動します(5小節目も同様です)。

■2は、ほぼ■1と同じです。9小節目のメロディが異なるのと、10～11小節目のコードが若干違っています。

1小節目のコード・ネームが、□1ではD♭だったものがD♭<sup>(1)</sup>になっていますが、これは伴奏として3弦開放・G♭音が鳴っている違いだけで、左手のフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。8～9小節目のE♭m7(□1ではE♭m)も同様で、違いは伴奏として4弦開放・D♭音を弾いているかどうかだけです。

■2は、ほぼ■1と同じです。4～5小節目のメロディが異なるのと、7小節目の伴奏のパターンが若干違っています。

6小節目のコード・ネームが、□1ではFm7だったものがFmになっていますが、これは伴奏として4弦2フレット・E♭音が鳴っていないという違いだけで、左手のフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。

□2は、ほぼ□1と同じです。

■21～8小節目は、ほぼ□1～8小節目と同じです。

9小節目は、D♭をラスゲアードで弾いた後、ギターのボディを叩いて打音を出しています。2拍目ウラと3拍目、そして10小節目の1拍目は、バーム(+)です。4拍目の×は、右手の指頭でサウンドホールの下側(ピックガードあたり)を叩いています。

10小節目の1拍目ウラのライト・ハンド・タッピング(R.H.T.)は、2拍目のタッピング・ハーモニクスにそなえて12フレットに移動中の右手で、ストロークの代わりに低音弦を軽く叩いて音を出しています。続く2拍目から、4拍目のオモテまでは、右手で12フレットをタッピングしてハーモニクスを出します。

**Solo**(直前のウラ拍を含む)のみ、別のギターによるソロ・フレーズが重ねられています(P.117参照)。

1～6小節目は、□1のコード進行と同じです。7～9小節目は、A♭sus4↔A♭の繰り返しを基本にしています(1弦と2弦の開放が鳴るため、コード・ネームにadd9や<sup>(9)</sup>、<sup>(10)</sup>が付きます)。

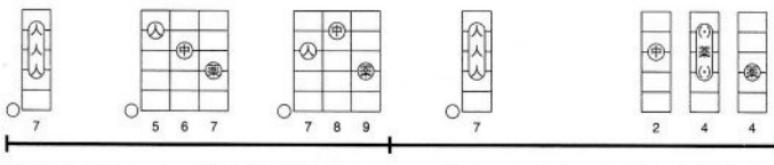
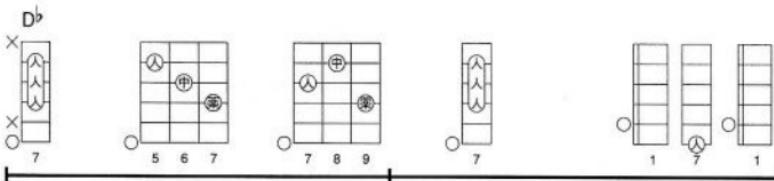
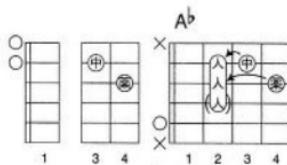
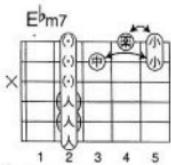
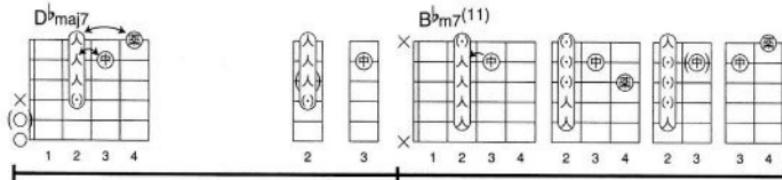
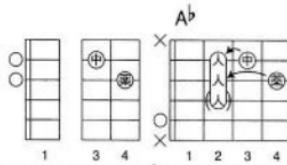
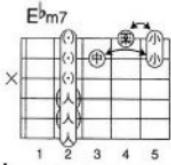
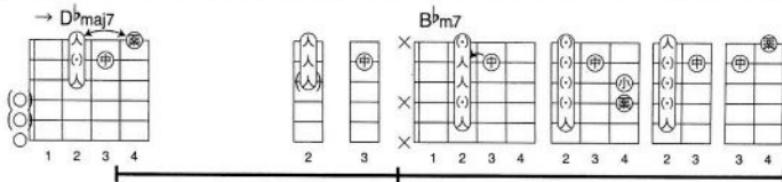
■3は、ほぼ■2と同じです。7小節目の伴奏のパターンが、若干違っています(■2とほぼ同じです)。

□3は、ほぼ□2と同じです。2小節目のコード・ネームが、□2ではFm7<sup>(13)</sup>だったものがFm7になっていますが、これは伴奏として1弦開放・D♭音が鳴っていないという違いだけで、左手のフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では省略してあります)。4小節目のB♭m7(□2ではB♭m)も同様で、違いは伴奏として3弦開放・A♭音を弾いているかどうかだけです。

■3は、ほぼ□1～8小節目と同じです。3～4小節目に7～8小節目と同じ、薬指の部分セーハによるスライドが入っています。

**Ending** 1～2小節目の、ベース音(6弦)のストリング・ヒット(音符の符頭が×印)は、右手親指で行います。

## Intro



**A**

D♭

→ Fm7

G

→ G♭

F7sus4 F7

B♭m7

E♭m

Fm7

B♭m7

E♭m

G♭(on A♭)

**B**

D♭	A♭	G♭	Fm7

---

G♭	G♭(on A♭)

---

D♭	A♭	G♭	Fm7

---

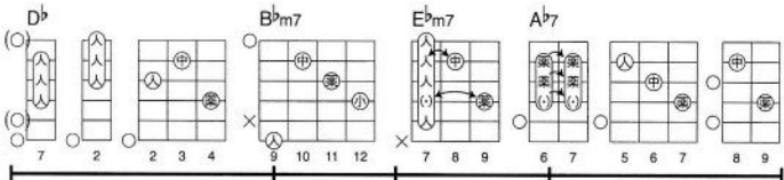
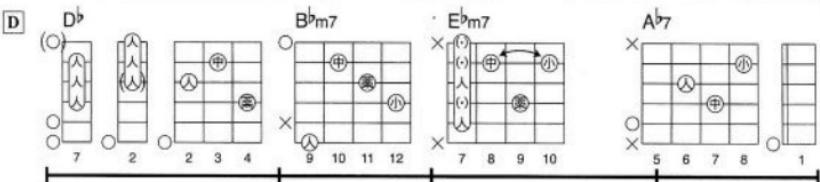
G♭	A♭

**C**

G♭maj7	Fm7 <b>13</b>	→ B♭ <sub>m</sub>

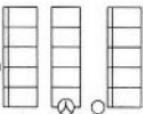
---

E♭m7	A♭ <sub>7</sub> (9)



9~12 bar :

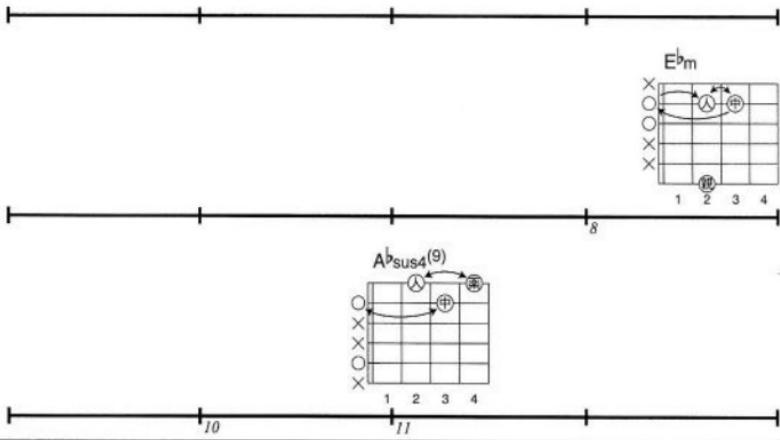
same as [Intro] 9~12 bar  
except notice



10

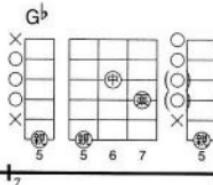
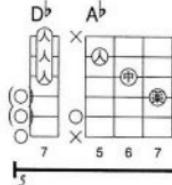
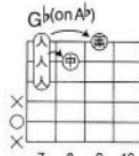
**A2**

same as [A] except notice



**B2**

same as **B** except notice



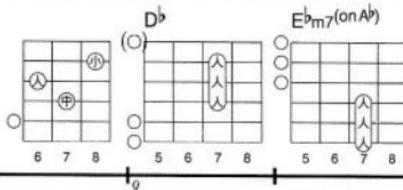
**C2**

same as **C** except notice

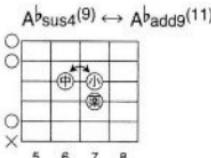
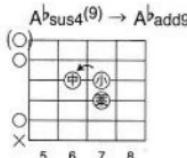
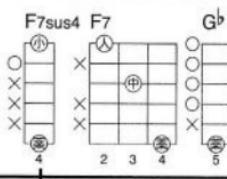
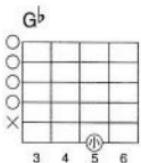
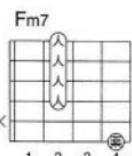
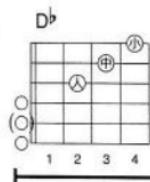


**D2**

I~8 bar :  
same as **D** I~8 bar  
except notice

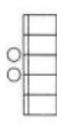


**Solo**



~Solo

G $\flat$ (on A $\flat$ )

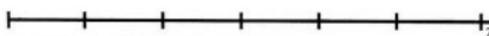


B3

G $\flat$

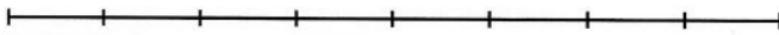


same as [B] except notice



C3

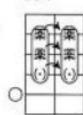
same as [C]



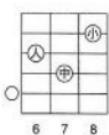
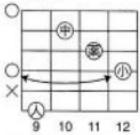
D3

A $\flat$ 7

I~8 bar :  
same as [D] I~8 bar  
except notice

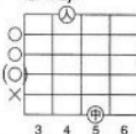


B $\flat$ m7

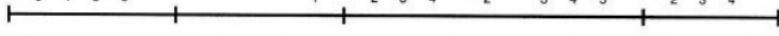
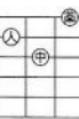
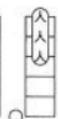
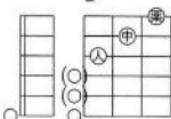


Ending

G $\flat$ maj7



D $\flat$



## GUITAR 2 Tuning: D♭ A♭ D♭ G♭ B♭ E♭

Solo

2本目のギターは、メイン・ギターから1弦のみ全音上げたチューニングです。1～5弦の間隔がスタンダード・チューニングと同じ（音程そのものは半音下がっています）になるため、普通のチューニングと同じ感覚で演奏できます。ちなみに、ここでは6弦を使いませんので、スタンダード・チューニングの全弦を半音下げるだけでも、弾くことができます。

7小節目の途中から始まる16分音符のフレーズは、押弦してピッキング～開放弦へのブリング、の繰り返しになっています。

Tuning = D♭ A♭ D♭ G♭ B♭ E♭

Guitar 2

Solo

# TIME AFTER TIME

music by Robert Hyman / Cyndi Lauper

© Copyright 1983 by Relia Music  
The rights for Japan licensed to Sony Music Publishing (Japan) Inc.  
©1984 by DUB NOTES  
All rights reserved. Used by permission.  
Print rights for Japan administered by YAMAHA MUSIC PUBLISHING



Tuning = C<sup>#</sup>G<sup>#</sup>D<sup>#</sup>G<sup>#</sup>B<sup>#</sup>D<sup>#</sup> (Capo=3)

The sheet music consists of six measures of musical notation for electric guitar. The first measure is labeled 'Intro' and 'E'. The second measure is labeled 'F#'. The third measure is labeled 'D7m'. The fourth measure is labeled 'E'. The fifth measure is labeled 'F#'. The sixth measure is labeled 'D7m' and includes a box labeled 'A' with a circled 'x' over it. The seventh measure is labeled 'Eadd9'. The eighth measure is labeled 'B' and includes a box labeled 'A' with a circled 'x' over it.

B



B

E F#

D<sup>#</sup>m

E

F#

D<sup>#</sup>m7

E

F#

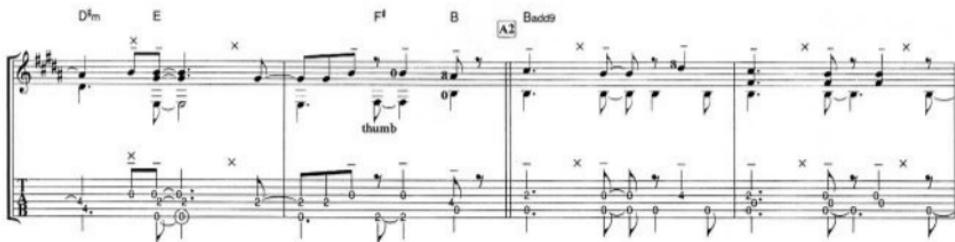
D<sup>#</sup>m

E

F#

B

A2 Badd9



Badd9



Badd9

B2

E

F#

D#m

E

E

F#

B

D#m7

E

F#

D#m

E

C

F#

G#m7

Eadd9

F#

B

F#

G#m7

Eadd9

F#

B

C2

G#m7

Eadd9

F#

B

F# Gm7 Eadd9 F# B

Inter E F# D4m(13) Em7(9)

thumb

E F# D4m(13) E

A3 B

B

**B3** E F# D#m E F# B D#m7(11)

E F# D#m E C3 F# G#m7

Eadd9 F# B F# G#m7

Eadd9 F# B D F# G#m7

Eadd9 F# B F# G#m7

Eadd9      T.Harm.12      C<sup>7</sup>m7(onF)  
 Badd9      E      F#  
 T.Harm.12  
 D<sup>7</sup>m      E      F#      D<sup>7</sup>m7      E      F#      B      D<sup>7</sup>m  
 D<sup>7</sup>m      E      C4 F#      G<sup>7</sup>m7      Eadd9      F#      B  
 B      vib.      F#      G<sup>7</sup>m7      Eadd9      F#  
 B      vib.      F#      G<sup>7</sup>m7      Eadd9      F#      B  
 B      vib.      C8 F#      G<sup>7</sup>m7      Eadd9      F#      B

The image shows five staves of sheet music for a guitar solo. The top staff begins with a B chord, followed by an F# chord, a G#m7 chord, and an Eadd9 chord. The second staff starts with an E ending, followed by an F# chord, a B chord, an E chord, an F# chord, and a B chord. The third staff begins with a B chord, followed by an Eadd9 chord, an F# chord, a B chord, an E chord, an F# chord, and a B chord. The fourth staff begins with a B chord, followed by an E chord, an F# chord, a B chord, an E chord, an F# chord, and a B chord. The fifth staff begins with a B chord, followed by an E chord, an F# chord, a B chord, an E chord, an F# chord, and a B chord. The music is written in a treble clef, with a key signature of two sharps. Various chords are labeled above the staves, and specific fingers are indicated by numbers (1, 2, 3, 4) and letters (B, E, F#, G, A, D, C). A large watermark reading "ebok shop3511154.taobao.com" is overlaid across the bottom of the page.

# TIME AFTER TIME

Guitar ● GREVEN D (#1097)

Tuning ● C♯↓ G♯↓ D♯↑ G♯↑ B♯↑ D♯↓ (Capo=3)

- ① 6弦を1音半下げる (5弦4フレットを基準にオクターブ下)
- ② 5弦を半音下げる (6弦7フレットとユニゾン)
- ③ 4弦を半音上げる (5弦7フレットとユニゾン)
- ④ 3弦を半音上げる (5弦開放を基準にオクターブ上)
- ⑤ 2弦を半音上げる (3弦4フレットとユニゾン)
- ⑥ 1弦を1音下げる (4弦開放を基準にオクターブ上)

アメリカの女性シンガーであるシンディ・ローバーが、1984年にリリースしたセカンド・シングルで、全米でナンバー・ワン・ヒットを記録しました。

## 概要&テクニック解説

チューニングは、2曲目の「CLOSE TO YOU」や3曲目「そして僕は途方に暮れる」と同じ、押尾さんがよく使うC G D G B Dを半音上げたもので、この曲では3フレットにカボタストを付けています。また本書の五線譜は、実際に鳴っている音に合わせてBキー(口長調)で採譜してあります。ダイアグラム譜には、カボの位置を0フレット(C♯ G D F♯ G B♯ D♯)として考えた場合のコード・ネームを、カッコ内に併記しておきました。♯を1つ取る事で、C G D G B D チューニング時のコード・ネームと同じになりますので、参考にして下さい。例えば[Intro]のEは、カッコ内表記はC♯ですから、♯を1つ取るとCになり、フォームをイメージしやすいと思います。

曲の大部分で、ネイル・アタック(音符の上に×印)を使ってリズムを取りながら演奏していきます。基本的には、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います。1~4弦あたりで、前後のメロディより高くなない弦を狙うとよいでしょう。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は「音を長さ通り(十分長く)弾く」という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。意識して弾くとよいでしょう。

## 演奏のポイント

[Intro]は、右手の手首から小指側の侧面でブリッジ近くの弦に触れて、わざと音を詰まらせる“ミュート奏法”で弾きます。

1小節目のEでは、実際には弾きませんが、4弦2フレット・G♯音を押さえておきます(ダイアグラム楽譜を参照してください)。同様に2小節目のF♯でも、4弦4フレット・A♯音を押さえています。

3小節目最後の5弦開放・B音は、コードに使われている音とは関係ない開放弦をフォーム・チェンジ直前に弾いていますが、これは次のコードに移行するための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。

**A1** 1小節目の3拍目は、ストリング・ヒット(音符の符頭が×印)です。弦に右手人差指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしてコードを弾きます(人差指と中指で叩く場合もあります)。

**B1** のD♯mのみ、低音を補強するために、ベース音(5弦4フレット)の1オクターブ下のD♯音が、別のギターによって加えられています([B2], [B3], [B4]も同様です)。メイン・ギターのベース音がウラ拍からクリッピングする部分(例えば[B1] 3小節目最後など)も、オクターブ下のギターはクワズィ・ジャストから入っています(例えば[B1] 3小節目の部分では、3小節目最後からではなく4小節目から入っています)。

ちなみに、**B1** は7小節しかありませんので、注意して下さい(8小節目は、次の**A2**になります)。

**A2**は、ほぼ**A1**と同じです(メロディ・ラインが、若干**A1**とは変わっています)。コード・ネームが、**A1**ではBだったものがBadd9になっていますが、これは伴奏として3弦2フレット・C♯音を使っている(4小節目)という違いだけで、基本的なフォームや動きは同じです(そのため、ダイアグラム譜では一部を省略してあります)。

**B2** 1~4小節目は、ほぼ**B1** 1~4小節目と同じです(1小節目のF♯のみ、フォームが異なります)。ちなみに**B2**は、6小節で構成されています。

〔C〕には、2本目のギター(Guitar 2:メイン・ギターと同じチューニング、カポ)が重ねられています(P.134参照)。〔C2〕、〔C3〕、〔C4〕、〔C5〕も同様です。

5～8小節目は、1～4小節目とほぼ同じです。

〔C2〕は、ほぼ〔C〕と同じです。5～6小節目でメロディが高く上がるのと、8小節目のメロディが無くなっています。

〔Inter〕2小節目のF♯では、人差指で2拍目の3弦2フレット・G♯音を押さえた後、すぐに2拍目ウラで1弦2フレット・G♯音をハンマリングするために移動します。

5～8小節目は、ほぼ1～4小節目と同じです。

〔A3〕は、ほぼ〔A〕と同じです(メロディ・ラインが、若干〔A〕とは変わっています)。

〔B3〕は、ほぼ〔B2〕と同じです(1小節目のF♯のみ、〔B〕と同じフォームです)。

〔C3〕は、ほぼ〔C〕と同じです。

〔D〕は、3本のギターが重ねられていますので、押尾さんと相談の上、1本のギターで弾けるようにアレンジしています。実際のアルバムでのメイン・ギターは、3音のアルペジオをコードに関係なく繰り返したものになっています。P.133にスコア譜を載せてありますので、こちらも参考にしてみて下さい。

1小節目と5小節目の最初のみ、柔らかめに全弦をアップ・ストロークします(これは、Guitar 3のフレーズを取り入れたものです)。6弦を弾くタイミングが小節のアタマになるように、実際には少し前からストロークを開始します。1小節目と5小節目で違う押さえ方を示してありますが(ダイアグラム楽譜を参照してください)、どちらかに統一して弾いて構いません。5弦は、6弦を押さえた親指か人差指で触れて、消音しておきます。

続く1～3弦は、軽いストロークか、人差指(または人差指と中指)による複弦ピッキングで弾いていきます。特にベース音と同時にコードを弾いている部分(2小節目の2拍目ウラなど)は、ベース音は親指でピッキングし、コードは

それと別に複弦ピッキングかアップ・ストロークで弾きます。

7～8小節目は、12フレット・タッピング・ハーモニクスで弾きます(これも、Guitar 3のフレーズを取り入れたものです)。8小節目の3～4拍目は、メイン・ギター(Guitar 1)のフレーズを使っています。

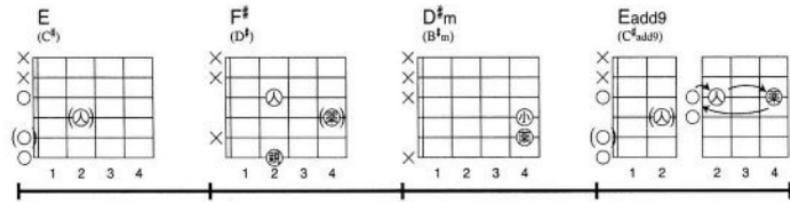
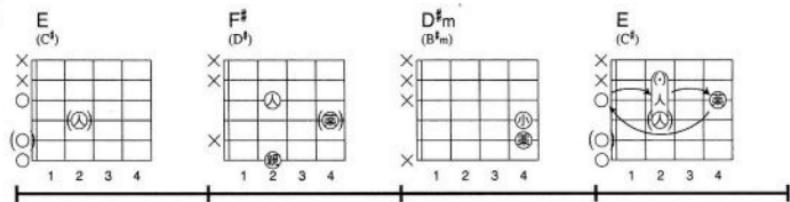
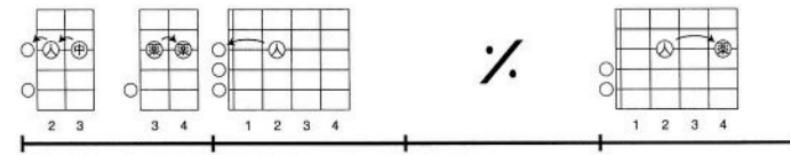
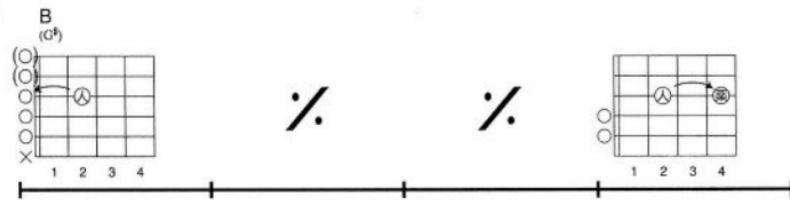
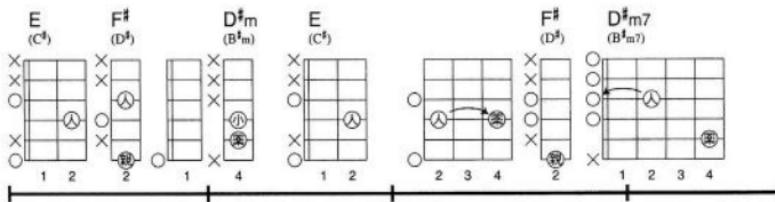
〔B4〕は、ほぼ〔B2〕と同じです(1小節目のF♯のみ、〔B〕と同じフォームです)。5小節目にBのコードが追加されていますが、メロディ・ライン自体は〔B2〕と同じです。

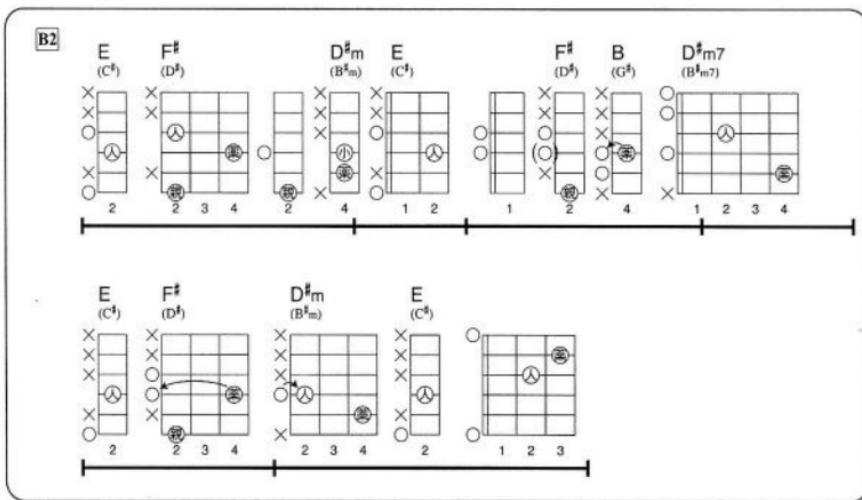
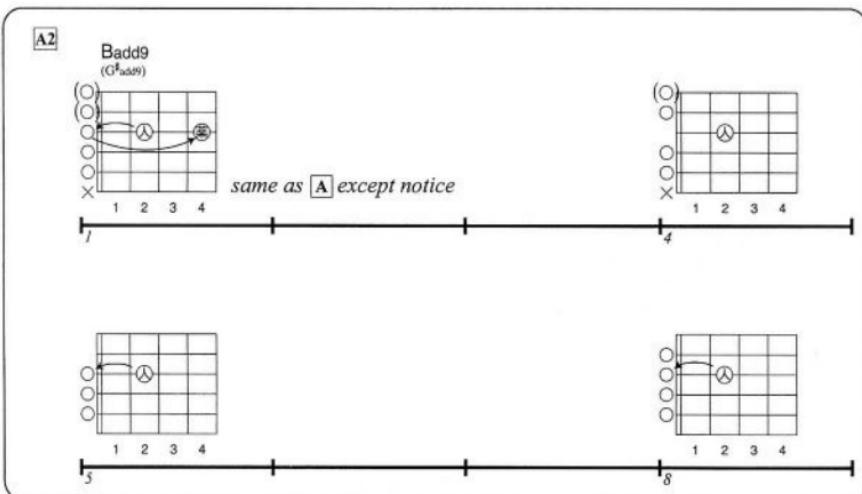
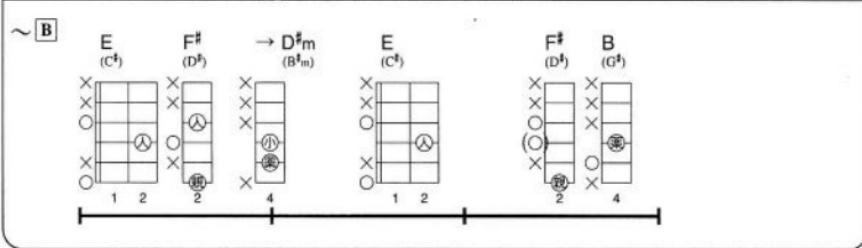
〔C4〕は、ほぼ〔C〕と同じです。

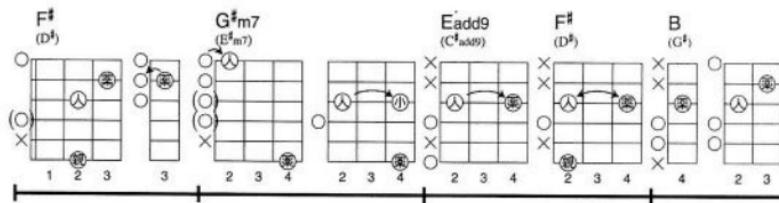
〔C5〕は、ほぼ〔C2〕と同じです(〔C〕とは、5～6小節目でメロディが高く上がる点が異なります)。8小節目は、〔Ending〕で見られるベース・ラインが追加されています。

〔Ending〕は、E→F♯→Bの2小節ぶんを、繰り返しています。5小節目のみEがEadd9になっていますが、これは伴奏として4弦開放・F♯音を使っているという違いだけで、基本的なフォームや動きはEと同じです。

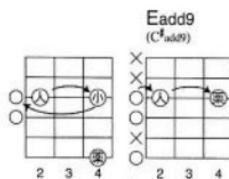
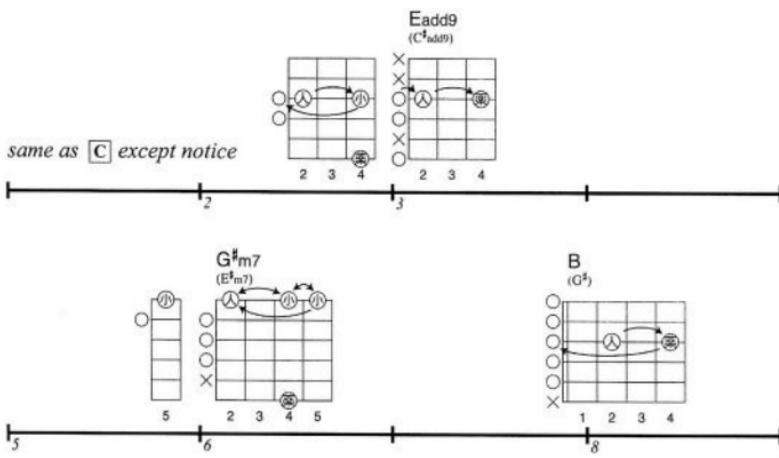
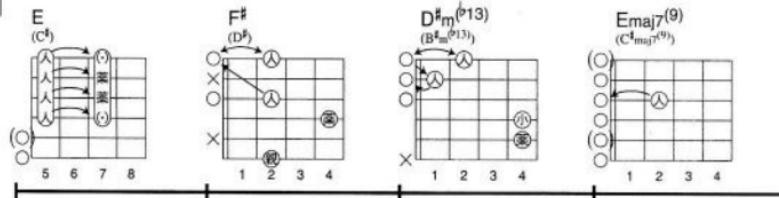
14小節目は、ベース・ラインの動きが無くなります。

**Intro****A****B**



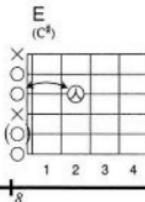
**C**

5~8 bar:  
same as 1~4 bar  
except notice

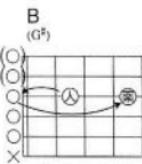
**C2****Inter**

~ [Inter]

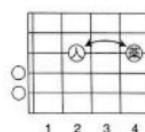
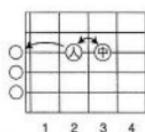
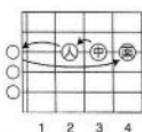
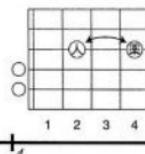
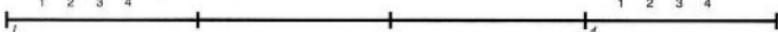
5~7 bar : same as 1~3 bar



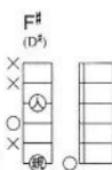
[A3]



same as [A] except notice



[B3]

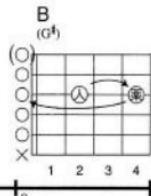


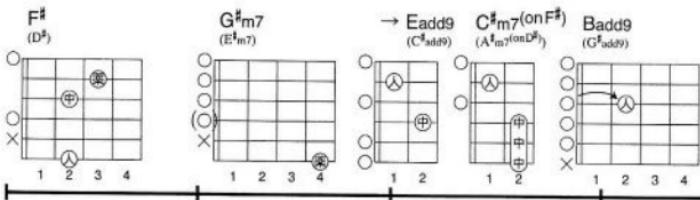
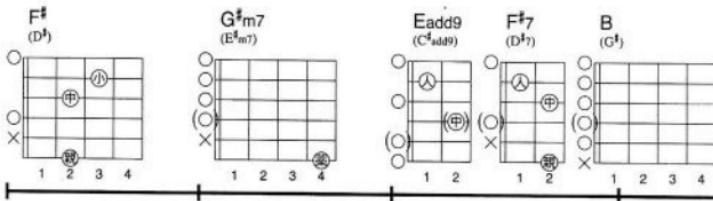
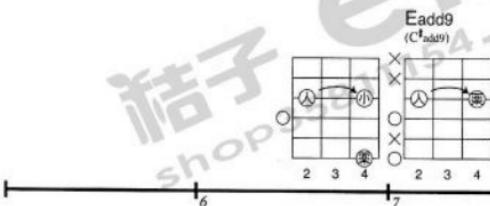
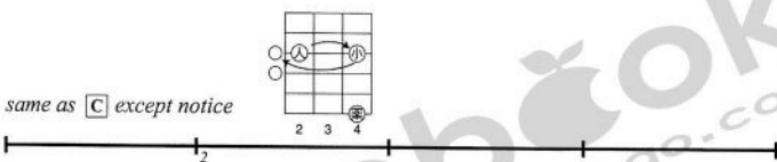
same as [B2]  
except notice



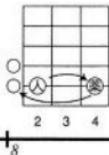
[C3]

same as [C] except notice



**D****B4****C4**

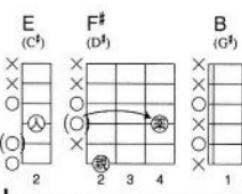
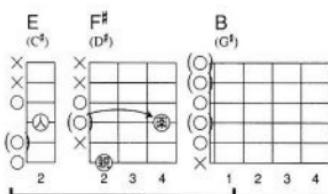
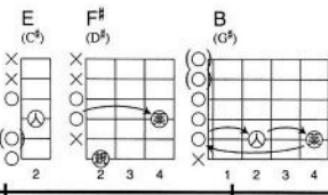
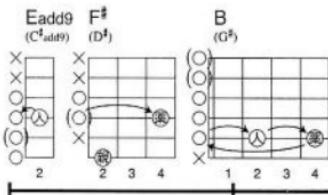
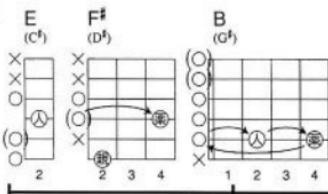
CS



same as C2 except notice



Ending



● オリジナル演奏(④部分)

Tuning = C♯ G♯ D♯ G♯ B♯ D♯ (Capo=3)

The musical score consists of six staves. The top three staves are for 'Guitar 1', 'Guitar 2', and 'Guitar 3'. Each guitar staff has a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature. The guitars play a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes. The bottom three staves are for 'T.Horn 12' and 'T.Horn 32'. These staves have a bass clef, a key signature of one sharp (F#), and a common time signature. The brass instruments play sustained notes and occasional eighth-note chords.

**Guitar 1**

**Guitar 2**

**Guitar 3**

**T.Horn 12**

**T.Horn 32**

## GUITAR 2 Tuning: C<sup>#</sup>↓ G<sup>#</sup>↓ D<sup>#</sup>↑ G<sup>#</sup>↑ B<sup>#</sup>↑ D<sup>#</sup>↓ (Capo 3) C～C2, C3～D, C4～C5

2本目のギターは、メイン・ギターと同じチューニングです(カポの位置も同じです)。

C, C2, C3, C4, C5では、メロディのハモリとベース・ラインを弾いています。5～8小節目は、1～4小節目と同じです。ただし8小節目に関して、C2, C3とC5は続

くセクションがCではないので、次につながるメロディの冒頭部分がありません。さらにC3は、その部分にベース・ラインが加えられています。

Dでは、ベース・ラインのみを弾いています。

Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (Capo=3)

06 TIME AFTER TIME

Guitar 2

## GUITAR 3 Tuning: C<sup>#</sup>↓ G<sup>#</sup>↓ D<sup>#</sup>↑ G<sup>#</sup>↑ B<sup>#</sup>↑ D<sup>#</sup>↓ (Capo 3) D

3本目のギターも、メイン・ギターと同じチューニングです(カポの位置も同じです)。重ねられている場所はDのみで、柔らかくゆったりとした高音弦のアップ・ストローク

(1～6小節目)と、12フレット・タッピング・ハーモニクス(7、8小節目)で弾きます。前ページ(P.133)のスコアを参照して下さい。



涙のキッス

music by 桑田佳祐

© 1992 by AMUSE INC. & SEVEN NOTES CO., LTD.



Tuning = C<sup>#</sup> G<sup>#</sup> D<sup>#</sup> G<sup>#</sup> B<sup>#</sup> D<sup>#</sup> (Capo=3)

The sheet music consists of three systems of double bass notation. The first system, starting with a treble clef, includes a measure labeled 'Intro' followed by measures in B major. The second system, starting with a bass clef, includes measures in E(onB), B major, and E(onB). The third system, also starting with a bass clef, includes measures in B major, E(onB), and A major.

B

D<sup>4</sup>m7

G<sup>4</sup>m

D<sup>8</sup>m7

D<sup>4</sup>m7

B

C<sup>4</sup>m7

F<sup>4</sup>

thumb

Bmaj7

G<sup>4</sup>m

C<sup>4</sup>m7

F<sup>4</sup>

B

E(on B)

F#(on B)

E(on B) x

B                    E(on B)                    F#(on B)                    E(on B)                    A2 B

B                    D4m7

G4m7                    D4m7

D4m7                    B2 C4m7                    F#

B4m7                    G4m                            C4m7

F# E B E(onB) F#(onB) B B7

C E F# D7m G7m E F# D7m

thumb

D7m G7m E F# D7m G7m

thumb

B E(onB) F#(onB) E(onB) B

B

D<sup>#</sup>m7

Musical score for the B section. The top staff shows a treble clef, a key signature of two sharps, and a common time signature. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The score consists of two measures. Measure 1 starts with a quarter note followed by eighth notes. Measure 2 starts with a quarter note followed by eighth notes. The notation includes various markings such as 'x', 'h', and 'p' with arrows indicating specific fingerings or techniques.

G<sup>#</sup>m7D<sup>#</sup>m7

Musical score for the G<sup>#</sup>m7 section. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The score consists of three measures. The first measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The second measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The third measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The notation includes various markings such as 'x', 'h', and 'p' with arrows indicating specific fingerings or techniques.

D<sup>#</sup>m7C<sup>#</sup>m7

F#

Musical score for the D<sup>#</sup>m7, C<sup>#</sup>m7, and F# sections. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The score consists of three measures. The first measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The second measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The third measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The notation includes various markings such as 'x', 'h', and 'p' with arrows indicating specific fingerings or techniques.

Bmaj7

G<sup>#</sup>mC<sup>#</sup>m7

Musical score for the Bmaj7, G<sup>#</sup>m, and C<sup>#</sup>m7 sections. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The score consists of three measures. The first measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The second measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The third measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The notation includes various markings such as 'x', 'h', and 'p' with arrows indicating specific fingerings or techniques.

F#

B

E(on B)

F#(on B)

B

B7

Musical score for the F#, B, E(on B), F#(on B), B, and B7 sections. The top staff shows a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The bottom staff shows a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. The score consists of six measures. The first measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The second measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The third measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The fourth measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The fifth measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The sixth measure starts with a quarter note followed by eighth notes. The notation includes various markings such as 'x', 'h', and 'p' with arrows indicating specific fingerings or techniques.

**C2** E F# D<sup>4</sup>m G<sup>4</sup>m E F#

D<sup>4</sup>m G<sup>4</sup>m E F# D<sup>4</sup>m G<sup>4</sup>m

C<sup>4</sup>m7 F# B B7 x vib. x vib.

**B** Eadd9 B(onD)<sup>7</sup> C<sup>4</sup>m7 F#

B G<sup>4</sup>m A

**Tussie mussie** Kotaro Ohno 141

G<sup>7</sup>m C<sup>7</sup> F<sup>#</sup> B E(onB)

F(onB) E(onB) x B E(onB) F(onB) B B7

C3 E F<sup>#</sup> D<sup>7</sup>m G<sup>7</sup>m E F<sup>#</sup> D<sup>7</sup>m

D<sup>7</sup>m G<sup>7</sup>m E F<sup>#</sup> D<sup>7</sup>m G<sup>7</sup>m?

C<sup>7</sup>m F<sup>#</sup> B B7 E F<sup>#</sup> D<sup>7</sup>m

D<sup>m</sup>      G<sup>d</sup><sub>m</sub>      E      F#      D<sup>f</sup><sub>m</sub>      G<sup>d</sup><sub>m</sub>

E      D<sup>d</sup><sub>m</sub>      G<sup>d</sup><sub>m</sub>      C<sup>d</sup><sub>m7</sub>

E(onF#)      B      E(onB)      F#(onB)      E(onB)x      x

B      E(onB)      F#(onB)      E(onB)      Ending      D

C<sup>d</sup><sub>m7</sub>      Em(onF#)      Bmaj7(B)

# 涙のキッス

Guitar ● Nashville Guitar Company

Tuning ● C♯↓ G♯↓ D♯↑ G♯↑ B♯↑ D♯↓ (Capo=3)

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ① 6弦を1音半下げる | 〈5弦4フレットを基準にオクターブ下〉 |
| ② 5弦を半音下げる  | 〈6弦7フレットとユニゾン〉      |
| ③ 4弦を半音上げる  | 〈5弦7フレットとユニゾン〉      |
| ④ 3弦を半音上げる  | 〈5弦開放を基準にオクターブ上〉    |
| ⑤ 2弦を半音上げる  | 〈3弦4フレットとユニゾン〉      |
| ⑥ 1弦を1音下げる  | 〈4弦開放を基準にオクターブ上〉    |

サンザンオールスターズが1992年にリリースしたシングルで、TVドラマの主題歌に使用されたこともあって大ヒットしました。

## 概要&テクニック解説

チューニングは、「CLOSE TO YOU」「そして僕は途方に暮れる」「TIME AFTER TIME」と同様に、押尾さんがよく使うC G D G B Dを半音上げたもので、この曲では3フレットにカポタストを付けています。また本書の五線譜は、実際に鳴っている音に合わせてBキー(口長調)で採譜してあります。ダイアグラム譜には、カポの位置を0フレット(C♯ G♯ D♯ G♯ B♯ D♯)として考えた場合のコード・ネームを、カッコ内に併記しておきました。♯を1つ取る事で、C G D G B Dチューニング時のコード・ネームと同じになりますので、参考にして下さい。例えば[Intro]冒頭のBは、カッコ内表記はG♯ですから、♯を1つ取るとGになります、フォームをイメージしやすいと思います([Ending] 1小節目のDのみ、カッコ内表記はBで♯が付いていませんので、これは半音下げると考えてB♭をイメージして下さい)。

音を切りながら、歯切れ良く演奏していきます。音を上手く切るには、左手で押弦しているときはその左手を緩め、開放弦の場合は弾いた後の右手で弦を止めるようにします。

曲の大部分で、ネイル・アタック(音符の上に×印)を使ってリズムを取りながら演奏していきます。基本的には、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに(直前に弾いていたコードのまま)行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います。1~4弦あたりで、前後

のメロディよりも高くなない弦を狙うとよいでしょう。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本來は“音を長さ通り(十分長く)弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。意識して弾くとよいでしょう。

## 演奏のポイント

[Intro] 2小節目のE(onb)は、人差指で1~2弦5フレットを部分セーハしたまま、小指と薬指を伸ばして1弦9フレット・D♯音と2弦8フレット・B音を押さえます。

[③] 3小節目の4拍目オモテは、ネイル・アタック時に3弦開放・B音も鳴っていますが、4弦開放・F♯音のほうがメロディ・ラインです。またこの部分は、それまで小指で押さえていた3弦4フレット・D♯音を離し、次のウラ拍で(弾いてはいませんが)人差指によって3弦2フレット・C♯音を押さえなおすための、いわば“息つき”的なものです(ただし5弦4フレット・D♯音は、押さえたままです)。そのため、ダイアグラム譜には記していません。

4小節目(D♯m7)は、ピッキングしていませんが人差指で3弦2フレット・C♯音を押さえておきます(ダイアグラム譜を参照してください)。

6小節目の4拍目オモテは、薬指で3~5弦4フレットを部分セーハして、4弦4フレット・A♯音を弾きます。続いて部分セーハを起こし、5弦に残した指頭で4フレット・D♯音を弾きます。次の小節(7小節目)のD♯m7は、その薬指を押さえたままにしてベース音を弾きます。

8小節目の4拍目はストリング・ヒット(音符の符頭が×印)です。弦に右手人差指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしていきます。[④] 3小節目4拍目や[⑤] 4小節目3拍目(ここは人差指と中指を使っています)なども同様です。

[⑥] 2小節目の3拍目は、親指で6弦2フレット・F♯音を押さえたまま、薬指で4弦5フレット・B音を押さえて、4フレット・A♯音にスライドさせています。

7小節目の3拍目以降は、[Intro] 1~4小節目と同じフ

レーズです(10小節目までの4小節分)。

**A2**は、ほぼ**A**と同じです。6小節目アタマのメロディ(D♯音)は、**A**では3弦4フレットですが、こちらでは2弦開放で弾いています。

**B2**は7小節目まで、ほぼ**C**と同じです。3小節目の3拍目は、**C**では薬指を1音ずつ移動させて指頭で押さえていましたが、こちらでは**A**6小節目の4拍目と同様、4弦4フレット・A♯音は部分セーハで、5弦4フレット・D♯音は部分セーハを起こし指頭を残して弾いています。

8小節目は**B**とは違い、次の**C**につなぐためのフレーズになっています。

ちなみに**B2**以降(**A3**以外)、2本目のギター(Guitar 2:スタンダード・チューニングの全弦半音下げ、カポ無し)が重ねられています(P.152~154参照)。

**C**2小節目は、3弦4フレット・D♯音を押さえたまま、ベース・ラインが動きます。

2小節目の後半は**B2**最後の小節後半と同じメロディですが、ハモリが異なるので注意しましょう。ちなみに3拍目ウラは、ベース音の6弦4フレット・G♯音を押さえたまま、2~4弦2フレットを人差指で部分セーハします(実際に弾くのは、3~4弦です)。

8小節目の2拍目以降は、**Intro** 1~4小節目とほぼ同じフレーズです(11小節目までの4小節分)。

**A3**は、ほぼ**C**と同じです。またこの部分のみ、別のギター(Guitar 3:メイン・ギターと同じチューニング、同じカポ位置)によって、メロディのハモリが重ねられています(P.154参照)。

**B3**は、ほぼ**B2**と同じです(3小節目の3拍目は、**C**と同じ運指です)。

**C2**は7小節目まで、ほぼ**C**と同じです。

**D**7小節目の2拍目ウラ以降は、3弦2フレット・C♯音を押さえた人差指をブリッジ(3拍目オモテ)した後、その人

差指で5弦2フレット・C♯音を押さえます。

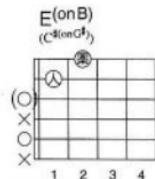
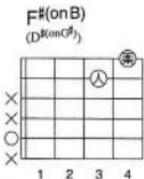
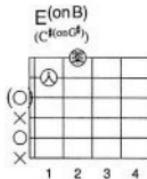
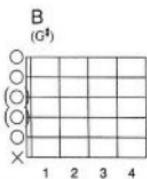
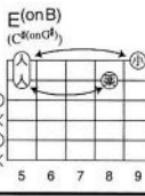
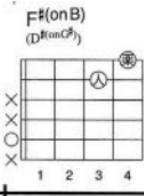
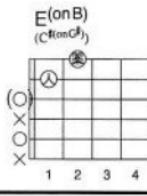
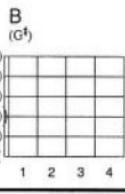
9小節目の後半以降、11小節目までは、**Intro** 1~3小節目とほぼ同じフレーズです。12小節目は、**B2** 8小節目とほぼ同じです。

**C3**は7小節目まで、ほぼ**C**と同じです。1小節目最後のD♯音は、**C**では3弦4フレットでしたが、こちらでは2弦開放で弾いています。

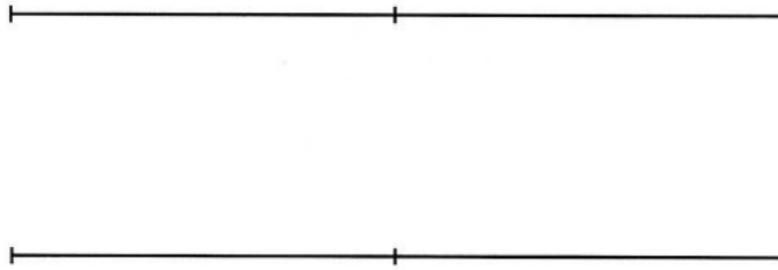
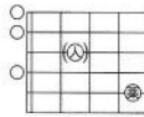
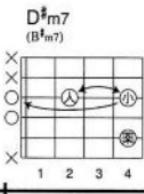
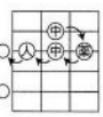
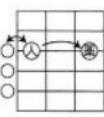
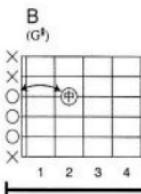
**C4**は6小節目まで、ほぼ**C**と同じです。1小節目最後のD♯音は、**C3**同様に2弦開放で弾いています。

5小節目にブレイクが入り、ベース音は小節のアタマのみになります(メイン・ギターだけを見た場合、3拍目もF♯にコード・チェンジしていません)。

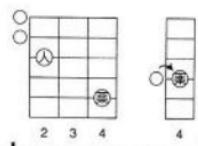
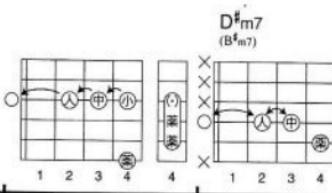
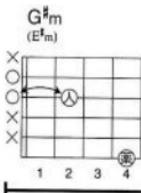
9小節目の後半以降、12小節目の途中までは、**Intro** 1~4小節目とほぼ同じフレーズです。

**Intro**

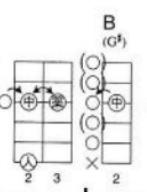
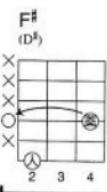
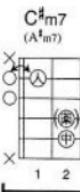
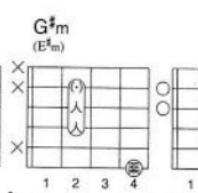
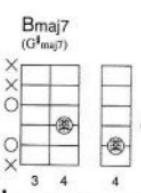
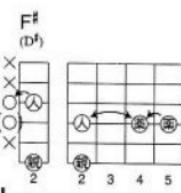
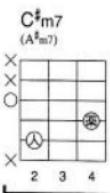
5~8 bar : same as 1~4 bar

**A**

~ [A]



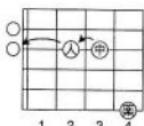
[B]



8~10 bar :  
same as [Intro]  
2~4 bar

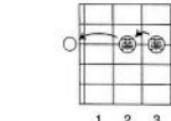
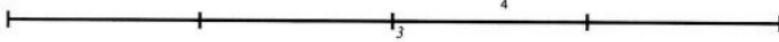
[A2]

same as [A] except notice



B2

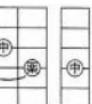
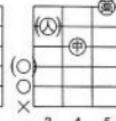
1~7 bar : same as [B] 1~7 bar except notice



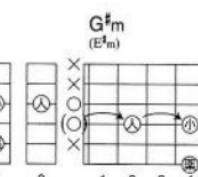
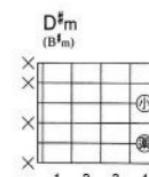
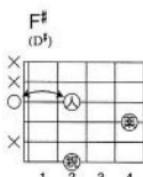
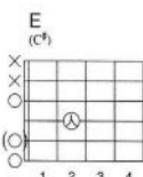
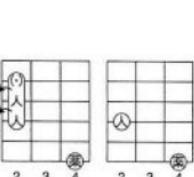
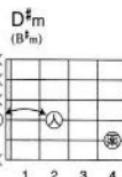
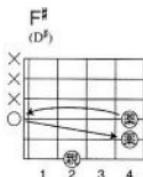
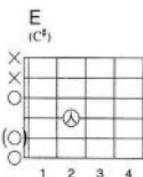
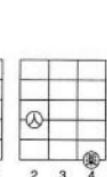
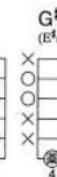
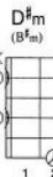
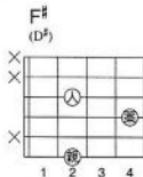
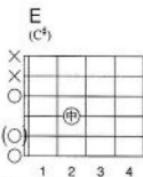
$F^\#(on B)$   
 $(D^\#(on G^\#))$

$B$   
 $(G^\#)$

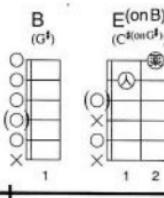
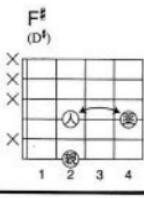
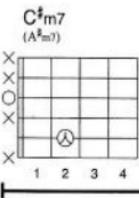
$B7$   
 $(G^\#)$



C



～[C]



9～11 bar :  
same as [Intro]  
2～4 bar

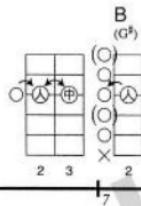
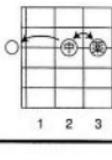
[A3]

same as [A2]



[B3]

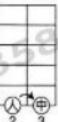
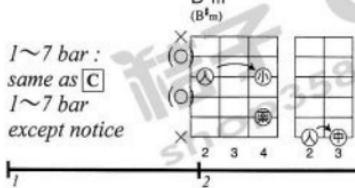
1～7 bar : same as [B] 1～7 bar except notice



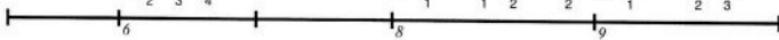
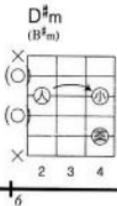
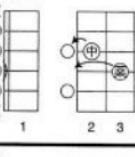
8 bar :  
same as [B2] 8 bar

[C2]

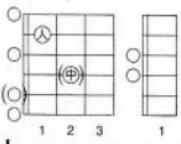
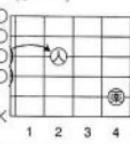
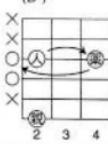
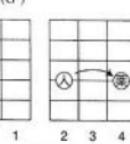
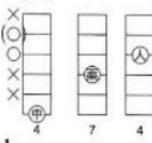
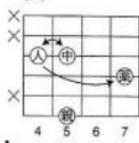
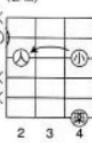
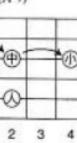
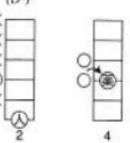
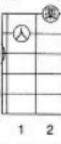
I～7 bar :  
same as [C]  
I～7 bar  
except notice



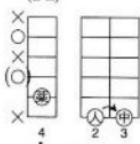
～C2

 $B$   
( $G^{\sharp}$ ) $B7$   
( $G^{\sharp}7$ )

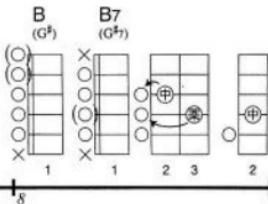
D

Eadd9  
( $C^{\sharp}add9$ ) $B$  (on  $D^{\#}$ )  
( $G^{\sharp}(on B^{\sharp})$ ) $C^{\#}m7$   
( $A^{\sharp}m7$ ) $F^{\#}$   
( $D^{\sharp}$ ) $B$   
( $G^{\sharp}$ ) $G^{\#}m$   
( $E^{\sharp}m$ ) $A$   
( $F^{\sharp}$ ) $G^{\#}m$   
( $E^{\sharp}m$ ) $C^{\#}7$   
( $A^{\sharp}7$ ) $F^{\#}$   
( $D^{\sharp}$ ) $B$   
( $G^{\sharp}$ ) $E$  (on  $B$ )  
( $C^{\sharp}(on G^{\sharp})$ )10~11 bar :  
same as [Intro]  
2~3 bar12 bar :  
same as [B2]  
8 bar

C3

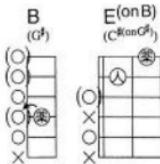
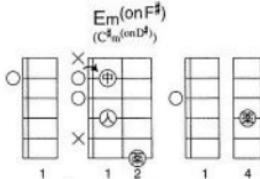
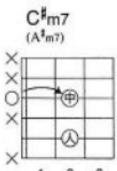
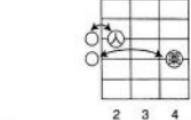
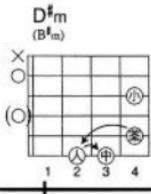
 $D^{\#}m$   
( $B^{\#}m$ )1~7 bar :  
same as [C]  
1~7 bar  
except notice

~[C3]



[C4]

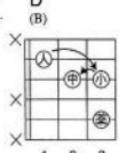
I~6 bar :  
same as [C]  
I~6 bar  
except notice



10~12 bar :  
same as [Intro] 2~4 bar  
except notice



**Ending**



C#m7

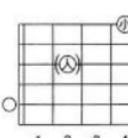
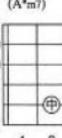
(A#m7)

Em (on F#)

(C#m (on D#))

Bmaj7(9)

(G#maj7(9))



## GUITAR 2 Tuning: E<sup>b</sup> A<sup>b</sup> D<sup>b</sup> G<sup>b</sup> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> (Capo 3) B2~C B3~C2~D~C3~C4~Ending

2本目のギターは、スタンダード・チューニングの全弦を半音下げたチューニングになっています(カポ無し)。主にコード感を厚くするために用いられています。

B2、B3は、全音符(いわゆる“白玉”)で、コードをややゆっくり柔らかくダウン・ストロークしています。コード・ネームだけ見ると、メイン・ギターと異なっている部分もありますが、響きに違和感は無いはずです。

7小節目は、B2ではBmaj7を(他の部分よりも小さい音で)弾いていますが、B3では弾いていません。

C、C2、C3、C4は、リズムを刻みながらピッキングで弾いていきます。1~2小節目の2小節パターンを、6小節目まで繰り返します。D<sup>#</sup>m7は、メイン・ギターではC1小節目のD<sup>#</sup>mのようにクッテに入る(前の拍のウラから入るということです)部分もありますが、こちらのギターはクわずにジャストで(拍のオモテで)弾いています。逆に、次のG<sup>#</sup>m7は、メイン・ギターではC4小節目のようにジャストではいる部分もありますが、こちらのギターは毎回クッテに入ります。

1小節目の2拍目から3拍目にかけては、C4のみスライドしています。

2小節目、G<sup>#</sup>m7の2弦5フレット・D<sup>#</sup>音は、C3、C4のみ弾きます。

4小節目のG<sup>#</sup>m7は、C2では小節の最後まで伸ばします(休符が無しになります)。

8小節目はC3のみ、次にC4に続く都合からベース・ラインが入ります。

C4の5小節目以降は、メイン・ギターがブレイクしているため、こちらのギターもそれに合わせたフレーズになっています。7小節目のC<sup>#</sup>m7は、そのまま伸ばすと次の8小節目でメイン・ギターの音とぶつかるため、ベース音以外を途中で止めています。

Dは、B2、B3と同様に白玉でゆっくり柔らかなストロークですが、こちらは高音弦側から低音弦側に向かって、アップ・ストロークで弾きます。

2小節目、B(ondり)の5弦は、4弦2フレット・D<sup>#</sup>音を押さえた中指で触れて消音しています。

Endingはクイック・アルペジオで弾いていきます。3小節目は、メイン・ギターがリタルダンドしているので、こちらのギターはメイン・ギターの最初のベース音である5弦開放・B音を聞いてから、入るくらいのタイミングです。

Tuning = E<sup>b</sup> A<sup>b</sup> D<sup>b</sup> G<sup>b</sup> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> (=D<sup>b</sup>G<sup>b</sup>C<sup>b</sup>F<sup>b</sup>A<sup>b</sup>D<sup>b</sup>)

Guitar 2

**C C C C** Emaj7(9) F# D7m7 G7m7

**Emaj7(9)** F# D7m7 G7m7 C7m7 F7(9) B B B7

**E** F# D7m7 G7m7 C7m7

Guitar 2

**D** Emaj7 B(mD7) C7m7 F7(onC7) Bmaj7(onD7) G7m7 A7(11) G7m7 C7(9) F7(9)

Guitar 2

**Ending**

Dmaj7(B) C7m7 C7m7(b5) Emaj7(B)on C7  
Harm.12

### GUITAR 3 Tuning : C♯↓ G♯↓ D♯↑ G♯↑ B♯↑ D♯↓ (Capo 3)

A3

(9)  
涙のキッス

A3のみ、Guitar 2とは違うチューニングの3本目のギターによって、メロディのハモリが重ねられています。このGuitar 3のチューニングやカポ位置は、メイン・ギターと同じです。

1小節目と5小節目は、最初の5音のみミュートして弾いています。

Tuning = C♯ G♯ D♯ G♯ B♯ D♯ (Capo=3)

Guitar 3

A3

music



# LOVE

music by John Lennon

© LENNON MUSIC

Permission granted by EMI Music Publishing Japan Ltd.

Authorized for sale only in Japan



Tuning = Standard

The sheet music consists of three staves of musical notation for guitar and vibraphone. The top staff shows a guitar part with a bass line, with chords A, C7, and F#m indicated above the staff. The middle staff shows a guitar part with a bass line, with chords D7(9), G, A7, and Dmaj7(13) indicated above the staff. The bottom staff shows a guitar part with a bass line, with chords F#m(11), G, A, and Dadd9 indicated above the staff. Various performance instructions are scattered throughout the music, such as "z. vib.", "x. vib.", "vib.", "gliss.", and "gloss.". The music is in common time and includes measures with 16th-note patterns and rests.

Dadd9

**A2**

**F#m**

**C#7**

**F#m**

thumb

D7

G

A7

D6(9)

thumb

F#m7(11)

E7

A7

D

Harm.5 (8va) Harm.7 (8va) Harm.12 (8va)

thumb

Harm.5 Harm.7 Harm.12

D

Harm.7 (8va)

A3

C#7

F#m7

Harm.7

thumb

D

G

A7

A musical score for piano and bass. The top staff is for the piano, featuring a vibraphone part with sustained notes and eighth-note patterns. The bottom staff is for the bass, with left-hand chords indicated by Roman numerals and right-hand eighth-note patterns. The key signature changes from D major (two sharps) to F# minor 7 (one sharp) and then to E minor 7 (no sharps or flats). Measure 11 starts with a piano dynamic of  $\frac{p}{f}$ . Measures 12 and 13 show the bass line continuing with eighth-note patterns.

A musical score page featuring two staves. The top staff is for a guitar and the bottom staff is for a bass guitar. The page is divided into measures by vertical bar lines. Measure 1 shows a G major chord (B, D, G) with various rhythmic patterns and grace notes. Measures 2 and 3 show transitions to an A7 chord (E, B, G, C) and a D major chord (D, A, F#), respectively. The notation includes standard musical symbols like quarter and eighth notes, as well as unique symbols like 'x' and 'z' which likely represent specific fingerings or techniques. The bass staff follows a similar pattern, providing harmonic support for the guitar parts.

This image shows the musical score for orchestra and piano, page 10, featuring measures 10 and 11. The score includes parts for Violin 1, Violin 2, Viola, Cello, Double Bass, Flute, Clarinet, Bassoon, Trombone, and Piano. The key signature changes from D major to E minor (Em7) and then to G6. The vocal part continues with "I am the vine, you are the branches," with lyrics appearing above the vocal line. The piano part provides harmonic support throughout the measures.

F#m7

D7

G

A7

D6

F#m7(11)

Em7

A7

D

F#m

C7

F#m

D7(9)

G

A

Dmaj7(13)

F#m(11)

G

A

D

## PLAYING AUDIENCE

LOVE

Guitar Gibson CF-100

Tuning Standard

ジョン・レノンが、ビートルズ解散後1970年に初めてリースしたソロ・アルバム『ジョンの魂』に収録されていた曲で、ジョンの死後にシングル・カットされました。

### 概要&テクニック解説

アルペジオを中心にして演奏していくが、曲冒頭の[A]と最後の[A5]を除き、ネイル・アタック（音符の上に×印）も使われています。ネイル・アタックは、前の音符が伸びている場合は左手のフォームを変えずに（直前に弾いていたコードのまま）行い、休符になっている場合は押弦していた左手を離して行います。1～4弦あたりで、前後のメロディよりも高くなる弦を狙うとよいでしょう。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り（十分長く）弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。同時に隣の弦をピッキングする場合をのぞき、アボヤンド奏法（弾いた後で隣の弦に指が寄りかかる奏法）でピッキングするなど、意識して伴奏より強めに弾きましょう。

### 演奏のポイント

[A]1小節目の1拍目ウラにブリングがありますが、これはセーハ以外の指を押さえ直す時に鳴ってしまった音だと思われますので、特に弾かなくてもよいでしょう。

1～3小節は、人差指で全弦セーハしたまま、押さえ直す時に弾いています。音が出しにくい場合は、[A5]1～3小節のように、コード・チェンジごとにセーハを押さえ直して弾くとよいでしょう。

3小節目4拍目の4弦開放・D音は、コードに使われている音とは関係ない開放弦を、フォーム・チェンジ直前に弾い

ていますが、これは次のコードに移行するための“息つき”のようなものです（そのため、ダイアグラム譜には記していません）。

6小節目最初の、前の小節から鳴っている2弦開放・B音は、音が残っているだけと考えて、ダイアグラム譜には記していません。

11小節目は、2拍目のウラでフォーム・チェンジしています（ダイアグラム譜を参照して下さい）。

[A2]は、[A]のメロディを1オクターブ下で弾いていきます。

6小節目の4拍目はストリング・ヒット（音符の符頭が×印）です。弦に右手人差指を叩く感じで乗せて打音を出し、続いてその指で引っかけるように弦をピッキングしています。TAB譜には叩く弦を示してありますので、参考にして下さい（基本的に、次にピッキングする弦を叩いています）。12小節目の4拍目なども同様です。

[A3]は、ほぼ[A2]と同じです。

7小節目のD6<sup>(9)</sup>は、[A2]と違ってメロディが動いています。3弦2フレット・A音は、メロディを弾いてブリンクした後、もう一度押さえ直しておきます（ネイル・アタックでコードを弾くときに必要なため）。

11小節目のコードは、楽譜ではDと表記してありますが、1弦が開放になっているため（ダイアグラム譜を参照、ネイル・アタック時に鳴っています）、厳密にはDadd9ということがあります（[A]4小節目も同様です）。

[A]7小節目のコードは、楽譜ではDと表記してありますが、2弦が開放になっているため（ダイアグラム譜を参照、ネイル・アタック時に鳴っています）、厳密にはD6ということになります。

[A4]は、ほぼ[A2]と同じです。2小節目の3弦スライドが、6フレットまでではなく5フレットまでになっています。また、[A2]や[A3]と比べて1小節少なく、11小節で構成されています。

ネイル・アタックは本来、拍のオモテで用いられますが、

9小節目の3拍目のみ、拍のウラで使われているので注意しましょう(そのため、敢えて音符を記してあります)。

図5は、ほぼ図と同じです。こちらも図と比べて1小節少なく、11小節で曲が終わります。



**A**

Diagram A displays six horizontal rows of guitar fretboards, each with six frets numbered 10 through 11. The first row shows a simple chord with fingers 1 and 2. Subsequent rows show more complex chords with additional fingers and specific fingering patterns indicated by arrows and numbers.

- F#m:** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (11).
- C#7:** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (11), Finger 3 (11).
- F#m:** Fret 11, Finger 1 (11), Finger 2 (11), Finger 3 (11).
- D7(9):** Fret 7, Finger 1 (7), Finger 2 (8), Finger 3 (9), Finger 4 (9).
- G:** Fret 8, Finger 1 (8), Finger 2 (9), Finger 3 (9).
- A7:** Fret 9, Finger 1 (9), Finger 2 (8), Finger 3 (7), Finger 4 (7).
- Dmaj7(13):** Fret 8, Finger 1 (8), Finger 2 (7), Finger 3 (6), Finger 4 (7).
- F#m(11):** Fret 7, Finger 1 (7), Finger 2 (6), Finger 3 (5), Finger 4 (5).
- G:** Fret 9, Finger 1 (9), Finger 2 (8), Finger 3 (7), Finger 4 (7).
- A:** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (9), Finger 3 (8), Finger 4 (8).
- Dadd9:** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (9), Finger 3 (8), Finger 4 (7).
- F#m:** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (9), Finger 3 (8), Finger 4 (7).
- D7:** Fret 7, Finger 1 (7), Finger 2 (6), Finger 3 (5), Finger 4 (5).
- G:** Fret 8, Finger 1 (8), Finger 2 (7), Finger 3 (6), Finger 4 (6).
- A7:** Fret 9, Finger 1 (9), Finger 2 (8), Finger 3 (7), Finger 4 (7).
- D6(9):** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (9), Finger 3 (8), Finger 4 (7).
- F#m7(11):** Fret 10, Finger 1 (10), Finger 2 (9), Finger 3 (8), Finger 4 (7).

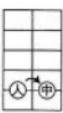
**A2**

Diagram A2 displays six horizontal rows of guitar fretboards, each with six frets numbered 1 through 4. The first row shows a simple chord with fingers 1 and 2. Subsequent rows show more complex chords with additional fingers and specific fingering patterns indicated by arrows and numbers.

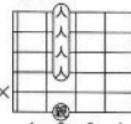
- F#m:** Fret 2, Finger 1 (2), Finger 2 (3).
- C#7:** Fret 3, Finger 1 (3), Finger 2 (4), Finger 3 (5), Finger 4 (6).
- F#m:** Fret 4, Finger 1 (4), Finger 2 (3), Finger 3 (2).
- D7:** Fret 3, Finger 1 (3), Finger 2 (2), Finger 3 (1).
- G:** Fret 2, Finger 1 (2), Finger 2 (3).
- A7:** Fret 3, Finger 1 (3), Finger 2 (2), Finger 3 (1).
- D6(9):** Fret 4, Finger 1 (4), Finger 2 (3), Finger 3 (2).
- F#m7(11):** Fret 4, Finger 1 (4), Finger 2 (3), Finger 3 (2).
- Em7:** Fret 3, Finger 1 (3), Finger 2 (2).
- A7:** Fret 2, Finger 1 (2), Finger 2 (3), Finger 3 (4), Finger 4 (3).
- D:** Fret 5, Finger 1 (5), Finger 2 (4), Finger 3 (3), Finger 4 (2), Finger 5 (1).

**A3**

same as [A2]  
except notice



1

**F#m7**

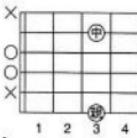
1

2

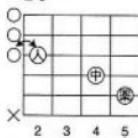
3

4

G



5

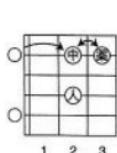
**D6(9)**

5

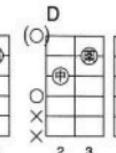
6

7

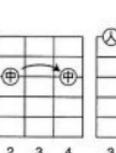
D



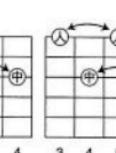
1



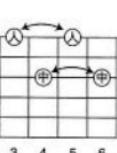
2



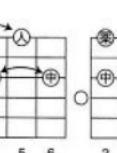
3



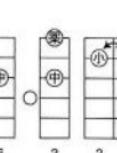
4



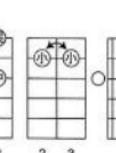
5



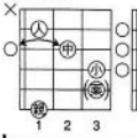
6



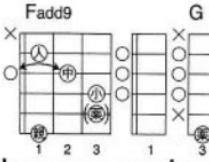
7



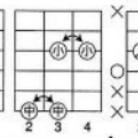
1

**B****Fadd9**

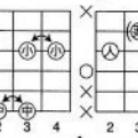
1



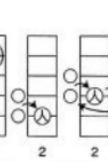
1

**G**

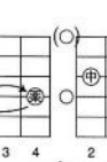
1

**D**

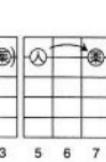
1



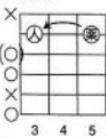
1



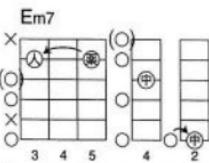
1



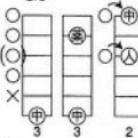
1

**E7**

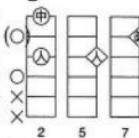
1



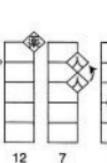
1

**G6**

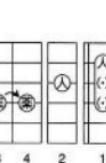
1

**D**

1



1



1

**A4**

I~10 bar :

same as [A2]

I~10 bar

except notice



1



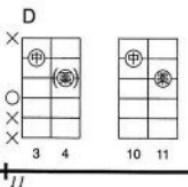
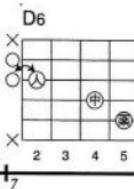
2

3

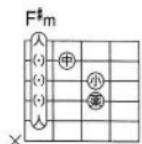
4

5

~A4



A5

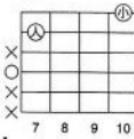


I ~ 10 bar :  
same as A  
I ~ 10 bar  
except notice

F#m



D





# 君がくれた時間 とき ~Alternative Ver.~

music by 押尾コータロー

©2008 by GAMBIT / KOTARO music office, Inc. / Sony Music Publishing (Japan) Inc.



Tuning = Standard

**Intro**

Dadd9      Em7(<sup>b5</sup>)(on D)      Dadd9      Em7(<sup>b5</sup>)(on D)

**A**

D      Dmaj7

D7(on C)      B7      Em

Sheet music for guitar tablature showing three staves of chords and corresponding fingerings for each string (E, B, G, D, A, E).

A7(9) D A(on C<sup>b</sup>) Bm7

E7 B<sup>b</sup>(13) A7sus4

**B** D ix only Dmaj7 B7

D7(on C) B7 Em 2x Em B7

Em A7(9) D A(on C<sup>b</sup>)

Bm7  
gliss. 4  
Em7  
vib.  
A7  
vib.  
D  
vib.

D Em D(on E)  
C G  
gliss. vib.  
Em

D  
E7  
D  
2x  
Em7(b5)(on A)  
A7(9)  
1x only  
vib.  
1x only  
(vib.)  
D  
vib.  
2x D

E7m7  
vib.  
Em  
vib.  
A7(9)

F#m7  
vib.  
Em  
vib.  
A7(9)

A7

D vib.

A7

D vib.

This section consists of four measures. The piano part starts with an A7 chord, followed by a vibraphone solo. The vibraphone part includes various rhythmic patterns and dynamics. The piano part returns with an A7 chord and a vibraphone entry. The vibraphone part concludes with a D chord.

F#m7 vib.

Em vib.

gliss.

G#m7(9)

D(on A)

This section consists of four measures. It begins with a F#m7 chord on the vibraphone, followed by an Em chord. The piano part has a glissando. The vibraphone part continues with a G#m7(9) chord. The piano part ends with a D chord.

Em7(on A)

D

E

Gmaj7(9)

This section consists of four measures. It starts with an Em7 chord on the piano, followed by a D chord. The piano part has a glissando. The vibraphone part ends with a Gmaj7(9) chord.

Gmaj7(9)

Daddg(on E<sup>b</sup>)

thumb

Em7

This section consists of four measures. It starts with a Gmaj7(9) chord on the piano, followed by a Daddg chord (on E<sup>b</sup>). The piano part has a 'thumb' instruction. The vibraphone part ends with an Em7 chord.

Em7(on A)

Dmaj7(9)

D7

Gmaj7(9)

This section consists of four measures. It starts with an Em7 chord on the piano, followed by a Dmaj7(9) chord. The piano part has a D7 chord. The vibraphone part ends with a Gmaj7(9) chord.

Gmaj7(9)                      Dadd9(on F#)                      B7                      Em7

Em7                      A7sus4                      A7

D.S.

君がくれた時間 -Alternative Ver.-

Coda                      G(m7)(F#)                      D(on A)                      Em7(on A)                      D(on A)

Em7(on A)                      F#m7                      Bm7                      Em                      Em7(F#5)(on A)

thumb

Ending D

# 君がくれた時間 ～Alternative Ver.～

Guitar ● Martin D-28GE

Tuning ● Standard

映画「三本木農業高校、馬術部」のメイン・テーマで、アルバム『You & Me』CDにオーケストラとの共演ヴァージョンが収録されていました。ここで取り上げているのは、同じく『You & Me』初回生産限定盤同梱のDVDに収録されていた、ギター1本によるアレンジ・ヴァージョンです。

## 概要&テクニック解説

全体に、ゆったりとしたアルペジオで弾いていきます。フレーズの切れ目などでは大きくテンポをゆるめたり、ルパート気味に弾くとよいでしょう。

音符の上に付いている短い横棒はテヌート記号といい、本来は“音を長さ通り(十分長く)弾く”という意味ですが、本書ではメロディを示すのに使用しています。同時に隣の弦をピッキングする場合をのぞき、アボヤンド奏法(弾いた後で隣の弦に指が寄りかかる奏法)でピッキングするなど、意識して伴奏より強めに弾きましょう。

## 演奏のポイント

[Intro]のDadd9とEm7<sup>(b5)</sup>(onD)は、1弦10フレット・D音を押された小指と、3弦9フレット・E音を押された中指を離さずに、他の指を移動させて弾いていきます。

①11小節目のDからA(onC)へは、2弦3フレット・D音を押された薬指を軸に、5フレットにスライドさせて移行します。

14小節目3拍目ウラの3弦開放・G音は、コードに使われている音とは関係ない開放弦を、フォーム・チェンジ直前に弾いていますが、これは次のコードに移行するための“息つき”的なものです(そのため、ダイアグラム譜には記していません)。音程に連和感を感じる場合は弱めに弾くか、

あるいはコードの構成音(3弦1フレット・G<sup>#</sup>音)を弾いて代用したり、リズムに注意しつつ省略してもよいでしょう。

②は、11小節目まで①とほぼ同じです。7小節目のみ、リピート時は小節後半にB7が入っています。

③3小節目は、1拍目のみスライドを記してありますが、2拍目も3拍目も、同様に1~2弦(3拍目は1弦のみ)をスライド気味に弾いていきます。

5小節目から6小節目へは、小指のみ2弦から1弦に移動させ、薬指(3弦7フレット・D音)と中指(4弦6フレット・G<sup>#</sup>音)は押されたまま離さずに弾いていきます。

④3小節目3拍目の1弦10フレット・D音は、直前で隣の9フレット・C<sup>#</sup>音を人差指が押さえているので、通常は中指を使うのですが、次の小節で人差指と中指を使うフォームに移行するため、ここでは薬指で押さえています。

12小節目最後の1弦10フレット・D音は、次のD(onA)でのフォームの都合から、1~2弦を人差指で部分セーハとして押さえます。

⑤は、オーケストラとの共演ヴァージョンとはメロディが異なっていますが、およそそのコード進行は同じです。

1小節目のGmaj7<sup>(9)</sup>は、直前のDのフォームの中指(1弦)と人差指(3弦)をキープしたまま、移行します。

11小節目の3拍目、3弦2フレット・A音は、直前で押されていた中指そのまま使うのではなく、次のB7まで音を響かせるために、B7のフォームに合わせて薬指で押さえ直しています。

**Intro**

Dadd9      Em<sup>b5</sup>(on D)      Dadd9      Em<sup>b5</sup>(on D)

Fretboard diagrams showing chord shapes across the first four frets. The first diagram shows a Dadd9 chord (root position). The second diagram shows an Em<sup>b5</sup> chord (root position) on the D string. The third diagram shows a Dadd9 chord (root position). The fourth diagram shows an Em<sup>b5</sup> chord (root position) on the D string.

**A**

D      Dmaj7

Fretboard diagrams for D and Dmaj7 chords. The first diagram shows a D chord across the first four frets. The second diagram shows a Dmaj7 chord across the first four frets.

D7(on C)      B7      Em

Fretboard diagrams for D7(on C), B7, and Em chords. The first diagram shows a D7 chord (root position) on the C string. The second diagram shows a B7 chord across the first five frets. The third diagram shows an Em chord across the first three frets.

A7(9)      D      A(on C#)      Bm7

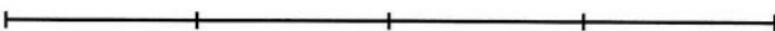
Fretboard diagrams for A7(9), D, A(on C#), and Bm7 chords. The first diagram shows an A7(9) chord across the first five frets. The second diagram shows a D chord across the first three frets. The third diagram shows an A chord (root position) on the C# string. The fourth diagram shows a Bm7 chord across the first four frets.

E7      Bb(13)      A7sus4

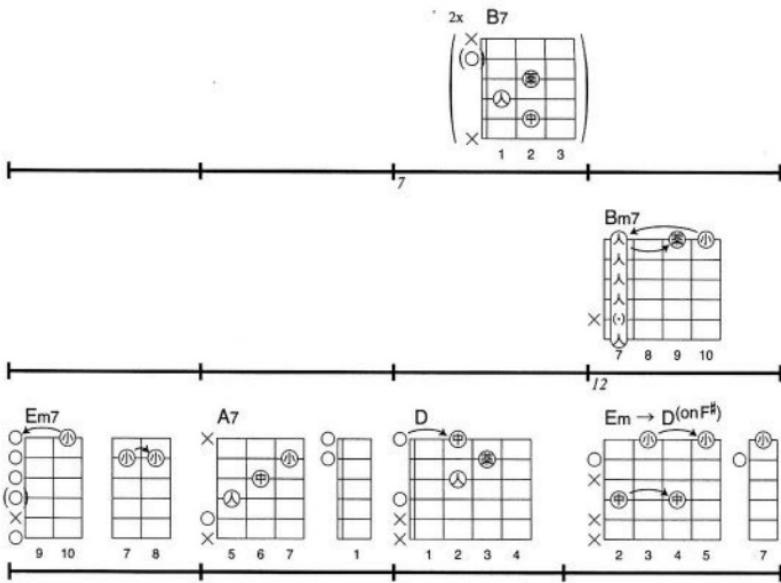
Fretboard diagrams for E7, Bb(13), and A7sus4 chords. The first diagram shows an E7 chord across the first four frets. The second diagram shows a Bb(13) chord across the first four frets. The third diagram shows an A7sus4 chord across the first four frets.

**B**

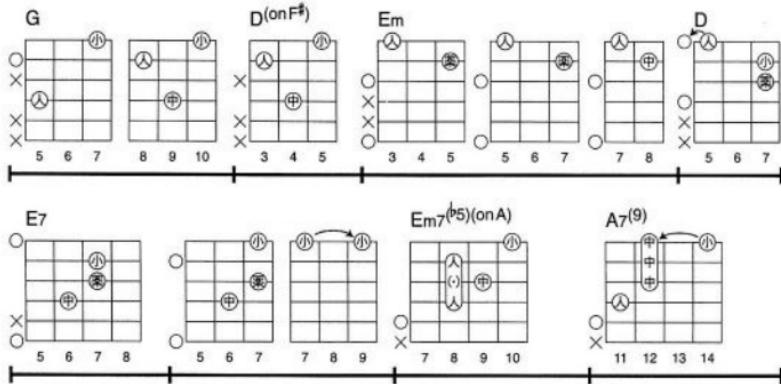
I~11 bar : same as **[A]** I~11 bar except notice



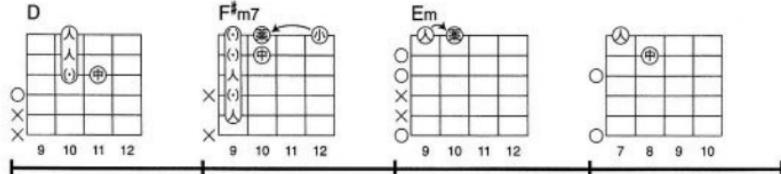
~ B



C



D



～ D

D

F#m7

Em

G#m7(b5)

D(on A)

Em7(on A)

D

E

Em7

Em7(on A)

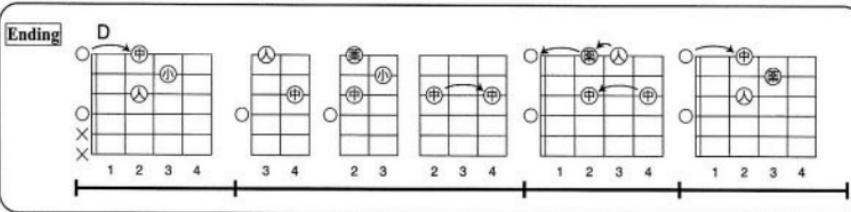
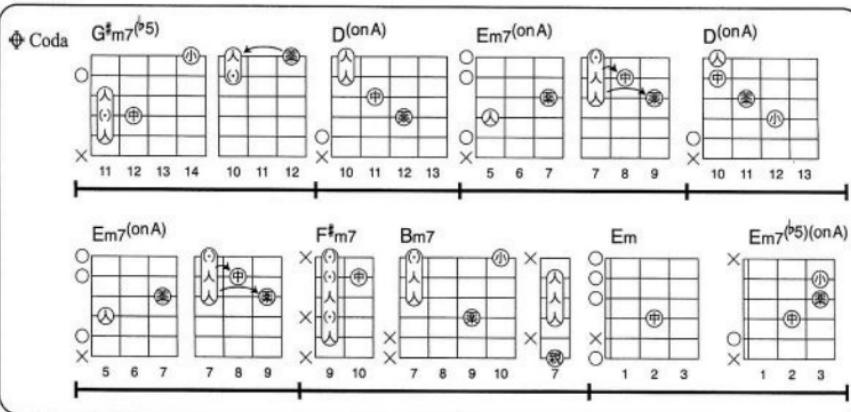
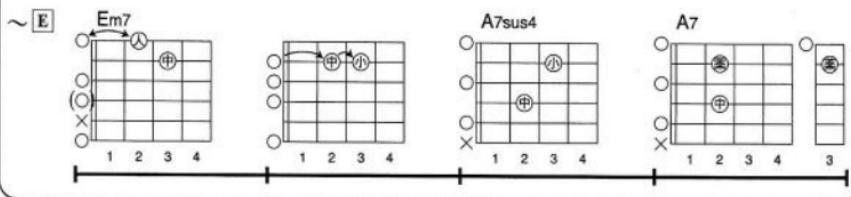
Dmaj7(9)

D7

Gmaj7(9)

Dadd9(on F#)

B7



# Tussie mussie

## Kotaro Oshio



TAB 静村スコア

### 押尾コータロー ● Tussie mussie

Compiled Under The Supervision : 押尾コータロー

Artist Management : コータロー音楽事務所

Music Score Directed & Making Fair Copy : 南澤大介

Proofreading : 丸山克也

DTP : 株式会社ライトスタッフ

Cover Art Direction & Design : 本田宏一／名取正史 [SMC/CR]

Cover Photograph : 間めぐみ [Sato Office]

Styling (Cover Photo) : 裕庭恵生 [juice & juicy]

Hair & Make up (Cover Photo) : 小林剛也 [Ganga]

Flower Arrangement : 佐藤里奈子 [花坊主]

Inner Photograph : センキヤ

Special Thanks : SME Records Inc.

Chief Editor : 吉田里樹

Editorial Staff : 佐々木 淳 / 白田めぐみ / 佐藤洋司

Publisher : 山下浩

Authorized Selling Agent : ドレミ楽譜出版社

Business Staff / #171-0033 東京都豊島区高田3-38-28 高田ハイツ1F Tel.03-3985-5031 Fax.03-3988-6681

Editorial Staff / #171-0033 東京都豊島区高田3-36-4 クリエイティブ・ボックス・ビル Tel.03-3988-6451 Fax.03-3988-8685

Internet Address [Home Page] <http://doremic.jp/> [E-Mail] [faq@doremic.co.jp](mailto:faq@doremic.co.jp)

押尾コータローオフィシャルサイト

<http://www.kotaro-oshio.com>

Sony Music 押尾コータローオフィシャルサイト

<http://www.sonymusic.co.jp/kotaroshoio>

発行日 : 2009年 8月30日 初回発行

定価(本体2500円+税) / ISBN978-4-285-12356-2

JASRAC  
楽曲・歌詞  
著作権  
料付免許

JASRAC ID 09060306-001

本曲に使用された楽曲は「カラバム新時代」の曲名で本曲にいていますが、他の音楽メディアやライブでは「TABU」のボジショニングやアレンジが変化することがあります。

詳細はJASRACのHPをご覧ください。

本曲についてのお問い合わせは [faq@doremic.co.jp](mailto:faq@doremic.co.jp) (携帯メール不可) 宮にお問い合わせします。



SECL755 / ¥3,059 (tax in)  
NOW ON SALE!

[8th Album]

### Tussie mussie

収録曲

01. LOVIN' YOU
02. CLOSE TO YOU
03. そして僕は途方に暮れる
04. 元気を出で
05. FIRST LOVE
06. CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU  
～君の瞳に恋してる～
07. SOMEDAY
08. TIME AFTER TIME
09. 夏のキッス
10. LOVE

#### 邦社出版物ご注文方法

楽器店・書店などの店舗で品切れの場合は、通常販売店で購入していただき、書店にてお問い合わせ下さい。  
尚、インターネットでの販売地域・購入も可能ですが、  
弊社ホームページ、ページをご覧下さい。

<http://www.doremic.co.jp/>

#### 皆様へのお願い

楽器や楽譜・音楽室などの出荷は、通常販売店で購入していただき、書店にてお問い合わせ下さい。  
尚、インターネットでの販売地域・購入も可能ですが、  
弊社ホームページ、ページをご覧下さい。

また、出荷時に楽器や楽譜等が付属する場合は、  
通常販売店で購入していただき、書店にてお問い合わせ下さい。  
尚、インターネットでの販売地域・購入も可能ですが、  
弊社ホームページ、ページをご覧下さい。



株式会社 ドレミ楽譜出版社  
登録法人 日本書来著作権協会 (JASRAC)



97842851235



19200730250

ISBN978-4-285-1235  
C0073 ¥25

★定価(本体2500円)



- 01. LOVIN' YOU
- 02. CLOSE TO YOU
- 03. そして僕は遠方に暮れる
- 04. 元気を出して
- 05. FIRST LOVE
- 06. CAN'T TAKE MY EYES OFF OF YOU  
～君の瞳に恋してる～

07. SOMEDAY

08. TIME AFTER TIME

09. 深のキス

10. LOVE

Bonus Score

君がくれた時間～Alternative Ver.～